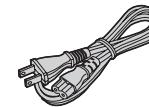
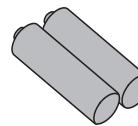
付属品の確認

設置、接続の前にまず付属品を確かめてください。
● イラストはイメージイラストであり、実物とは形状が異なる場合があります。
● 付属品を紛失された場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

□リモコン………………〈1〉（☞ 10ページ）	□電源コード……………〈1〉（☞ 9ページ）	□単3形乾電池…………〈2〉（リモコン用）（☞ 11ページ）

〈　〉は個数です。

愛情点検　長年ご使用のCATVデジタルセットトップボックスの点検を！

こんな症状はありませんか？	● 映像も音も出ない。 ● 映像が時々消える。 ● 異常な臭いや音がする。 ● 水や異物が入った。	▶	このような症状のときは使用を中止し、故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずご加入のケーブルテレビ局に点検をご相談ください。

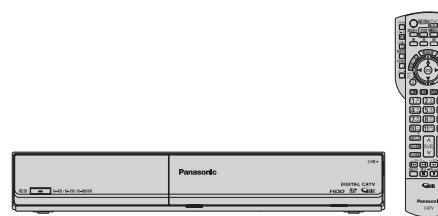
便利メモ

おぼえのため記入されると便利です。

ご加入（契約）日	年　月　日	品　番	TZ-HDW600
ケーブルテレビ局およびお客様相談室	（　　）　ー		
ID番号（59ページの「情報を見る」「ICカード」画面で確認できる「カードID」と「CATV-IDのSTB-ID」を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。）	ID番号	C-CASカード（カードID）	
		B-CASカード（カードID）	
		CATV-ID（STB-ID）	

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　映像・ディスプレイデバイス事業グループ
〒571－8504　大阪府門真市松生町1番15号

S0410-1040

CATVデジタルセットトップボックス　TZ-HDW600M/TZ-HDW600F/TZ-HDW600P　取扱説明書

Panasonic

取扱説明書

CATVデジタル セットトップボックス

品番 TZ-HDW600M
TZ-HDW600F
TZ-HDW600P

● このたびは、ケーブルテレビ局にご加入くださいまして、まことにありがとうございました。
● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
● **ご使用の前に「安全上のご注意」（☞ 106 ～ 109ページ）を必ずお読みください。**
● この取扱説明書は大切に保管してください。
● 取扱説明書は、TZ-HDW600M、TZ-HDW600F、TZ-HDW600P共用ですが、機種により接続と設定内容が異なります。

TQBX0386

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください
(☞106～109ページ)

本機の特長と楽しみかた

デジタル放送を楽しむ

本機は、地上･BSデジタル放送、日本ケーブルラボ標準デジタル放送を受信するCATV用デジタルセットトップボックスです。ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により放送内容が異なります。詳しくは、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

地上デジタル

地上波のUHF放送（13～62ch）の周波数帯を使って行うデジタル放送で、高画質な映像や多チャンネルの番組以外に地域密着型のデータ放送なども行われています。

BSデジタル

放送衛星（Broadcasting Satellite（ブロードキャスティング･サテライト））を使って行う放送でハイビジョン放送やデータ放送が特長です。
BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。WOWOWなどの有料放送は、ご加入のケーブルテレビ局にて加入申し込みと契約が必要です。ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

CATVデジタル

ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。
ご加入のケーブルテレビ局にて加入申し込みと契約が必要です。ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

番組表を使う（☞18ページ）

画面上に番組を新聞のテレビ欄のように一覧表示します。（8日分：ご契約のケーブルテレビ局により異なります）

- 番組表から選局や録画予約ができます。
- 地上デジタルの番組情報は地上デジタル放送、衛星デジタルの番組情報は衛星デジタル放送と一緒に送られています。

※本機の番組表は、Gガイドを使用しています。

番組を探す（☞20ページ）

- 今の時間帯で放送されている他の番組（裏番組）が一覧できます。
- 「ジャンル別に」「キーワードで」「人名で」の条件を指定して内容を探し、視聴や予約ができます。

高画質な映像を楽しむ（☞62ページ）

- 本機は、コンポーネントビデオ信号を出力するD端子（D1/D2/D3/D4切り換え可能）とHDMI端子を装備しています。
- D端子、または、HDMI端子付きテレビに接続すれば高画質な映像をお楽しみいただけます。

番組を録画する（☞24ページ）

- 本機は、ハードディスクを搭載しています。ハイビジョン放送を高画質のまま、簡単に※約23時間録画することができます。
- ハードディスクに録画しながら、すでに録画した番組を再生することができます。

※ 放送により、録画時間は異なります。

ブラウザを使う（☞48ページ）

インターネットを利用したテレビ向けの双方向情報提供サービスを受けることができます。

- サービスの内容は、ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により利用できない場合があります。

※ ブラウザでお楽しみになる場合、プログレッシブテレビやハイビジョンテレビに接続されることをおすすめします。一般のテレビに接続されると文字などが見えにくい場合があります。

● ペイ･パー･ビュー（番組単位で購入できる有料番組）（☞15ページ）
画面上で購入操作をすることで、番組の視聴や録画ができます。
ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。

● データ放送（☞23ページ）
画面上の説明に従い操作すると、関連するデータを表示できる番組があります。
例えば、BS103を視聴中にリモコンのデータボタンを押すと、NHKデータ放送で送られている天気予報などがご覧になれます。（2010年3月現在）

● デジタル放送の外部機器での録画（☞36ページ）
ネットワークで接続されている録画機器（DLNA対応）へ、録画番組を高画質でダビングできます。
通常のVHSビデオデッキでも録画できますが、画質は従来の地上アナログ放送と同等になります。

● 3D映像
本機で3D映像番組（サイド･バイ･サイド方式）をご覧いただくためには、当社製3D対応テレビと3Dグラスが必要です。
※本機とテレビはHDMIケーブルでの接続が必要です。（☞62ページ）
また、3D対応テレビ側で設定が必要な場合があります。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

■各機種品番の相違点

機種＼相違点	デジタル放送の変調方式	ケーブルモデム
TZ-HDW600M	トランスモジュレーション※1	あり
TZ-HDW600F	トランスモジュレーション／パススルー※2	あり
TZ-HDW600P	トランスモジュレーション／パススルー	なし

※1トランスモジュレーションとは、CATV局で受信した放送波の変調方式や周波数を変換して送出する方法のことをいいます。地上デジタル放送の場合、OFDMを64QAMに変換して送出します。
※2パススルーとは、CATV局で受信した放送波の変調方式を変えずに送出する方法のことをいいます。

インターネットの閲覧制限機能について

本機には、インターネットを見る際に、お子様などに見せたくないホームページやブログなどを見ることを制限するための機能が組み込まれています。お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をおすすめします。この制限機能をご使用の場合は、下記の設定を行ってください。

【パスワードロック機能】
パスワード（暗証番号）を設定することで、インターネットへのアクセスを制限することができます。

- パスワード（暗証番号）設定方法（☞56ページ「制限項目設定」）
- インターネットへのアクセス制限方法（ブラウザ制限を［ブラウザ］ボタンを押したときに暗証番号の入力が必要となる設定にする）（☞49ページ「ブラウザ制限」）

使用上のご注意

本機は放送内容、ご使用環境、接続されている機器との組み合わせや、外部からの雑音などの影響によりリモコンによる操作ができなくなるなど、まれに正常に動作しないことがあります。

この場合は、本体前面(扉内)のリセットボタンを押していただくか、電源プラグを一度抜き、しばらくした後、再度電源プラグを差し込み、動作を確認してください。

本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください。

本機の受信周波数帯域(90 MHz～770 MHz)に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やケーブルテレビ宅内線の途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像･音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

本機の通風孔をふさがないようにしてください。

本機は放熱のため、天面の一部で温度が高くなることがあります。品質、性能には異常ありませんが、内部温度の上昇をおさえるため冷却用ファンや通風孔をふさがないようにして、風通しのよい所に設置してください。

本機の上に他の機器を置いたり、他の機器の上に本機を置かないでください。

他の機器の放熱によって本機の内部温度が上がり、故障の原因となることがあります。

視聴記録の送信について

ICカードに記録されている視聴記録データは、定期的に自動送信されます。

本機は性能向上のためダウンロードを行う場合があります。ダウンロードを実行するには、本機の電源を「切」にしてください。

電源プラグをはずしたり、電源を「入」にしているとダウンロードが実行されません。
ダウンロードを実行するため、視聴時以外は電源を「切」にしてください。

長時間動かない画像を映さないでください。

本機に接続されたテレビやプロジェクターに、動かない画像を長時間映していると、画面に映像が焼き付き、影のように画面に残る恐れがあります。動かない画像を長時間映さないでください。

- 本機に組み込まれているソフトウェアの解析、変更、改造などを行わないでください。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、ロヴィ社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、ロヴィ社の許可が必要で、また、ロヴィ社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は ARIB（電波産業会）規格および日本ケーブルラボ規格に基いた商品仕様になっております。
将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- あなたがビデオデッキなどで録画･録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- メールや購入記録、データ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。
万一、本機の不具合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- 国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。
- B-CAS カードおよび C-CAS カードは地上 · BS · CSデジタル放送、日本ケーブルラボ標準デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

ハードディスク（HDD）に関するご注意

ハードディスクは振動･衝撃やほこりに弱い精密機器です。設置環境や取り扱いにより、録画や再生ができなくなる場合があります。以下のことに注意してください。

- 振動や衝撃を与えない
- 水平に設置して、傾けたり不安定なところに置かない
- 電源プラグをコンセントに接続しているときは、本機を動かさない
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源表示ランプが赤色の状態のときに抜く
- 本機を移動させるときは、電源プラグをコンセントから抜いて 2 分程度待ってから移動する

HDD に異常を感じた場合はすぐにダビング（バックアップ）を…

HDD内に不具合箇所があると、録画時や再生時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、最悪の場合、HDD全体が使えなくなってしまう恐れがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにダビングして、修理をご依頼ください。HDDが故障した場合は、記録内容(データ)の修復はできません。

二度と録画できないような大切な録画の場合は、事前に試し録画を行い、正しく録画できていることを確かめておいてください。

本機を使用中、不具合により、録画されなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

- **停電などが起こったときは、録画･再生中の内容や、HDD に録画した番組内容（データ）が損なわれる場合があります。**

表示窓の「HDD」の文字が消灯しているときは

HDD が自動的に休止状態になっています。（通電中、HDD は高速で回転しています。HDD の寿命を延ばすため、約 10 分以上操作しないと HDD の回転を止め、休止します。）
- 起動に時間がかかるため、休止状態からの録画や再生はすぐに始まりません。

本機から HDD の動作音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

HDD の品質を維持させるため、本機では、自動的に内部点検を行っています。以下の状態のときに、本機から音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- HDDが休止状態になるとき
- 電源切／入時

本機を使用環境条件以外の高温や低温になる所では使用しないでください。

使用温度（5 ℃～ 40 ℃）以外で使用されると内蔵ハードディスクの保護機能が働き、動作しない場合があります。たばこの煙、くん煙殺虫剤（煙をたくタイプの殺虫剤）などが機器内部に入ると故障の原因になります。

結露について

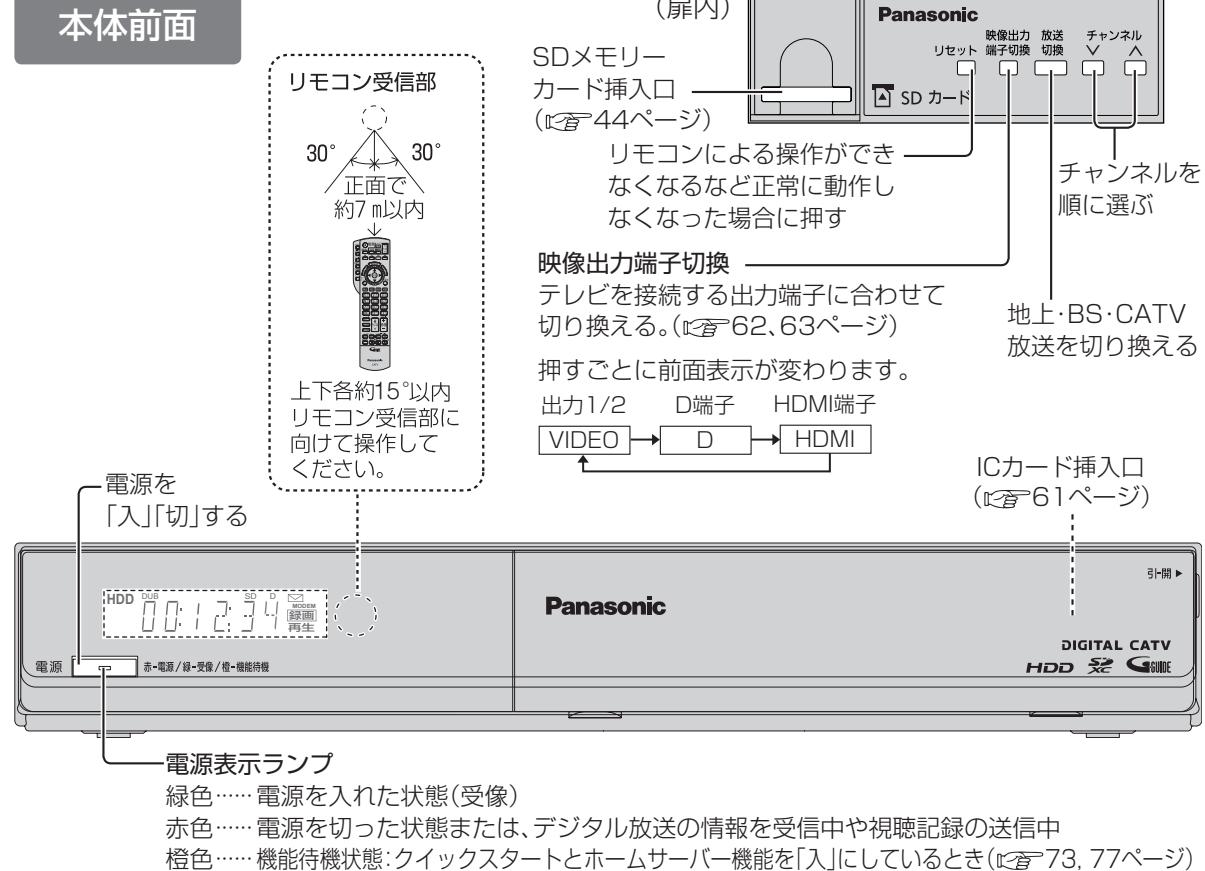
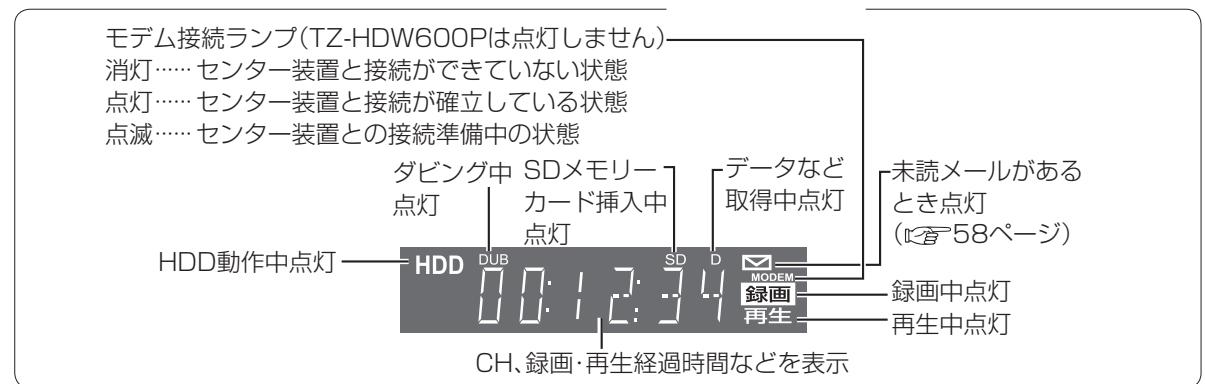
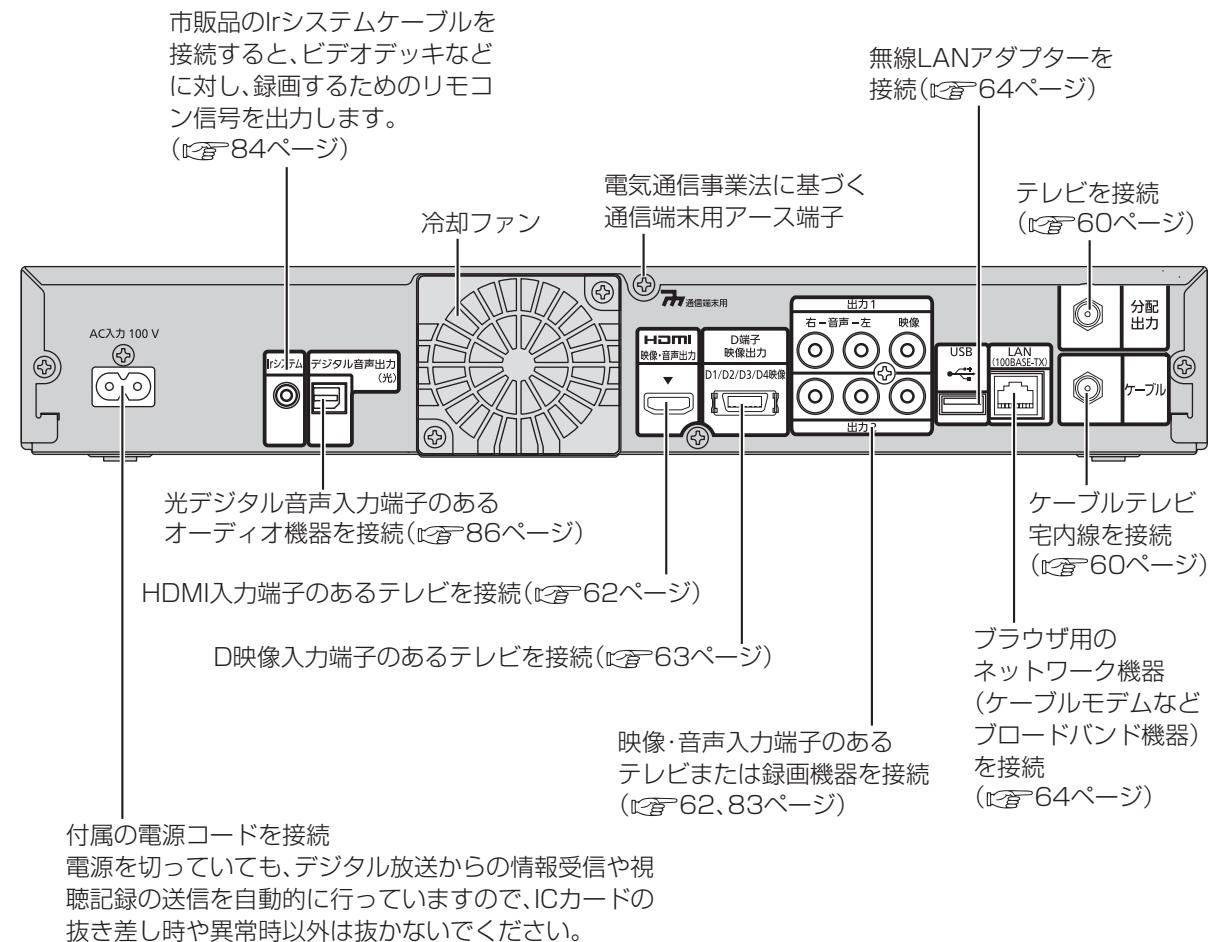
本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房を入れて、急に部屋の温度が上がったりした場合、温度差により本機の表面や内部に結露が起こることがあります。そのままご使用になると故障の原因になります。
- 部屋の温度になじむまで、電源を切ったままにしておいてください。（約 2 ～ 3 時間）
- 温度変化が起こりやすい場所や湿度が高い場所（湯気が立ち込めるなど）には設置しないでください。

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画･編集ができなかった場合の内容の補償、録画･編集した内容(データ)の損失、および直接･間接の損害に対して、当社およびご加入のケーブルテレビ局は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合(HDD以外の修理を行った場合も)においても同様です。あらかじめご了承ください。

各部のはたらき

本体前面

電源表示ランプ
緑色……電源を入れた状態（受像）
赤色……電源を切った状態または、デジタル放送の情報を受信中や視聴記録の送信中
橙色……機能待機状態：クイックスタートとホームサーバー機能を「入」にしているとき（☞73, 77ページ）

本体表示窓

お願い

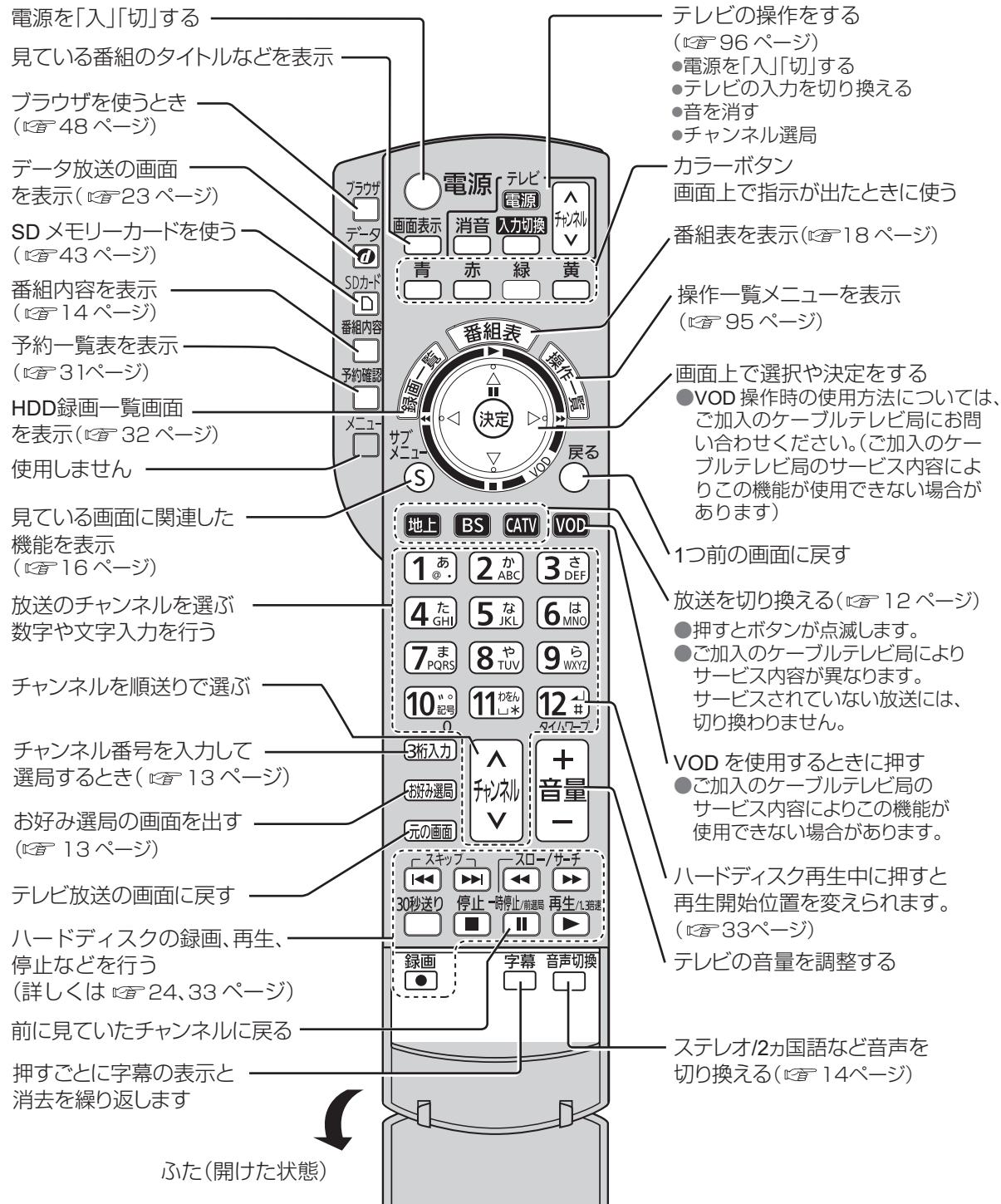
- 外部機器に録画中は、操作ができなくなります。（ボタンを押すと表示窓の「録画」が点滅表示します。）動作異常ではありませんので、リセットボタンを押さないでください。
- HDDで録画中に中止したい場合は、停止ボタンを押してください。外部機器で録画中の場合は、本体の電源ボタンを押してください。
- 電源「切」時（電源表示ランプが赤色の状態）でも、デジタル放送からの情報受信や有料番組の視聴記録の送信を自動的に行います。
- 最新の番組情報の取得とダウンロードを実行するため、視聴時以外は電源を「切」にしてください。

本体背面

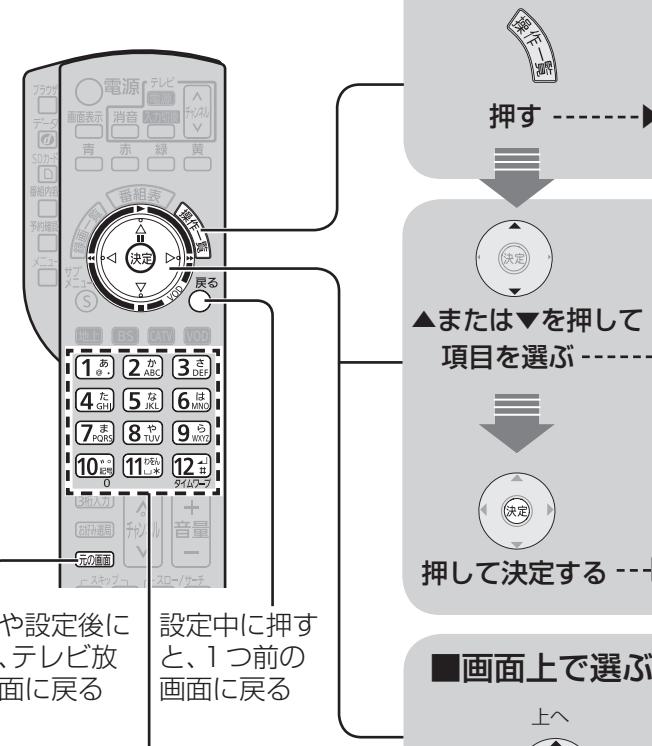
お知らせ

- 出力1/2は、本体前面の映像出力端子切換で「HDMI」「D（D端子）」に設定しているとき、チャンネルなどの画面表示は出力しません。
  「VIDEO」に設定しているときのみ画面表示が出力されます。
- コピーガードがかかっている番組は、録画機器を経由してテレビで視聴したり、一部のビデオ内蔵型テレビで視聴すると正常に受像できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とテレビを接続してください。

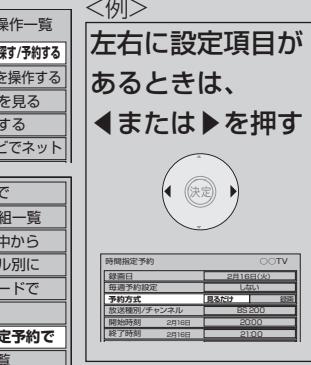
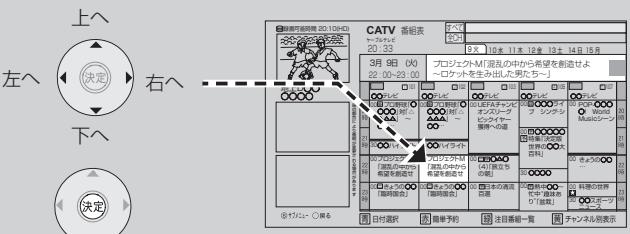
各部のはたらき

リモコン

お願い

●本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
●本体のリモコン受信部に直射日光やインバータ蛍光灯の強い光を当てないでください。

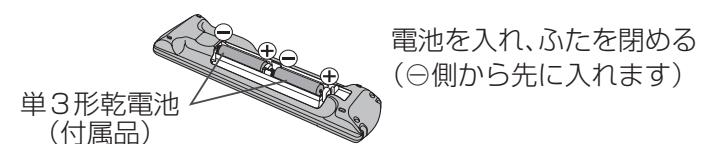
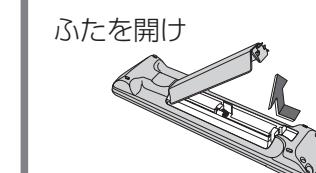
基本操作のしかた

■数字を入力するとき

リモコンボタン	入力文字（表示内容）
1 〜 9	1〜9
10	0
11	*
12	#

●文字入力について（☞52、53ページ）

■本取扱説明書では

（上下ボタン）で選択する操作を▼▲で説明しています。

（左右ボタン）で選択する操作を◀▶で説明しています。

リモコンの電池の入れかた

テレビ放送を見る

- 設定中、[戻る]で1つ前の画面に戻ります。
- 設定後は、[元の画面]でテレビ放送の画面に戻します。

■ 準　備

テレビの電源を入れる　　入力画面を切り換える※

※本機のリモコンでテレビの電源を入れたり、入力切換を行うことができます。 (☞96ページ)

❶ 電源を入れる

❷ 選局入力方式が「プリセット」の場合は放送を選ぶ

●選局入力方式が「3桁入力」の場合はそのまま手順 ❸へ

■放送切換ボタン

→押すとボタンが数回点滅します。

[地上] 地上デジタル放送

[BS] BSデジタル放送

[CATV] CATVデジタル放送
（CATVの放送が複数ある場合は、押すたびに切り換わります。）

●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により視聴できない放送がある場合があります。

❸ チャンネルを選ぶ

■選局ボタン

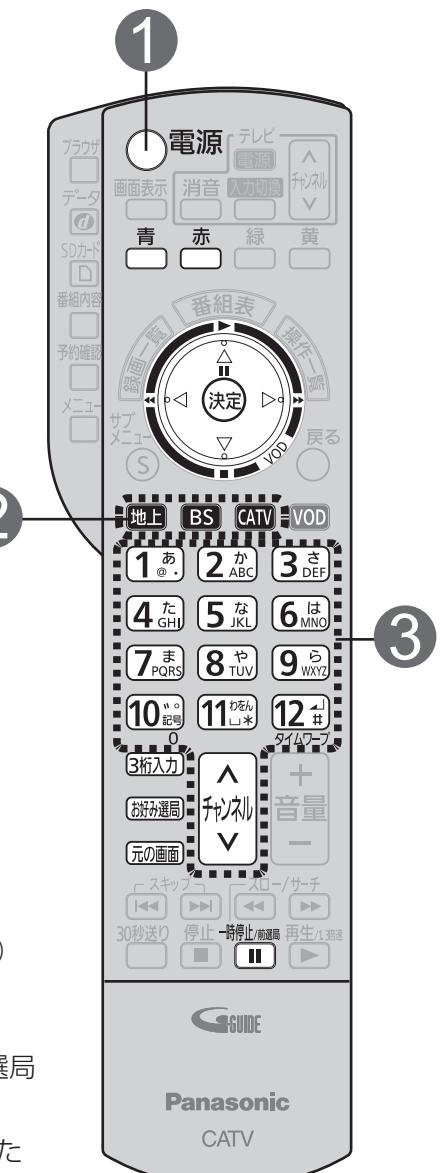
[1]～[12] **数字ボタンでチャンネルを選ぶ**

■選局入力方式が「プリセット」の場合
押すとボタンに登録した放送局を選局します。
（はじめに [3桁入力] を押すと「3桁入力」もできます。）

[チャンネル] **順送りで選ぶ**

●押すたびに、受信できるチャンネルを順々に選局します。

●選局対象とチャンネルアップダウンで設定したチャンネルが選局できます。(☞54ページ)

[一時停止/前選局] **前に見ていたチャンネルに戻る**

いろいろなチャンネルの選びかた（選局）

お好み選局表から選ぶ

❶ [お好み選局] を押す

●[青]、[赤] 押すたびに、ページが切り換わります。

❷ ▼▲◀▶で見たいチャンネルを選び、[決定] を押す

●受信されている放送のみ表示されます。
●CATVのお好み選局は設定されていません。
ご自由に設定し、ご活用ください。

■BSデジタル放送のボタン割り当て（工場出荷時）

番号	チャンネル	番号	チャンネル	番号	チャンネル	番号	チャンネル
1	101	4	141	7	171	10	200
2	102	5	151	8	181	11	211
3	103	6	161	9	191	12	222

●お好み選局の2、3ページ目にも割り当てがあります。
●地上デジタル放送やCATVデジタル放送の設定内容は、ご加入のケーブルテレビ局により異なります。

3桁チャンネル番号を入力して選局する

❶ [3桁入力] を押す

❷ [1] ～ [10] で3桁番号を入力する

例:「地上デジタル101」チャンネルを選ぶとき

●数字ボタンを押して3秒以上経つと、押したボタンで（プリセット）選局されますのでご注意ください。
●3桁入力時に同じチャンネル番号の放送が複数ある場合は、下図のような選択パネルを表示します。

▼▲で見たい放送を選んで、[決定] を押してください。

●ボタンを押して、3秒経つか、または[決定]を押すと、プリセットで選局できます。

お知らせ

●番組表で選局するには(☞18ページ)
●数字ボタン（1～12）で選局するチャンネルを変更するには(☞66～68ページ)
●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により選択できない場合があります。

■地上デジタル放送で、枝番号の異なる放送を選局する場合

（枝番号とは同じチャンネル番号の放送が複数受信できた場合に追加される区別番号のことです。）
①枝番号のある地上デジタル放送を受信中に、サブメニューボタンを押す
②▼▲で枝番選局を選び、決定する
③表示された放送局リストから、見たい放送を選び、決定する
●手順③で緑ボタンを押すと、選択中の枝番の放送局にマークが付きます。
（チャンネル番号入力時は、その枝番の放送局を選局します）

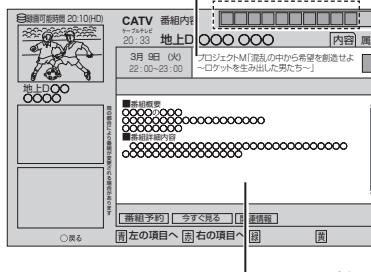
テレビ放送を見る

● 設定中、戻るで1つ前の画面に戻ります。
● 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

番組の内容を見る

番組を見ているとき、または、番組表や一覧から選んでいるときに…

番組内容 を押す

番組のタイトル　番組の特徴を表すアイコン（☞98ページ）

番組の内容

■アイコンで表示している番組の詳しい内容(属性)などを見たいとき

赤 を押す（青 で番組の内容に戻る）

（確認したら 元の画面 を押す）

多重音声放送(二重音声、マルチ音声)のとき

多重音声放送のときには、音声を切り換えることができます。

音声切換 ●押すたびに音声が切り換わります。

■二重音声 （1つの音声に主音声と副音声が含まれる）

例

音声1(主)（日本語）→ 音声1(副)（外国語）→ 音声1(主+副)（日本語+外国語）

■マルチ音声 （複数の音声が含まれる）

例

音声1（日本語）→ 音声2（日本語／解説）

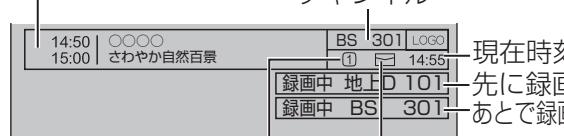
お知らせ

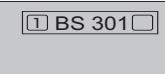
● 放送によっては、「主」で外国語、「副」で日本語の場合があります。
● 切り換えた音声が有料の場合もあります。

番組のタイトルなどを表示する

番組を見ているときは…

画面表示 を押す

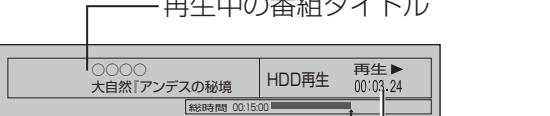
番組についての情報（サービス名、タイトル、開始・終了時刻）
チャンネル
現在時刻
先に録画
あとで録画
リモコンボタン 1 ～ 12（それ以外のときは空白）
未読メール表示（☞58ページ）

しばらくして…

1 BS 301

<例> HDD(ハードディスク)で番組を録画中

再度、画面表示 を押すと表示は消えます。

録画した番組を再生しているときは…

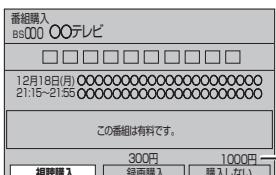
画面表示 を押す

再生中の番組タイトル

番組の再生位置　再生経過時間

しばらくして…

再度、画面表示 を押すと表示は消えます。

有料番組を見る(ペイ・パー・ビュー)

● デジタル放送には、無料と有料のものがあります。有料チャンネルを見るには、ご加入のケーブルテレビ局との契約が必要です。
● ペイ・パー・ビュー(番組単位で購入できる)の番組を視聴、録画するには、ご加入のケーブルテレビ局とペイ・パー・ビューの契約と画面上での購入操作が必要です。
● LANケーブルでケーブルモデムなどとの接続が必要な場合があります。（☞64ページ）

1 ペイ・パー・ビューの番組を選局したとき（番組によっては、プレビュー※が表示される）

決定 を押す

※ プレビューとは、有料番組の購入前に、わずかな時間だけ視聴できるサービスです。

2 ◀ ▶で項目を選び、決定 を押す

購入金額

●番組により、選べる項目が変わります。

購入する
番組を購入したことになり視聴できます。ただし、コピーガードのある番組は録画できません。

購入しない
番組を購入しません。

視聴購入
（料金を払うと視聴できるときのみ表示）
番組を購入したことになり視聴できます。ただし、コピーガードのある番組は録画できません。

録画購入
（料金を払うと録画できるときのみ表示）
番組を購入したことになり視聴および、録画ができます。

確認画面が表示された場合は、表示内容を確認し操作してください。

お知らせ

● **コピーガードについて**
デジタル放送には、ビデオデッキなどで録画できないようにしている(コピーガードのある)番組があります。その番組は正常に録画できません。コピーガードを解除できない番組は「録画購入」の項目が表示されません。
● 購入した番組の視聴中にも、他のチャンネルに切り換えることができます。ただし、購入操作が終了していると、実際には番組を視聴しなくても料金が請求されます。また、番組予約が実行された場合、視聴や録画をしなくても料金が請求されます。

テレビ放送を見る

● **設定中、**戻る で1つ前の画面に戻ります。
● **設定後は、**元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

サブメニューを表示する

1 サブメニュー Ⓢ **を押す**

→現在の画面に関連したサブメニューが表示されます。

2 **▲▼で項目を選び、決定 を押す**

<例:番組視聴中のとき>

●押す前の画面によってサブメニューの項目は変ります。

データ放送表示オフ

●データ放送を終了させることができます。
● データ ⓓ で再度表示させることができます。
データ ⓓ を押すまでデータ放送は、起動されません。

信号切換

●マルチビュー対応の放送※や1つの番組に複数の映像や音楽のある放送の場合に「信号切換」を選び、決定すると、切り換えができる信号の選択画面になります。

※マルチビューとは1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送のことです。例えば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組ではそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

お知らせ
●マルチビュー対応の放送は2010年3月現在行われていません。
●信号切換で表示される設定項目は、番組によって変わります。
●信号切換で切り換えた映像が有料の場合もあります。

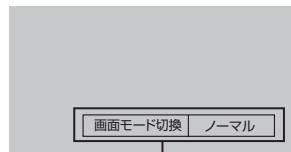
受信状況

●受信している信号の強さなどを表示します。

お知らせ
●受信状況の表示は簡易表示であり、確認の目安です。

サブメニューを表示する

画面モード切換(画面の黒帯を消す)

額縁表示の場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

◀ ▶押すごとに「ノーマル」、「サイドカット」、「サイドカット固定」、「ズーム」の順に画面モードが切り換わります。

ノーマル 通常の出力

サイドカット
ワイド(16:9)放送の左右の黒帯を消して拡大表示(ワイド放送以外では機能しません)
黒帯が無い映像の場合、左右の映像がカットされますので、ご注意ください。

左右に黒帯のある1080i(16:9)の放送

ノーマルテレビ画面では額縁表示された状態

サイドカットで帯部分を消して拡大表示

サイドカット固定
設定を変えるまで、左記の「サイドカット」された画面となります。

ズーム
ノーマル(4:3)放送の上下の黒帯を消して拡大表示します。(ノーマル放送以外では機能しません)黒帯が無い映像の場合、上下の映像がカットされますので、ご注意ください。

上下に黒帯のあるレターボックス(4:3)の放送

ワイドテレビ画面では額縁表示された状態

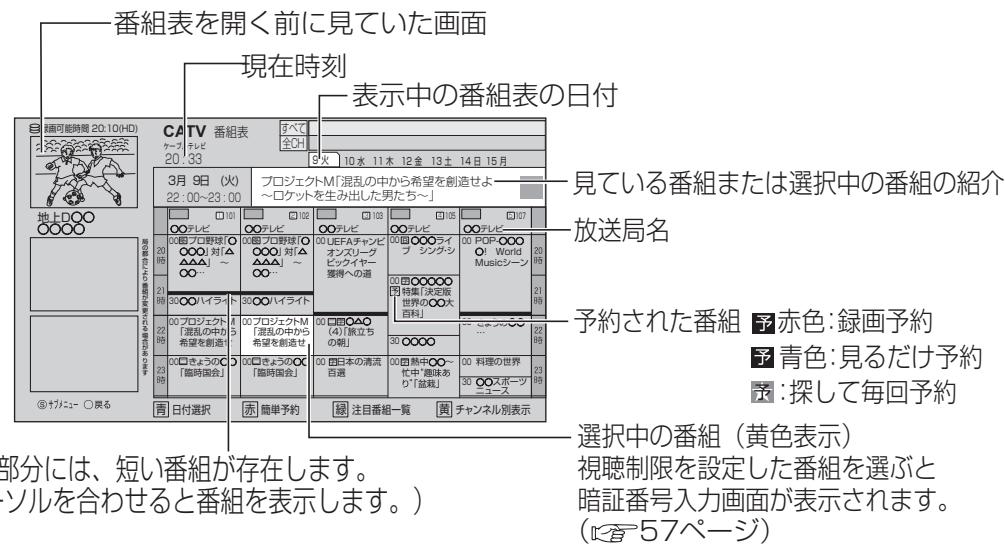
ズームで帯部分を消して拡大表示

お知らせ
●選局操作や電源を「切」「入」したり、「元の画面」ボタンを押したり、接続テレビ設定を変更すると、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
●「サイドカット固定」は、「テレビアスペクト」を「4:3」に設定しているときに選択できます。(☞70ページ)
選局操作や電源を「切」「入」したり、「元の画面」ボタンを押しても「ノーマル」には戻りません。
●「ズーム」が選べるのは、接続テレビ設定の「テレビアスペクト」を「16:9」「16:9フル」に設定しているときだけです。(☞70ページ)
●データ放送画面のときは画面モード切換は機能しません。
●録画予約時の設定は(☞30ページ)
●このページで記載している画面イラストは動作の一例です。
(接続するテレビやテレビ側の画面設定によっては動作が異なる場合があります)

番組表を使う

画面上にテレビ番組表を表示します。
(最大8日分:ご契約のケーブルテレビ局により異なります。)

番組を見ているときに… 番組表 を押す

(☞57ページ)

●電源を入れた直後は番組表が表示されるまでに、約1分程度かかる場合があります。

今すぐ番組を見る

1. ▼▲◀▶で見たい番組を選び、決定 を押す
2. ◀▶で「今すぐ見る」を選び、決定 を押す

番組表の表示チャンネル数を変える

1. 番組表を表示中に サブメニュー を押す
2. ▼▲で「表示チャンネル数」を選び、決定 を押す
3. ▼▲で表示させたいチャンネル数を選び、決定 を押す

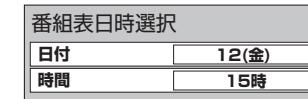
注目番組を探す

1. 番組表を表示中に 緑 を押す
(番組の探しかたは☞22ページ)

● 設定中、戻る で1つ前の画面に戻ります。
● 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

番組表の日時を変える

1. 番組表を表示中に 青 を押す
2. ▼▲で「日付」「時間」を選び、◀▶で設定し、決定 を押す

番組表日時選択	
日付	12(金)
時間	15時

番組表をチャンネル別に表示する

1つのチャンネルの番組表を最大8日分を表示します。

1. 番組表を表示中に 黄 を押す

別の放送の番組表を表示する

◀▶を押す
→押すごとに表示する放送局が順番に移動していきます。

地上デジタル→BSデジタル→CATVデジタル
(ご契約のテレビ局により異なります。)

● 地上 BS CATV でも放送が切り換わります。

番組表をお使いになるために…

本機は電源を切っていても、定期的に放送局からの番組情報などを更新しています。電源を切るときは、電源プラグをコンセントから抜かないで、本体またはリモコンの電源ボタンでお切りください。

お知らせ

● **地上デジタル放送の番組表について**
受信可能な放送局で番組表が表示されない場合は、その局を選んで、決定ボタンを押すと表示されます。(数分かかることがあります。)
● 3桁入力ボタンを押して数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力すれば、指定したチャンネルが表示されます。

お好みの番組を探す

● 設定中、戻る で1つ前の画面に戻ります。
● 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

本機は、放送局から送られてきた情報によって番組を探します。
そのため、実際の放送に該当する項目(キーワードや人名など)が含まれている番組でも、番組検索の検索結果には表示されないことがあります。

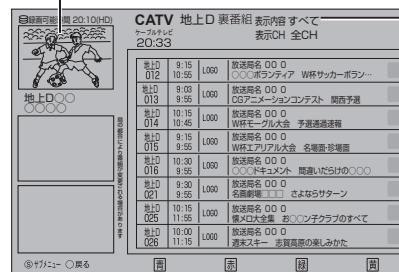
1 操作一覧を押す

2 ▼▲で「番組を探す/予約する」を選び、決定 を押す

今放送中の番組から探す

3 ▼で「今放送中から」を選び、決定 を押す

4 ▼▲で裏番組一覧表から番組を選び、決定 を押す

プレビュー画面

表示内容
すべて
表示CH
全CH

●検索できる番組数は各放送の番組データの取得状況によって変わります。

プレビュー画面が映ります

● 元の画面 を押すと、選んだ画面が映ります。

■別の放送の裏番組を見たいとき

→ 地上 BS CATV で切り換える

お知らせ

● 手順④で サブメニュー を押すと「サブメニュー」画面が表示され「表示内容」と「表示CH」を変更することができます。
● 手順③で「番組表で」を選ぶと、番組表が表示されます。(☞18ページ)

ジャンル別に探す

映画やスポーツなどジャンル別で探します。
(項目は一定ではありません)

3 ▼▲で「ジャンル別に」を選び、決定 を押す

4 ▼でメインジャンルを選んだあと、▼でサブジャンルを選び、決定 を押す
→条件に合った当日の全番組を表示します。

(メインジャンル)

(サブジャンル)

⑤へ

キーワードで探す(地上/BSデジタル放送のみ)

3 ▼▲で「キーワードで」を選び、決定 を押す

4 カテゴリーを選んだあと、キーワードを選び、決定 を押す

(カテゴリー)　(キーワード)

⑤へ

人名で探す(地上/BSデジタル放送のみ)

3 ▲で「人名で」を選び、決定 を押す

4 ▼▲でカテゴリー、読みの最初、名前の順に選び、決定 を押す

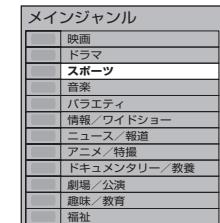
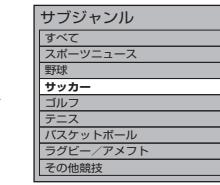
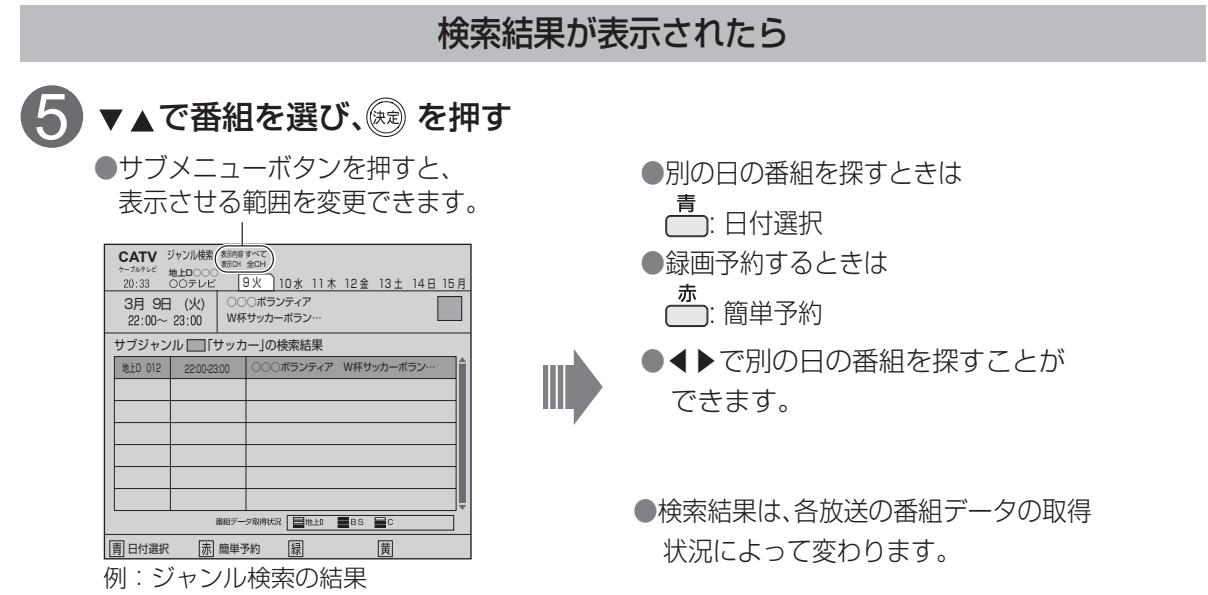
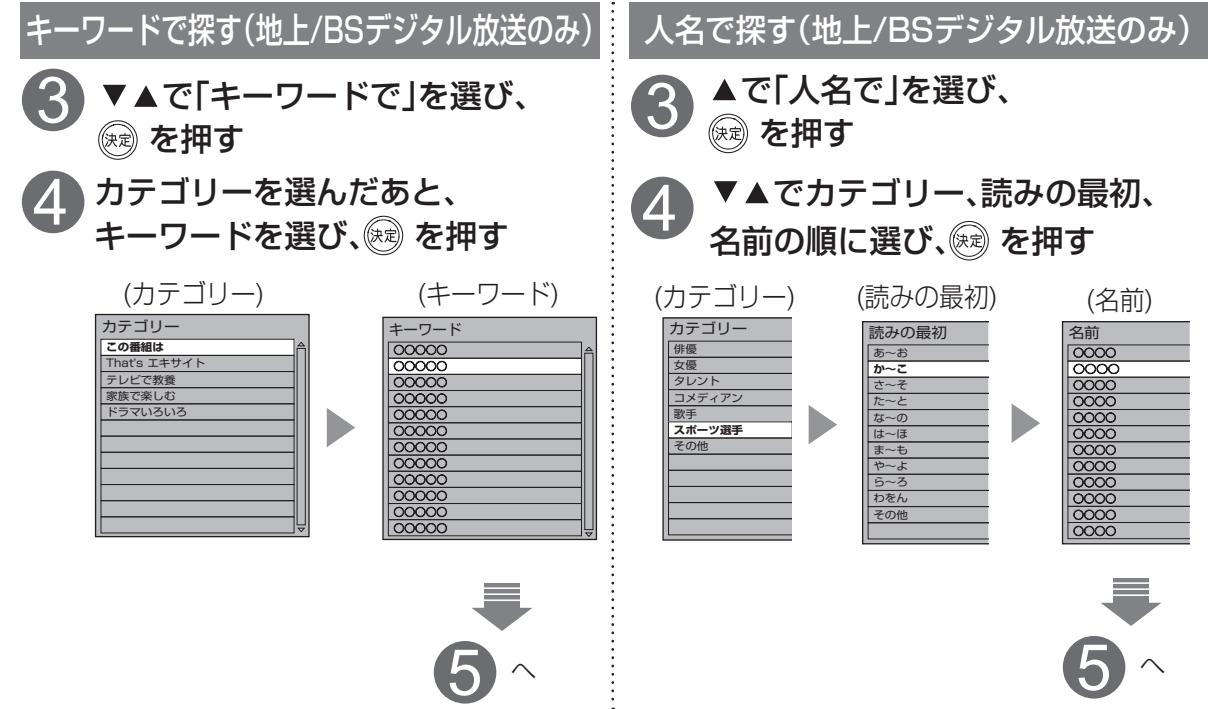
(カテゴリー)　(読みの最初)　(名前)

⑤へ

検索結果が表示されたら

5 ▼▲で番組を選び、決定 を押す

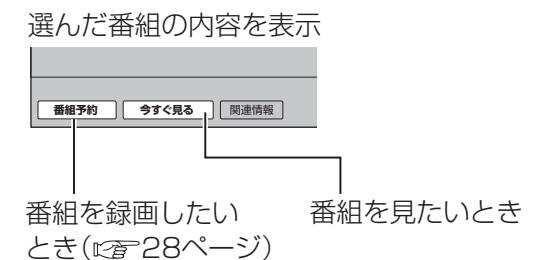
●サブメニューボタンを押すと、表示させる範囲を変更できます。

例：ジャンル検索の結果

●別の日の番組を探すときは
青: 日付選択
●録画予約するときは
赤: 簡単予約
●◀▶で別の日の番組を探すことができます。

●検索結果は、各放送の番組データの取得状況によって変わります。

選んだ番組の内容を表示

番組を録画したいとき(☞28ページ)　番組を見たいとき

番組を見る

● お好みの番組を探す

お好みの番組を探す

注目番組で探す

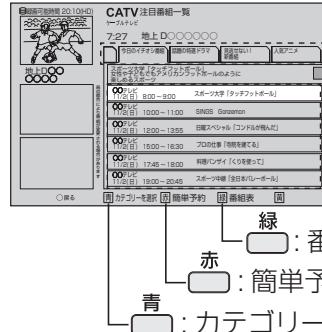
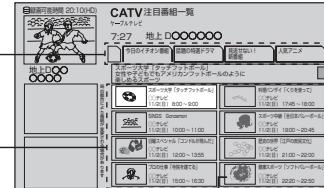
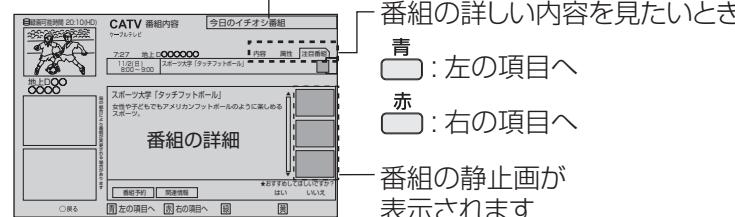
放送局からの情報を元に、Gガイドが提供する番組情報を表示します。

  を押す

2 ▼▲で「番組を探す/予約する」を選び、(決定) を押す

3 ▼▲で「注目番組一覧」を選び、(決定) を押すと注目番組が表示されます。

「注目番組一覧表」は以下のどちらかを表示します

(リスト形式表示)　(サムネイル形式表示)

4 ▼▲◀▶で番組を選び、(決定) を押すと番組の詳細が表示されます

お知らせ

●番組表を表示中に 緑 ボタンを押すと、注目番組一覧表が表示されます。

データ放送を見る

■データ放送の番組では…

お住まいの地域の天気予報やテレビ放送やラジオ放送に連動した情報※を閲覧したり、視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向(インタラクティブ)サービスを利用することができます。

※テレビやラジオの番組によっては、連動した情報がない場合があります。

デジタル放送を見ているときに…

1 データ を押す

●データ放送を行っていない番組もあります。

●情報が多いときは、表示に時間がかかります。

2 ▼▲◀▶で見たい項目を選び、(決定) を押す

●番組によりカラーボタンなどを使った専用の選択画面や数字入力画面が表示されます。その指示に従ってください。

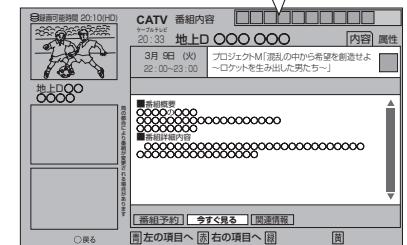
■テレビ放送に戻るとき

データ ⓓを押す

データ放送のある番組か確認するとき

デジタル放送を見ているときに…

1 番組内容 □ を押す

●下記のアイコンが表示された番組はデータ放送があります。
(☞98ページ)
(アイコンが表示されない番組もあります)

2 確認したら、再度 番組内容 □ を押す

→番組内容画面が消え、テレビ放送に戻ります。

お知らせ

●データ放送のみを行う専用チャンネルがあります。(通常の選局操作でご覧になれます。)

見ている番組を録画する

録画する

録画
● を押す

→録画がスタートして本体前面表示窓の「録画」が点灯表示します。

- **あらかじめ録画ボタン設定(☞55ページ)を「番組終了まで」にしておくと番組終了後、自動的に録画を停止します。**
- 現在放送中の他の番組を録画するときは、録画したい番組を選んで録画ボタンを押してください。

2番組を同時に録画する

 または、1 ～ で

録画したい番組を選ぶ

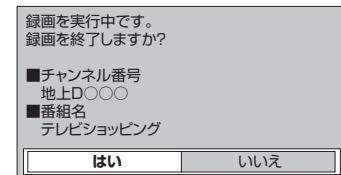
2 録画
● **を押す**

→録画がスタートして本体前面表示部の「録画」が点灯表示します。

3 **手順1、2を繰り返して、2つ目の番組を選ぶ**

録画を停止する

 を押す

2 **◀で「はい」を選び、(決定) を押す**

- **2つの番組を録画している場合**

 で録画を停止したい番組を選んでから上記の操作を行います。

お知らせ

- ハードディスクを使った番組の録画時間について
  地上･BS･CATVデジタル放送番組などの放送信号をそのまま録画しますのでハイビジョン放送は、高画質な映像で録画できます。
  ハイビジョン放送 ： 最大約23時間、標準放送 ： 最大約69時間
  ※番組によっては、録画時間が短くなる場合があります。
- 本機は録画しながら、すでに録画した番組を再生することができます。

録画予約する

録画予約の前に

録画予約時のご注意

- **放送中または、開始直前の番組を録画予約した場合**
  →録画機器は、電源「入」後、録画可能になるまで数10秒の時間が必要です。
  (当社製品での一例)
  - ビデオデッキ：約15秒
  - ブルーレイ/DVDレコーダー：約90秒
- 番組にコピーガードがかかっている場合は、正しく録画されません。
- 年齢制限を設定しているときは、暗証番号を入力しないと録画されません。

録画中のご注意

- 外部機器に録画中は、操作ができなくなります。(ボタンを押すと表示窓の「録画」が点滅表示します。)
- 外部機器で録画を中止したい場合は、「電源」ボタンを押してください。
- 録画時にHDDの空き容量が十分でない場合に、録画番組の自動消去機能(古い録画番組から自動的に消去して録画する)を有効にすると、プロテクト(上書き禁止)がされていない録画番組は自動的に消去されることがあります。

「探して毎回予約」時のご注意(☞29ページ)

- 「探して毎回予約」は最大で32件まで設定できます。
- 番組単位で購入できる有料番組(PPV)の予約はできません。
- 番組タイトルが極端に短い場合は設定できない場合があります。(N、医などの場合は設定できません)
- 番組名が前回と大きく異なる場合や似ている場合など、次回の放送が録画されなかったり内容の違う番組が録画される場合があります。
- １つの「探して毎回予約」からは同じ番組が1日に連続して複数回放送される場合、1日に7回まで予約設定されます。
- 番組の間隔が10分以上離れている場合は、連続番組として予約設定されません。
- 録画機器の状態により次回の予約が登録されなかったり実行できない場合があります。(ダビング中、起動／終了処理中など)
- 次回の予約が設定されるまで、最大1日かかる場合があります。
- 次回の放送開始時間が90分以上前後した場合は予約設定されないことがあります。
- Irシステムのタイマー予約の場合、録画機器によっては次回の予約設定時に予約設定画面が表示されたり、再生が中断する場合があります。

録画予約する

録画予約の前に

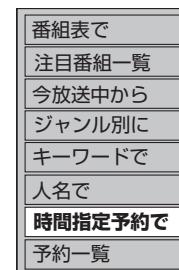
録画予約時のエラーメッセージ

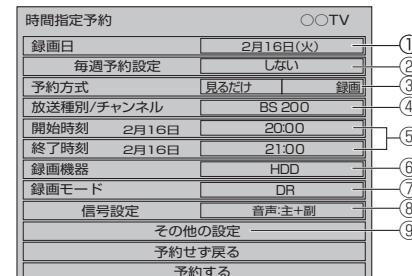
予約できません。	●契約が必要なチャンネルです。 ご加入のケーブルテレビ局に問い合わせて、契約を行ってください。 ●過去の時間帯を予約しようとした場合にも表示されます。
予約がいっぱいです。 登録済みの「予約」または「探して毎回予約」を削除してください。	●予約は64件までです。 予約一覧で不要な予約を取り消してください。(☞31ページ)
これ以上登録できません。 登録済みの「探して毎回予約」を削除してください。	●「探して毎回予約」は32件までです。 探して毎回予約一覧で不要な予約を取り消してください。 (☞31ページ)
予約が完了しました。 予約が重複しています。 予約が実行されない場合があります。	● 予約の重複とは、下記の場合です。 HDDでの予約… 予約した時刻にすでに2つの予約がある場合 Irでの予約…… 予約した時刻にすでに2つの予約がある場合または、Irの予約がある場合 →そのまま実行すると、次のように録画されます。 ▭ 部分は録画されません。 ● 放送開始の早い番組を優先 先に始まる番組 開始 終了 後から始まる番組 開始 終了 ● 開始時刻が同じ場合 ペイ・パー・ビュー(有料番組)を優先 ペイ・パー・ビュー番組 開始 終了 ペイ・パー・ビュー以外の番組 開始 終了 ● 上記以外の場合は、予約一覧の順に録画します。

日時を指定して録画予約する

1 [操作一覧] を押す

2 ▼で「番組を探す/予約する」を選び、[決定] を押す

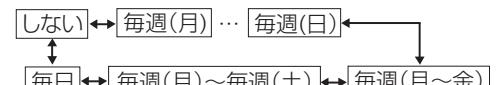
3 ▼で「時間指定予約で」を選び、[決定] を押す

4 ▼▲で項目を選び、◀▶で設定する

録画機器がHDDの場合は④～⑧の設定は不要です。

①曜日／日を選ぶ

②毎週予約を選ぶ([決定] を押す)

●毎日･毎週などの連続予約

しない ↔ 毎週(月) … 毎週(日)
毎日 ↔ 毎週(月)～毎週(土) ↔ 毎週(月～金)

または曜日指定(月)(火)(水)(木)(金)(土)(日)

●毎日･毎週などの連続予約

自動更新を「入」にすると、前回録画した同じ番組を消去して録画します。

③「見るだけ」か「録画」を選ぶ

④放送種別／チャンネルを選ぶ

⑤開始･終了時刻を選ぶ

⑥録画機器を選ぶ
(詳しくは☞39～42ページ)

⑦録画モードを選ぶ
(詳しくは☞40、42ページ)

⑧信号設定(二重音声)を設定する

⑨その他の設定をする

その他の設定		
サイドカット	する	しない
録画番組のプロテクト	する	しない

●サイドカット、録画番組のプロテクト設定については30ページ右側の手順❸をご覧ください。

5 ▼で「予約する」を選び、[決定] を押す

●確認画面(またはエラー画面)が出た場合には、表示内容を確認し操作してください。

●タイマー予約時の「再送信」は録画機器がタイマー予約状態にならなかった場合に、行ってください。

●暗証番号入力画面が表示された場合は暗証番号を入力してください。(☞57ページ)

お知らせ

●録画の終了時間設定など予約の詳細設定
(☞30ページ)

●録画予約の確認、変更、取り消し
(☞31ページ)

録画予約する

番組表から録画予約する

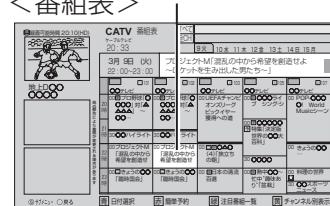
1 (番組表) を押す

2 ▼▲◀▶で番組表から、録画したい番組を選び、(赤) を押す

→録画予約が完了です。

- 予約した番組は、内蔵ハードディスクに録画されます。
- 視聴制限の番組で暗証番号入力画面が表示された場合は、暗証番号を入力してください。(☞57ページ)

例：選んでいる番組が黄色になる

＜番組表＞

2 または
番組表から、録画したい番組を選び、(決定) を押す

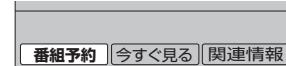
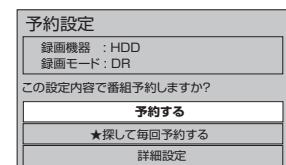
→番組内容と選択ボタンが表示されます。

- 放送中の番組のとき

[番組予約] [今すぐ見る] [関連情報]

- 放送予定の番組のとき

[番組予約] [関連情報]

3 ◀▶で「番組予約」を選び、(決定) を押す

4 ▲▼で「予約する」を選び、(決定) を押す

■詳細な設定を行って予約するとき

→「詳細設定」(☞30ページ)

見るだけ予約する

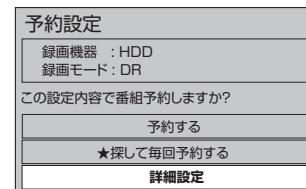
見たい番組を予約します。

1 左記手順④のとき ▼で「詳細設定」を選び、(決定) を押す

2 ▼▲で「予約方式」を選び、◀で「見るだけ」を選ぶ

詳細設定

予約を登録する		
予約方式	見るだけ	録画
録画機器	HDD	
録画モード	DR	

3 ▲で「予約を登録する」を選び、(決定) を押す

詳細設定

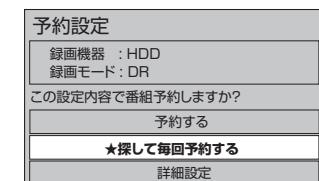
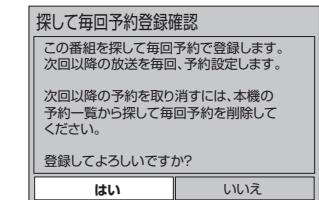
予約を登録する		
予約方式	見るだけ	録画
録画機器	HDD	
録画モード	DR	

お知らせ

- 電源を「切」にしている場合、「見るだけ予約」は無効になります。

「探して毎回予約」機能を使った予約をする

探して毎回予約は
放送日や放送時間が一定でないシリーズ物の番組を一度、「探して毎回予約」を設定すると、次回以降の放送は本機が自動的に毎回、予約設定します。
(番組表データの放送チャンネル·時間帯·番組名などから次回の放送を自動検索)

1 28ページ「番組表から録画予約する」手順④で「探して毎回予約する」を選び、(決定) を押す

2 ◀で「はい」を選び、(決定) を押す

これで、探して毎回予約完了です。

- 次回以降の放送は、毎日探して予約します。

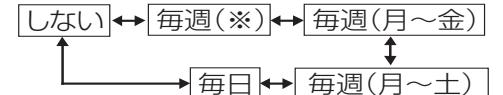
「探して毎回予約」を曜日ごとに設定する

1 28ページ「番組表から録画予約する」手順④で「詳細設定」を選び、(決定) を押す

2 ▲▼で「探して毎回予約」を選び、(決定) を押す

詳細設定

予約を登録する		
予約方式	見るだけ	録画
録画機器	HDD	
録画モード	DR	
探して毎回予約	しない	
信号設定		
その他の設定		
時間指定予約へ		

3 ◀▶で曜日を選び、(決定) を押す

※ 設定曜日

- 「しない」を選んだ場合、▼▲◀▶で曜日ごとの設定ができます。

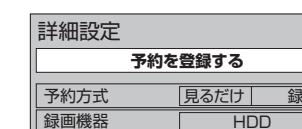
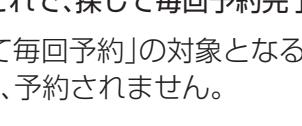
探して毎回予約設定

探して毎回設定	しない	
月	する	しない
火	する	しない
水	する	しない
木	する	しない
金	する	しない
土	する	しない
日	する	しない

●お好みの曜日を選び、曜日毎に設定を変更することができます。

4 ▲で「予約を登録する」を選び、(決定) を押す

詳細設定

予約を登録する		
予約方式	見るだけ	録画
録画機器	HDD	

5 ◀で「はい」を選び、(決定) を押す

これで、探して毎回予約完了です。

- 「探して毎回予約」の対象となる番組が無い場合は、予約されません。

録画予約の詳細設定

複数の映像や音声がある番組のとき（外部録画機器で録画するとき）

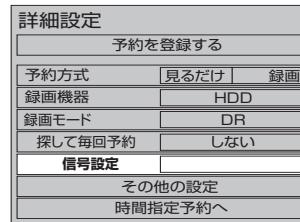
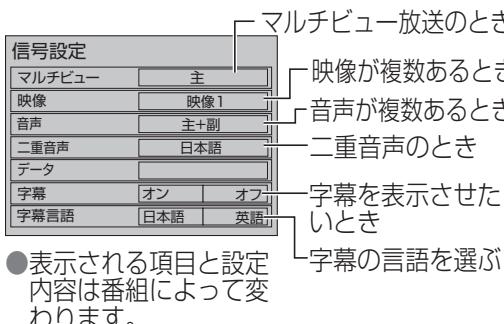
マルチビュー放送や複数の映像、二重音声、字幕などがある番組ではそれぞれ指定して録画することができます。
（本機やデジタル録画に対応した外部機器では、本設定を行わなくても、録画した機器側で必要に応じた再生ができます。）

1 28ページ「番組表から録画予約する」手順④で「詳細設定」を選び、(決定) を押す

2 ▼で「信号設定」を選び、(決定) を押す

詳細設定		
予約を登録する		
予約方式	見るだけ	録画
録画機器	HDD	
録画モード	DR	
探して毎回予約	しない	
信号設定		
その他の設定		
時間指定予約へ		

3 ▼▲で項目を選び、◀▶で設定する

信号設定			
マルチビュー	主		マルチビュー放送のとき
映像	映像1		映像が複数あるとき
音声	主+副		音声が複数あるとき
二重音声	日本語		二重音声のとき
データ			
字幕	オン	オフ	字幕を表示させたいとき
字幕言語	日本語	英語	字幕の言語を選ぶ

●表示される項目と設定内容は番組によって変わります。

4 戻る を押し、▲で「予約を登録する」を選び、(決定) を押す

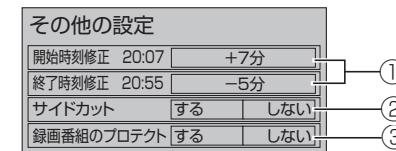
その他の設定を行うとき

録画予約する番組の詳細設定を行うことができます。
●予約時間の微調整
●画面のサイドカット
●録画番組のプロテクト設定

1 28ページ「番組表から録画予約する」手順④で「詳細設定」を選び、(決定) を押す

2 ▼で「その他の設定」を選び、(決定) を押す

3 ▼▲で項目を選び、◀▶で設定する

その他の設定			
開始時刻修正 20:07	+7分		①
終了時刻修正 20:55	−5分		①
サイドカット	する	しない	②
録画番組のプロテクト	する	しない	③

①**予約時刻を微調整する**
（開始時刻：－1分まで、終了時刻：＋1分まで）
※開始時刻～終了時刻が7分以上必要です。

②**サイドカット**
「する」に設定すると、ハイビジョン放送の場合、左右両端を切り取った映像に変換して出力されます。

③**録画番組のプロテクト**
「する」に設定すると、「録画番組の自動消去」「自動更新」(時間指定予約時のみ)で上書きがされません。工場出荷時は「しない」に設定されています。

4 戻る を押し、▲で「予約を登録する」を選び、(決定) を押す

録画予約の確認・変更・取り消し

1 予約確認 を押す

※27ページの手順❸のとき、▼で「予約一覧」を選んで、(決定) を押しても予約一覧を表示します。

2 ▼▲で確認・変更・取り消したい番組を選び、(決定) を押す

<予約一覧>

予約の状態をアイコン表示（詳しくは☞99ページ）

青 :予約一覧を表示
赤 :探して毎回予約一覧を表示
緑 :予約履歴を表示
●◀▶で画面表示を変えることができます。

●実行前の予約と実行済みの予約が、それぞれ64件まで表示されます。

設定変更　予約削除

例：実行前の予約を選んだとき

予約内容の確認や変更のとき

3 ①◀で「設定変更」を選び、(決定) を押す
②設定内容を確認する
③設定を変更するときは、設定を変更して、▼▲で「修正を反映する」を選び、(決定) を押す

予約した番組を取り消すとき

①▶で「予約削除」を選び、(決定) を押す

探して毎回予約を取り消すときは、引きつづき以下の操作を行ってください。

②確認画面が表示されたら、◀で「はい」を選び、(決定) を押す

（「探して毎回」予約について☞29ページ）

お知らせ

● 予約一覧表で取り消したい番組を選び、黄 ボタンを押して取り消すこともできます。

お願い

●「タイマー予約」のときは、録画機器側でも変更や取り消し操作を行ってください。

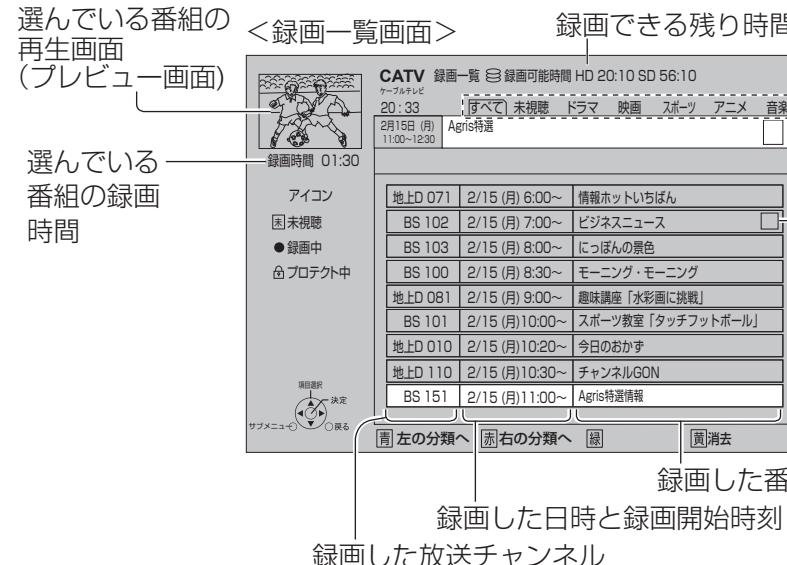
お知らせ

●**実行中の録画を停止する場合は以下の操作を行ってください。**
・電源「入」で視聴中のとき：「停止」ボタンを押す→画面表示に従って操作する
・電源「切」状態のとき　：「電源」ボタンを押し視聴状態にする→「停止」ボタンを押す→画面表示に従って操作する
●録画終了後の番組は、「履歴削除」を選んで決定すると、一覧から削除ができます。
●番組表で予約済みの番組を選んで決定ボタンを押すと「設定変更」「予約削除」を選べます。

録画した番組を見る 録画一覧

本機のHDDに録画(保存)した番組は、録画一覧から選んで再生ができます。
録画一覧では録画した番組の再生、消去、ダビングなどを行うことができます。

を押す

録画一覧は、HDD(内蔵ハードディスク)に録画した番組を一覧表示します。
(録画開始時刻の古いものから順に表示)

録画した番組を再生する

▼▲で見たい番組を選び、(決定) または 再生/1.3倍速 ▶ を押す

選んだ番組を再生します。

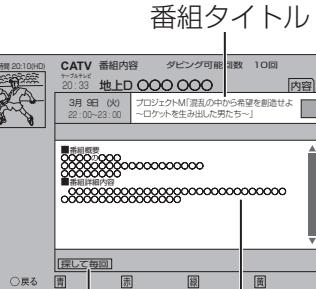
● 未視聴番組は、先頭から再生します。
● 一度再生された番組は、続きから再生します。

■一度再生した番組をはじめから見るとき

● 見たい番組を選び、サブメニュー(S)を押し、▲▼で「先頭から再生」を選び、(決定) 押す。

お知らせ

● 視聴制限のある番組は表示されない場合があります。
「サブメニュー」→「視聴制限一時解除」を選んで、暗証番号を入力すると表示されます。
● プロテクト設定(上書き禁止)がされていない録画番組は、HDDの空き容量が十分でない場合、録画番組の自動消去(☞55ページ)を「する」に設定していると、古い録画番組から自動的に消去されることがあります。 録画予約でのプロテクト設定の変更は(☞30ページ)
● 録画可能時間は、HDDに録画できる残り時間を表示します。
録画番組の自動消去(☞55ページ)を「する」に設定した場合、録画しても残量表示は変わりません。録画済み番組にプロテクト設定[上書き禁止](☞34ページ)を行なったり、自動消去設定を「しない」に設定して録画した場合には、録画できる時間が減るため残量表示も減ります。
● 操作一覧→「機器を操作する」→「HDD」で「録画一覧」画面を表示させることもできます。

番組の詳細内容を表示する

1 再生中に 番組内容 □ を押す

再生中に再生開始位置を設定する

1 12 タイムワープ を押す

2 ◀▶でタイムワープ(再生開始位置)を設定し、(決定) を押す

タイムワープ ＋15分

「−180分〜−1分、+1分〜+180分」

設定した位置より再生します。

● 録画番組の再生中のみ番組の時間内で設定ができます。
● ◀▶の長押しで15分単位で切り換わります。

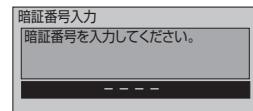
再生中の操作

操作内容	操作ボタン
1.3倍速再生	再生/1.3倍速 ▶ (長押し) ● 再生中に(長押し)押すと、再生速度が変わります。(通常再生→1.3倍速) ● 再生/1.3倍速 ▶ で通常再生に戻ります。
一時停止	一時停止/前選局 ❚❚ ● 番組の再生を一時停止します。 ● 一時停止中に 再生/1.3倍速 ▶ または 一時停止/前選局 ❚❚ で再生を再開します。
停止	停止 ■ 番組の再生を停止します。 ● 停止中に 再生/1.3倍速 ▶ で再度再生します。
サーチ(早送り 早戻し)	スロー/サーチ ◀◀ ▶▶ (再生中に) ● 押すごとに、速度が速くなります。(5段階) ● 再生/1.3倍速 ▶ で通常再生に戻ります。
スロー再生	スロー/サーチ ◀◀ ▶▶ (一時停止中に) ● 押すと、スロー再生になります。 ● 再生/1.3倍速 ▶ で通常再生に戻ります。
スキップ再生	スキップ ❙◀◀ ▶▶❙ (再生中または一時停止中に) ● 押した回数だけ番組や場面を飛び越して再生します。
30秒先へスキップ再生	30秒送り □ ● 1回押すごとに、約30秒飛び越して再生します。
15秒逆へスキップ再生	30秒送り □ (長押し) ● 約15秒戻って再生します。

録画した番組を見る 録画一覧

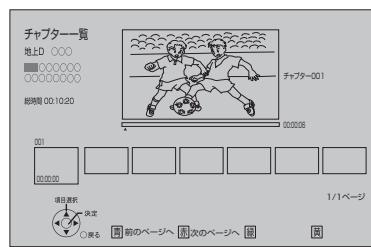
視聴制限番組名表示の一時制限解除

通常、視聴制限番組は録画一覧に表示されませんが、番組名を一時的に表示させることができます。

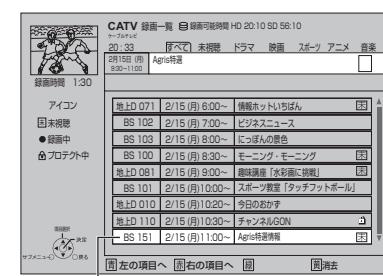
1. 32ページの録画一覧画面を表示させ
   サブメニュー を押し、▼▲で「視聴制限一時解除」を選び、決定 を押す
2. 暗証番号を入力し、決定 を押す

視聴制限番組も含め録画一覧画面に表示されます。

チャプター表示

録画中、シーンの切り換わりにより、チャプター画面を作成します。お好みのシーンをかんたんに見つけることができます。
※「録画・視聴設定」で「自動チャプター」を「入」に設定しておきます。(☞55ページ)

1. 32ページの録画一覧画面を表示させ
   サブメニュー を押し、▼▲で「チャプター一覧」を選び、決定 を押す
2. ◀▶でチャプター画面を選び、
   決定 を押す

再生がはじまります。

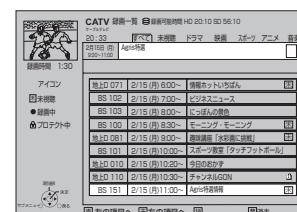
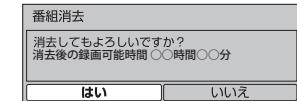
録画した番組の上書き禁止を設定する

1. 32ページの録画一覧画面を表示させ
   ▼▲で設定したい番組を選び、
   サブメニュー を押す

録画番組情報

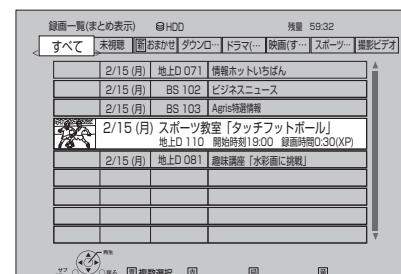
2. ▼▲で「プロテクト設定変更」を選び、決定 を押す

プロテクト設定が変更されます。
例：上書き禁止の設定がされると、上書きが禁止になり、録画番組情報に(プロテクト設定)のアイコンが表示されます。

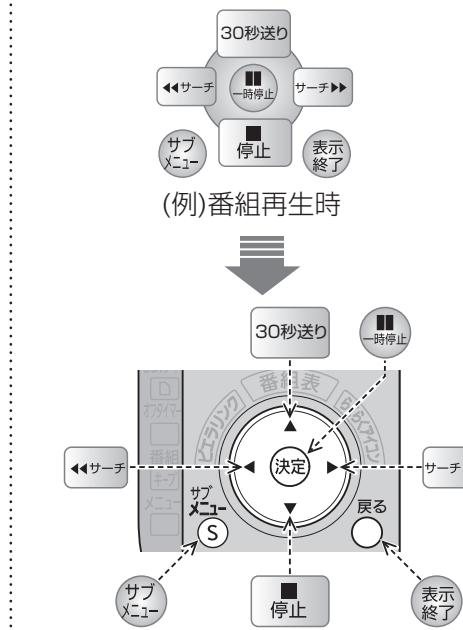
録画した番組を消去する

1. 32ページの録画一覧画面を表示させ
   ▼▲で消去したい番組を選び、
   黄 を押す

2. ◀で「はい」を選び、決定 を押す

他の録画機器の番組を見る お部屋ジャンプリンク

ネットワーク接続されたDLNA対応機器(HDD)の録画番組を本機で見ることができます。
本機とDLNA対応機器の両方で設定が必要です。(本機の設定は☞76ページ)

1. 操作一覧 を押す
2. ▼▲で「機器を操作する」を選び、決定 を押す
3. ▼▲で「お部屋ジャンプリンク」を選び、決定 を押す
4. ▼▲で録画機器を選び、決定 を押す
5. ▼▲で再生する番組を選び、決定 を押す

再生がはじまります。

●操作パネルが表示されます。

(例)番組再生時

●操作パネルが表示されていないときは、サブメニュー を押す

お知らせ
- 本機とDLNA対応機器間の接続環境によっては、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。
- 画面上で灰色表示されている項目は、本機で再生できない映像です。
- お部屋ジャンプリンクの詳細な設定は下記のサポートサイトでご確認ください。
  http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html
  (2010年3月現在)

他の録画機器にダビングする

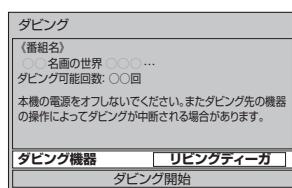
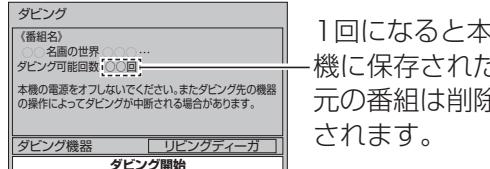
録画機器がネットワーク接続されているとき

本機と録画機器をネットワーク接続してダビングする場合、本機側でダビング操作を行います。本機と録画機器の両方でお部屋ジャンプリンク設定が必要です。(本機の設定は☞76ページ)

1 32ページの録画一覧画面を表示させ
▼▲でダビングしたい番組を選び、
サブメニュー ⓢ **を押す**

2 **▼▲で「ダビング」を選び、**
決定 **を押す**

3 **▼▲で「ダビング機器」を選び、**
◀▶で録画する機器を選ぶ

4 **▼▲で「ダビング開始」を選び、**
決定 **を押す**

1回になると本機に保存された元の番組は削除されます。

「ダビングを開始します」のメッセージが表示され、ダビングを開始します。

- 1回のみデジタルコピーが可能な録画番組(コピーワンス)では、ダビングを開始すると本機に保存された元の番組は削除されます。
- ダビング先の録画機器の容量が満杯になると途中で中断されます。
- ダビングを中止するときは、「停止」ボタンを押すとダビング中止確認画面が表示されます。「はい」を選び、決定するとダビングは中止されます。
- 本機からダビングした履歴を見ることができます。(☞59ページ)

ダビング10について

本機と他の録画機器をネットワーク(LAN)接続した場合、本機のハードディスクで録画した番組を他の録画機器へ10回までダビングすることができます。
(コピー※1 9回 ＋ ムーブ※2 1回)

※1 **コピー**:
オリジナルを残したまま複製が可能。

※2 **ムーブ**:
録画した番組の保存場所を移動させること。(他の録画機器に10回目のダビングをしたときその録画番組は本機から消去されます。)

- 地上/BSデジタル放送はダビング10に対応していますが、全てのデジタル放送がダビング10に対応しているわけではありません。
- 直接外部機器に録画した場合、ダビング10は対応されません。

お知らせ

- 当社製ブルーレイレコーダーでのダビング中にブルーレイレコーダーを操作するまたは重複するブルーレイレコーダー側の録画予約が開始するとダビングが失敗または中断する場合があります。
- 本機でCATVデジタル放送を録画した番組を当社製録画機器へダビングした場合、CS放送と表示する場合があります。

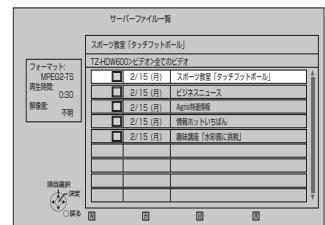
別の部屋の機器で録画番組を見る

ホームサーバー機能

ネットワーク接続されたDLNA対応機器から本機の録画番組を見ることができます。
本機とDLNA対応機器の両方で設定が必要です。(本機の設定は☞77ページ)

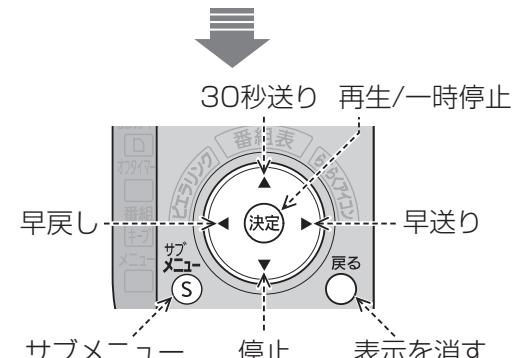
DLNA対応の当社製機器から再生する

ネットワーク接続したDLNA対応の当社製機器から本機の録画一覧(HDD)の番組を再生することができます。操作は機器の取扱説明書をご覧ください。

1 **機器のリモコンを使って、本機の「録画一覧」を表示させる**

- 機器によって「録画一覧」を表示させる方法は異なります。

2 **▼▲で再生する番組を選び、**
決定 **を押す**

- 操作ガイドが表示されます。

(例)番組再生時

- 操作ガイドが表示されていないときは、サブメニュー ⓢ を押す

DLNA対応の他社製機器から再生する

ネットワーク接続したDLNA対応の他社製機器から本機のHDD録画した番組を再生することができます。

- 番組の一覧画面や再生可能な番組、再生方法などは接続した機器によって異なります。操作方法は接続した機器の取扱説明書をご覧ください。
- 編集はできません。

接続した機器で、本機の番組を選び、再生する

- 再生中の操作は、接続した機器の操作方法に従ってください。

お知らせ

- 本機が以下の場合、再生できません。
  ・2番組同時録画中
  ・ダビング実行中
  ・ブラウザなどのネットワークを利用する機能を使用中 など
- 2台以上の機器で同時に再生することはできません。

外部機器に録画予約する

録画予約をする前に

- 本機と外部機器を接続するにはIrシステムなどの接続方法があります。
  ハイビジョン放送の録画は本機のハードディスクへの録画をおすすめします。それ以外の方法では、従来の地上アナログ放送と同等の画質になります。
- 有料番組(☞15ページ)の番組予約が実行された場合、視聴や録画をしなくても料金が請求されますので、十分にご注意ください。
- ダビング10の運用は、すべてのデジタル放送と番組がダビング10に対応しているわけではありません。また、デジタル録画機器により、録画、複製、移動ができないことがあります。
  (2010年3月現在)

Irシステムで外部機器を接続したとき

本機と外部機器をIrシステムで接続した場合、「連動予約」と「タイマー予約」の2通りの予約のしかたがあります。(詳細は☞39、40、83ページ)

	外部機器への録画情報	番組の放送時間が変更になったとき	録画機器側の設定
連動予約	番組が放送開始するときに本機から外部機器へ録画情報を送る	変更時間に合わせて録画	あらかじめ設定が必要
タイマー予約	予約設定した時点で本機から外部機器へ録画情報を送る	変更前の時間で録画(予約時に録画情報を受けているため、予約時以降の変更はできません。)	設定は不要

録画モードについて

- 録画機器の取扱説明書をご覧のうえ、録画機器で対応している録画モードを設定してください。
- 「機器側設定」を選んだときは、録画機器で設定してください。
- **HDD録画での録画モード表示について**
  予約設定画面で録画モード選択時に表示されるDRとは、ダイレクトレコーディングの意味でデジタル放送をデジタル信号のままHDDに録画します。

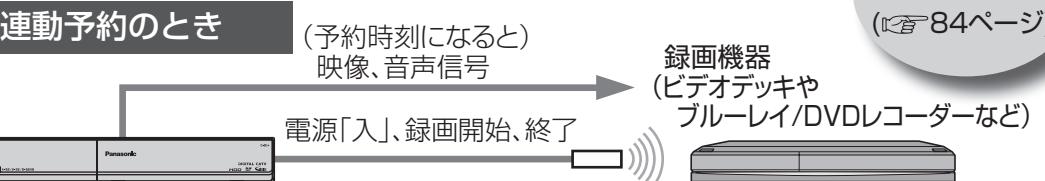
お知らせ

- 電源「切」の状態から外部録画機器の録画予約がはじまると「録画」表示がゆっくりと点滅します。この点滅は、録画終了後、電源「切」になることを示しています。
- 外部録画機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 確認画面(またはエラー画面)が出た場合には、表示内容を確認し操作してください。

- **設定中、**戻る で1つ前の画面に戻ります。
- **設定後は、**元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

Irシステム

Irシステムで接続した外部機器に録画する

機器の接続と設定が必要です(☞84ページ)

連動予約のとき

(予約時刻になると)
映像、音声信号

電源「入」、録画開始、終了

録画機器
(ビデオデッキや
ブルーレイ/DVDレコーダーなど)

〈本機側の操作など〉 / 〈録画機器側の操作など〉

	〈本機側の操作など〉	〈録画機器側の操作など〉
番組の予約操作	下記の手順に従って操作を行う	予約実行開始の3分前までに… ●テープやディスクを入れる ●本機から接続した外部入力に切り換える ●録画モードを設定する ●録画可能状態であることを確認し、リモコンで電源を切る (切らないと、録画開始できません)
予約時刻になると	●Irで電源「入/切」と録画開始信号が送られる (終了時刻に停止信号が送られる) ●予約した番組の映像と音声が出力される	電源が入り、録画が実行される (終了時刻に電源が切れる)

- 連動予約はパナソニック、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NECのビデオデッキおよびパナソニック、パイオニア、三菱のDVDレコーダーとパナソニックのブルーレイレコーダーのみ使用できます。※一部、使用できない商品もあります。

1. 番組表 を押す

2. **▼▲◀▶で録画したい番組を選び、決定 を押す**

3. **◀▶で「番組予約」を選び、決定 を押す**

4. **▼▲で「詳細設定」を選び、決定 を押す**

5. **▼▲で「予約方式」を選び、▶で「録画」を選ぶ**

6. **▼▲で項目を選び、◀▶で設定する**

Ir(連動)を選ぶ

選べません
録画機器側で設定してください。

探して毎回予約を「する」「しない」を設定する

時間指定など詳細な予約設定をすることができます。(☞27、29、30ページ)

7. **▲▼で「予約を登録する」を選び、決定 を押す**

これで、**予約完了**です。

- ブルーレイ/DVDレコーダーで複数の録画予約を行う場合、番組の間隔が1分未満のときは、1つの番組として録画されることがあります。
- 録画機器側でも準備操作が必要です。

外部機器に録画予約する

● **設定中、**戻る で1つ前の画面に戻ります。
● **設定後は、**元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

お知らせ タイマー予約と連動予約を混在させないでください。予約が実行されない場合があります。

	〈本機側の操作など〉	〈録画機器側の操作など〉
番組の予約操作	下記の手順に従って操作を行う	リモコンで電源を入れ、テープやディスクを入れる
予約操作が終わると	Irで、予約設定情報が送られる	本機で設定した、タイマー予約状態になる(ご確認ください)
予約時刻になると	予約した番組の映像と音声が出力される	録画が実行される

●タイマー予約は1995年以後発売の当社製タイマー予約付ビデオデッキおよびブルーレイ/DVDレコーダーのみ使用できます。
●深夜番組など日付をまたいで放送される番組は、正しく録画されない場合があります。
また、24時間以上の録画はできません。このような場合は、連動予約をお使いください。

1. 番組表 を押す
2. ▼▲◀▶で録画したい番組を選び、決定 を押す
3. ◀▶で「番組予約」を選び、決定 を押す
4. ▼▲で「詳細設定」を選び、決定 を押す

   探して毎回予約する
   詳細設定

5. ▼▲で「予約方式」を選び、▶で「録画」を選ぶ

   詳細設定
   予約を登録する
   予約方式 見るだけ 録画

6. ▼▲で項目を選び、◀▶で設定する

   詳細設定
   予約を登録する
   予約方式 見るだけ 録画
   録画機器 Ir(タイマー) ―「Ir(タイマー)」を選ぶ
   録画モード ――
   探して毎回予約 しない ― 探して毎回予約を「する」「しない」を設定する

   ●ビデオのとき
   →「標準」「3倍」「5倍」「標3」「機器側設定」から選ぶ
   ●ブルーレイ/DVDレコーダーのとき
   →「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」「機器側設定」から選ぶ

   時間指定など詳細な予約設定をすることができます。(☞27、29、30ページ)

7. ▲▼で「予約を登録する」を選び、決定 を押す
8. ◀で「はい」を選び、決定 を押す

   これで、**予約完了**です。

●HDD内蔵のブルーレイ/DVDレコーダーでのHDDとDVDの切り換え設定などの本機から設定できない項目は、録画機器側で設定します。
●「再送信」は録画機器がタイマー予約状態にならなかった場合に、行ってください。

Irシステムを使用しないで外部機器に録画する

録画機器
(ビデオデッキや
ブルーレイ/DVDレコーダーなど)
(予約時刻になると)
映像、音声信号

	〈本機側の操作など〉	〈録画機器側の操作など〉
番組の予約操作	下記の手順に従って操作を行う	●テープやディスクを入れる ●本機から接続した外部入力に切り換える ●録画モードを設定する ●録画開始、終了時刻を設定し、予約する
予約時刻になると	予約した番組の映像と音声が出力される	録画が実行される

1. 番組表 を押す
2. ▼▲◀▶で録画したい番組を選び、決定 を押す
3. ◀▶で「番組予約」を選び、決定 を押す
4. ▼▲で「詳細設定」を選び、決定 を押す

   探して毎回予約する
   詳細設定

5. ▼▲で「予約方式」を選び、▶で「録画」を選ぶ

6. ▼▲で「録画機器」を選び、◀▶で設定する

時間指定など詳細な予約設定をすることができます。(☞27、29、30ページ)

7. ▲▼で「予約を登録する」を選び、決定 を押す

これで、**予約完了**です。

外部機器に録画予約する

本機と外部機器で同時に録画する

（予約時刻になると）映像、音声信号 → 録画機器（ビデオデッキやブルーレイ/DVDレコーダーなど）

	〈本機側の操作など〉	〈録画機器側の操作など〉
番組の予約操作	下記の手順に従って操作を行う	機器の接続方法に応じた操作を行う
予約時刻になると	●予約した番組の映像と音声が出力される ●録画が実行される	録画が実行される

1 番組表 を押す

2 ▼▲◀▶で録画したい番組を選び、決定 を押す

3 ◀▶で「番組予約」を選び、決定 を押す

4 ▼▲で「詳細設定」を選び、決定 を押す

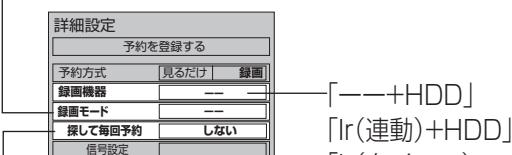
予約する
毎週予約する
探して毎回予約する
詳細設定

5 ▼▲で「予約方式」を選び、▶で「録画」を選ぶ

6 ▼▲で項目を選び、◀▶で設定する

●「ーー+HDD」または「Ir(連動)+HDD」のとき
→「ーー+DR」に固定(選べません)

●「Ir(タイマー)+HDD」のとき
・ビデオのとき →「標準+DR」「3倍+DR」「5倍+DR」「標3+DR」「機器側設定+DR」から選ぶ
・ブルーレイ/DVDレコーダーのとき →「XP+DR」「SP+DR」「LP+DR」「EP+DR」「F R+DR」「機器側設定+DR」から選ぶ

「ーー+HDD」「Ir(連動)+HDD」「Ir(タイマー)+HDD」から選ぶ

探して毎回予約を「する」「しない」を設定する

■タイマー予約の場合

本機から録画機器に予約情報が送られ録画機器がタイマー予約状態になると、予約完了です。「再送信」は録画機器がタイマー 予約状態にならなかった場合に行ってください。

■連動予約の場合

録画機器側でも予約設定が必要です。

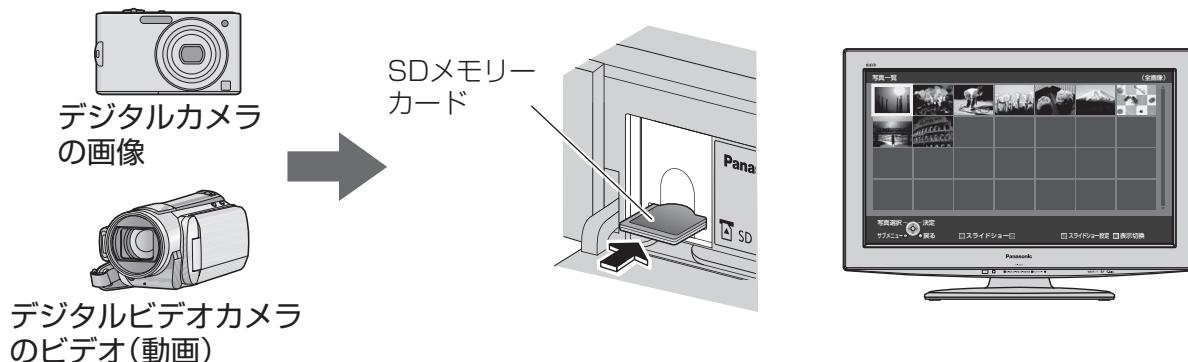
時間指定など詳細な予約設定をすることができます。(☞27、29、30ページ)

7 ▲▼で「予約を登録する」を選び、決定 を押す

8 タイマー予約の場合
◀で「はい」を選び、決定 を押す

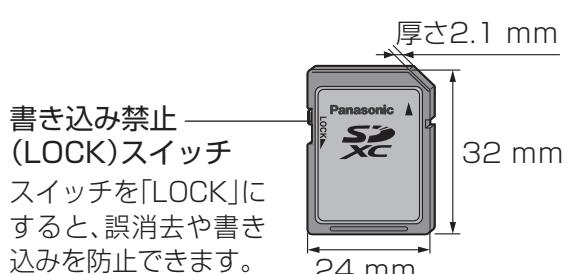
これで、**予約完了**です。

SDメモリーカードの画像を見る

デジタルカメラで撮影した写真（画像）や、デジタルビデオカメラで撮影したビデオ（動画）を、テレビ画面で見ることができます。

SDメモリーカードについて

切手とほぼ同じ大きさの半導体メモリーカードです。メモリー容量によりSDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードの3種類があります。

スイッチを「LOCK」にすると、誤消去や書き込みを防止できます。

●規格外のSDメモリーカードやSDメモリーカード以外のものを挿入しないでください。故障の原因になります。

SDメモリーカードの種類

●本機では、FAT16またはFAT32フォーマットされたSDメモリーカード、SDHCメモリーカード、exFATフォーマットされたSDXCメモリーカードが使用できます。

種類	メモリー容量
SDメモリーカード	(8 MB～2 GB)
SDHCメモリーカード	(4 GB～32 GB)
SDXCメモリーカード	(48 GB～64 GB)

●一部のSDメモリーカードで使用できない場合があります。

最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html（2010年3月現在）

SDメモリーカードの画像を見る

SDメモリーカードの出し入れ

SDメモリーカードの再生操作中は、電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。
データが破壊されたり、本体が正常に動作しなくなる場合があります。
miniSD™カードまたはmicroSD™カードを使用の場合はアダプターごと出し入れしてください。
SDメモリーカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

扉の開けかた

扉の上部を指先で引いて開ける

入れかた

表面(ラベル面)を上にしてまっすぐ奥まで差し込む

- miniSD™カードまたはmicroSD™カードを直接差し込まないでください。必ず、アダプターを装着してご使用ください。

取り出しかた

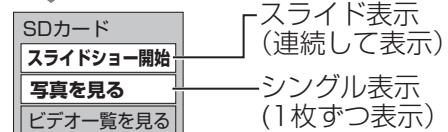
カードの中央部を押す

- SDメモリーカードの画像を見終わったら、[元の画面]を押し、テレビ画面に戻してから取り出してください。

- SDメモリーカードの全フォルダ内を探し、本機で表示可能な静止画を表示します。
- ファイル数やフォルダ数が多い場合、表示に時間がかかることがあります。

写真を再生する(表示方法を選ぶ)

1 本機にSDメモリーカードを挿入する

2 [SDカード] を押す

- [操作一覧]→「機器を操作する」→「SDカード」でも上記の表示方法選択画面を表示できます。

■SDメモリーカードを取り出すときは

[元の画面]を押し、テレビ画面に戻ってから取り出す。

シングル表示(1枚ずつ表示)

3 ▼▲で「写真を見る」を選び、(決定) を押す

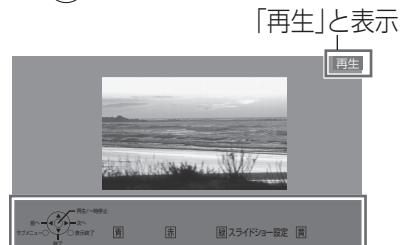
- 写真一覧画面が表示されます。(☞ 46ページ)

4 ◀▶▲▼で写真を選び、(決定) を押す

操作ガイド部

- 表示される画像の大きさは、画像の解像度により異なります。

スライドショー表示(連続して表示)

3 ▼▲で「スライドショー開始」を選び、(決定) を押す

操作ガイド部

- 操作ガイド部の表示 [サブメニュー] を押す。(約 5 秒間表示されます。)
- 操作ガイド部を消す [戻る] を押す。

■シングル表示、スライドショー表示でのボタン操作

操作	ボタン
画像を切り換える	◀▶
「スライドショー」のとき一時停止／再生	(決定)
「シングル表示」のとき「スライドショー」に切り換わる	(決定)
写真一覧画面を表示する	▼
スライドショー設定	緑
画像を回転させる(シングル表示時のみ)[押すごとに90°ずつ右回りに回転]	黄

(お知らせ)

- スライドショーやシングル表示で表示される写真の大きさは、解像度によって異なります。(常に画面一杯に表示されるわけではありません。)

SDメモリーカードの画像を見る

スライドショーの設定

(1)写真一覧画面、シングル表示または
スライドショー画面で、緑を押す。
(2)▲▼で項目を選び、◀▶で設定する。

項目	設定
表示間隔	写真の表示間隔を選ぶ。 (短い／普通／長い) ●画像サイズによっては、表示間隔に差が出なくなることがあります。画像サイズが大きいときは、表示間隔が長くなります。
表示効果	スライドショーの表示方法を選ぶ。 (オフ／フェード／ディゾルブ／ランダム)
リピート	最後まで再生したときに最初に戻って再生をする。(オフ／オン) ●分類表示内の写真を繰り返し表示します。
表示モード	写真を拡大して表示する。 (ノーマル／ズーム) ●ズームの場合、写真によって上下左右の端が表示されないことがあります。
BGM	写真再生時にお好みのBGMを選ぶ。 (BGM1／BGM2／BGM3／オフ) ●本機に内蔵しているBGMデータを再生します。 (SDメモリーカードに記録されている音楽や音声は再生できません。)

(終わったら 戻る を押す)

写真一覧画面の見かた

●表示中は、SDメモリーカードを抜いたり、電源を切らないでください。

■1枚ずつ見るとき(シングル表示)
▲▼◀▶で写真を選び、決定を押す。

■スライドショーを開始するとき
青を押す。

■スライドショー設定をかえるとき
緑を押す。

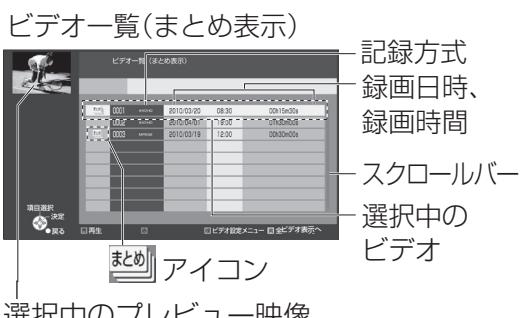
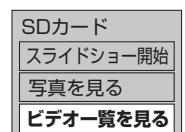
■表示を切り換えて見るとき
(1)黄を押す。
(2)▲▼で分類表示のしかたを選び、
決定を押す。
(全画像、日付別、月別、フォルダ別)

SDメモリーカードのビデオを見る

SDメモリーカードのビデオを見る

1 SDメモリーカードを挿入する
(☞ 44ページ)

2 SDカード D を押す

3 ▼▲で「ビデオ一覧を見る」を選び、決定 を押す

●ビデオ一覧(まとめ表示)にSDメモリーカード内のビデオが一覧表示されます。
※SDメモリーカードに保存されているビデオの各映像を「シーン」と呼びます。
※複数の「シーン」を「録画日時」と「記録方式」ごとにまとめたものがまとめアイコンで表示されます。

●再生するとき 青 を押す。
●ビデオ設定メニューの表示
(リピート再生 オフ/オン) 緑 を押す。
●ビデオ一覧(全ビデオ表示)画面の表示
黄 を押す。

4 ▼▲でビデオを選び、決定 を押す
●再生が開始されます。
●まとめ アイコンがあるビデオを選択した場合は、ビデオ一覧(シーン表示)が表示され、まとめられた各シーンを確認することができます。
●▲▼でシーンを選び、決定を押してください。

ビデオ一覧(シーン表示)

5 再生・操作する
●再生が終わると、元の一覧画面に戻ります。

■一時停止/再生 決定を押す。
■停止(ビデオ一覧に戻る) ▼を押す。
■早送り/早戻し ◀▶を押す。
●押すたびに速度が速くなります。(3段階)
●決定を押すと通常の再生に戻ります。
■前/次スキップ 青 赤 を押す。
■操作ガイド部を表示 サブメニュー S を押す。
■操作ガイド部を消す 戻る を押す。

お知らせ
● SDビデオ再生画面では、録画日時･録画時間は再生後、約5秒間表示します。
消えたあと、再生状態･再生時間を約30秒間表示します。

インターネットを利用した情報を見る ブラウザ

ブラウザとは、インターネット上のページを表示するためのソフトウェアです。本機にはポータルサイトへアクセスするためのブラウザがあらかじめ入っています。
インターネットを利用した生活情報やテレビ向けの双方向情報提供サービスを見ることができます。

ブラウザ を押す

→ポータルサイト※1画面に変わります。

＜ポータルサイト画面のイメージ例＞

▲▼◀▶で見たい項目を選び、決定 を押す

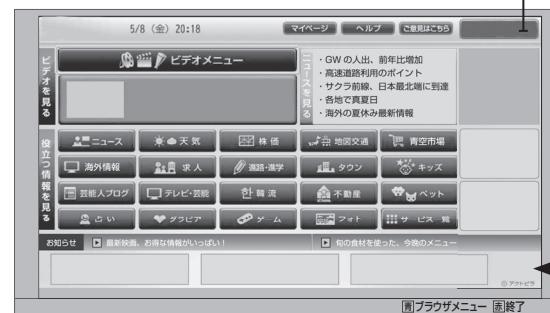
選んでいる項目は黄色の枠で囲まれます。

●選択と決定を繰り返し、見たい情報へ。

初めてお使いになるときは…

ブラウザを押すと、端末情報送信の画面を表示します。

画面の指示に従って、端末情報※2を送信してください。

ポータルサイトに戻るとき ブラウザ 押す

・ご加入のケーブルテレビ局により画面は異なります。

青 を押す

ネット操作パネルを表示

インターネットを終了するとき 赤 押す

確認画面が表示され、

◀で「はい」を選び、決定 を押す

→テレビ放送の画面に戻ります。

ネット操作パネルを操作するには ◀▶で項目を選び、決定 を押す

ネット操作パネルを消すには もう一度、青 を押す

※1 ポータルサイトとは、「ブラウザ」ボタンを押したときに最初に表示されるホームページのことです。（ポータルとは玄関･入り口の意味です）

※2 端末情報とは、郵便番号や端末の識別ID（本機にあらかじめ組み込まれた番号）などのブラウザの通信制御に必要な情報のことです。端末情報を送信しないと、ブラウザ機能の一部が使えません。一度送信を行うと、次回から送信画面は表示されませんが、郵便番号が正しくない場合や長期間ポータルサイトを使用しなかった場合は、再び送信画面が表示されることがあります。

●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により利用できない場合があります。
ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。

●接続と設定はお済みですか？（☞64、74～80ページ）

ブラウザの視聴制限（暗証番号の入力）を設定する

テレビ放送の画面にしてから設定します。

1. **操作一覧 を押す**
2. **▼で「設定する」を選び、決定 を押す**
3. **▼で「システム設定」を選び、決定 を押す**
4. **▼で「制限項目設定」を選び、決定 を押す**
5. **暗証番号を入力する（☞56ページ）**
6. **▼で「ブラウザ制限」を選び、◀▶で設定を選ぶ**

する	暗証番号の入力が必要
しない	暗証番号の入力が不要

ホームページへの情報登録についてのご注意

ブラウザを使ってホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。ご加入のケーブルテレビ局への返却などで本機のご使用を中止される場合は、登録時の規約などに従って、必ず登録情報の消去を行ってください。

お知らせ

●天災やシステム障害その他の事由により、ポータルサイトのコンテンツを表示できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●ポータルサイトの利用条件については、別途、ポータルサイトにてご確認ください。

●ご加入のケーブルテレビ局指定のコンテンツ以外の一般のインターネットホームページは、本機では正確に表示されない場合があります。また、予期しない情報や有害な情報が含まれている場合もあります。

●クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分注意してください。

●本機能はご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により使用できない場合があります。

インターネットを利用した情報を見る ブラウザ

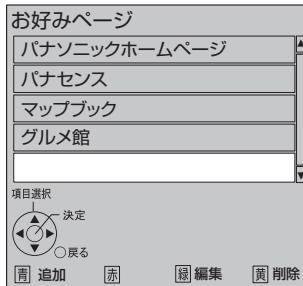
今見ているホームページを「お好みページ」に登録して、すぐに呼び出すことができます。

「お好みページ」を登録する

1 ホームページを見ているときに
青 を押す

2 ◀▶で「お好みページ」を選び、
決定 を押す

▶進む ×中止 更新 ホーム お好みページ

3 青 を押す

4 確認画面で、決定 を押す

お知らせ

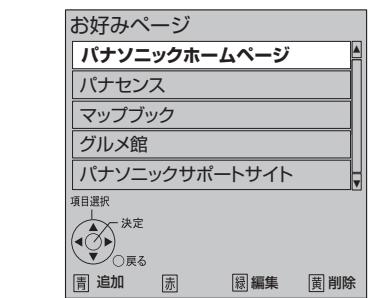
●「お好みページ」の登録は、20件までです。手順❸で「これ以上登録できません」と表示されたら、「編集」を選び決定ボタンを押して、不要な「お好みページ」を削除してください。

登録した「お好みページ」を見る

1 ホームページを見ているときに
青 を押す

2 ◀▶で「お好みページ」を選び、
決定 を押す

▶進む ×中止 更新 ホーム お好みページ

3 ▲▼で見たい「タイトル」を選び、
決定を押す

→選んだページが表示されます。

お知らせ

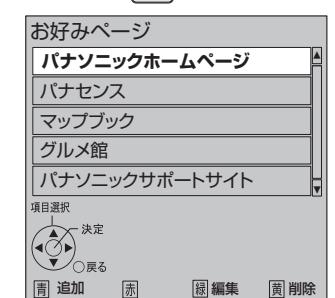
●「お好みページ」に登録したホームページが、提供者の都合により無くなったり、アドレスが変更になった場合には、そのページは表示できません。

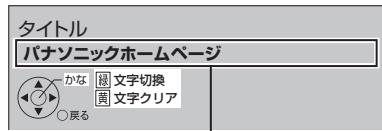
登録した「お好みページ」のタイトルを変更する

1 ホームページを見ているときに
青 を押す

2 ◀▶で「お好みページ」を選び、
決定を押す

▶進む ×中止 更新 ホーム お好みページ

3 ▲▼で編集したいお好みページを選び、緑 を押す

4 編集確認画面が表示され、
決定を押す

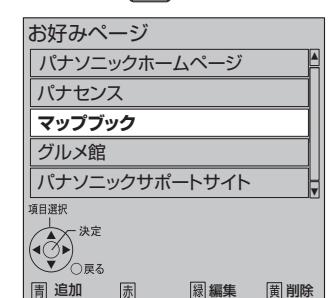
5 タイトル名を編集する

(例)元のタイトルを削除して、
新しいタイトルを入力する。
文字の入力方法は
(☞52、53ページ)

登録した「お好みページ」を削除する

1 ホームページを見ているときに
青 を押す

2 ◀▶で「お好みページ」を選び、
決定を押す

▶進む ×中止 更新 ホーム お好みページ

3 ▲▼で削除したいお好みページを選び、黄 を押す

4 確認画面が表示されたら、
◀で「はい」を選び、決定 を押す

●一覧に戻ります。(ご確認ください。)

●確認したら 戻る を押します。

文字を入力する

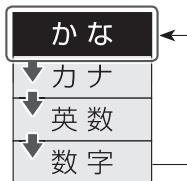
●文字入力方法には２種類あります。

リモコンボタン(携帯電話)方法（工場出荷時）

リモコンの数字ボタンを使い、携帯電話と同じような操作で入力します。

●文字入力一覧表（☞ 97 ページ）

例：「映画」と入力するとき

1 緑 を押して、入力文字を切り換え 決定 を押す。

●押すたびに切り換わる。

2 入力する

(4回) (2回) (1回) (1回)
え い か ゛

●同じボタンの文字を続けて入力するには、▶でカーソルを右へ移動させる。

3 文字を変換する

▲▼を押して▲▼で漢字を選ぶ。

4 決定 を押して、確定する

■文節を分けて変換するとき

▲▼で変換中に◀▶で文節を切り換え、▲▼で変換する。

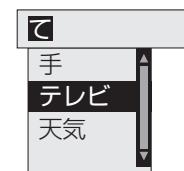
■記号を入力するとき

「きごう」と入力して▲▼を押し、▲▼で記号を選び、決定 を押す。

■ 予測方式 のとき

（ 予測方式 ／ 通常方式 の切り換えは ☞ 55 ページ）

① 1文字入力すると候補を表示。

②▼▲で選び、決定 を押す。

● 緑 を押すと、一時的に通常方式の変換に戻る。

■全角の英数字を入力するとき

英数モード(半角)で入力し、▲▼で変換する。

■文字を追加するとき

追加する位置に◀▶でカーソルを移動させて、文字を入力する。

■文字を削除するとき

削除する文字に◀▶でカーソルを移動させて、黄 を押す。

画面キーボード方法（文字入力方法の選択☞ 55 ページ）

改行	ー	ゃ	あ	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
空白	「	ゅ	い	を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い
キーボード移動	」	ょ	う	ん	る	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
入力位置移動	！	っ	え	、	れ	゛	め	へ	ね	て	せ	け	え
	？	ゎ	お	。	ろ	゜	も	ほ	の	と	そ	こ	お

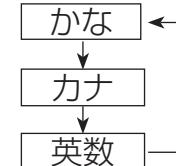
画面上にキーボードを表示して◀▶▲▼で文字や項目を選び、入力します。

●キーボードを消すときは、赤 を押す。

●キーボードの位置を移動させるときは、◀▶▲▼で キーボード移動 を選び、決定 を押す。（左下または右上に移動）

例：「映画」と入力するとき

1 緑 を押して、入力文字を切り換え 決定 を押す。

●押すたびにキーボードが切り換わる。

2 ◀▶▲▼で、キーボードから文字を選び、決定 を押す。

3 青 を押し、▲▼で漢字を選び、決定を押す

変換しないとき 赤 を押す。

● 赤 を押して、終了する。キーボードが消えます。

■文節を分けて変換するとき

青 で変換中に◀▶で文節を切り換え、▲▼で変換する。

えいが

■記号を入力するとき

「きごう」と入力して 青 を押し、▲▼で記号を選び、決定 を押す。

■ 予測方式 のとき

（ 予測方式 ／ 通常方式 の切り換えは ☞ 55 ページ）

①文字を選び、決定 を押すと、キーボード上に候補を表示。

②◀▶▲▼で選び、決定 を押す。

● 青 を押すと、一時的に通常方式の変換に戻る。

■全角の英数字を入力するとき

英数モード(半角)で入力し、青 を押して変換する。

■文字を追加するとき

①キーボードの 入力位置移動 を選び、決定 を押す。

②追加する位置に◀▶でカーソルを移動させて、決定 を押す。

③文字を入力する。

■文字を削除するとき

上記「文字を追加するとき」①のあと、削除する文字に◀▶でカーソルを移動させて 黄 を押す。

使いかたに合わせて設定を変える

操作するリモコンのボタン位置（☞11ページ）

1 [操作] を押す

2 ▲▼で「設定する」を選び、(決定) を押す

3 ▲▼で「システム設定」を選び、(決定) を押す

システム設定 1/2			説明頁
字幕の設定			下記
制限項目設定			56
文字入力設定			55
録画・視聴設定			55
選局対象	すべて		右記
二重音声設定	主		55
タイトル表示	する	しない	55
前面パネル輝度	明	暗	55
HDオプティマイザー	オン	オフ	55
選局入力方式	プリセット	3桁入力	56

システム設定 2/2			
チャンネルアップダウン	ネットワーク	シームレス	右記

字幕の設定　字幕や文字スーパーを設定する

文字スーパーとは、視聴者にお知らせしたいことを、番組放送中の画面上に文字で表示します。

4 ▼で「字幕の設定」を選び、(決定) を押す

5 ▼で項目を選び、◀ ▶で設定する

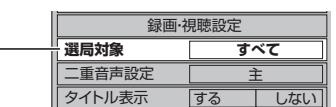
字幕の設定			
字幕	オン	オフ	字幕のオン／オフ
字幕言語	日本語	英語	字幕の言語
文字スーパー	オン	オフ	文字スーパーのオン／オフ
文字スーパー言語	日本語	英語	文字スーパーの言語

- 強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。
- 字幕の「オン」「オフ」の切換えは [字幕] でもできます。

選局対象 / チャンネルアップダウン　順送りできるチャンネルを設定する

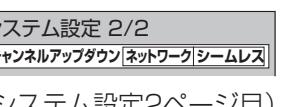
[∧ チャンネル ∨]（チャンネルボタン）を押して、順送りに選局できる対象を設定します。

4 ▼で「選局対象」を選び、◀ ▶で設定する

録画・視聴設定		
選局対象	すべて	
二重音声設定	主	
タイトル表示	する	しない

- 設定チャンネル：リモコンの [1] ～ [12] に設定されているチャンネルと、チャンネル設定（☞66ページ）で設定した13～36までのチャンネル
- テレビ：テレビ放送（映像＋音声）のチャンネルのみ
- すべて：現在受信可能なすべてのチャンネル

5 ▼で「チャンネルアップダウン」を選び、◀ ▶で設定する

システム設定 2/2		
チャンネルアップダウン	ネットワーク	シームレス

（システム設定2ページ目）

- ネットワーク：地上デジタル放送、BSデジタル放送、CATVデジタル放送などの各放送内で選局する
- シームレス：地上デジタル放送、BSデジタル放送、CATVデジタル放送などの各放送をまたいで選局する

文字入力設定　文字入力の方法や変換方式を変える

4 ▼で「文字入力設定」を選び、(決定) を押す

5 ▼で設定項目を選び、◀ ▶で設定する

文字入力設定	
入力方法	リモコンボタン
変換方式	通常方式

- 入力方法
  - リモコンボタン：携帯電話方式で入力
  - 画面キーボード：画面上のキーボードで入力
- 変換方式：1文字の入力で変換候補を表示したいとき→「予測方式」

録画・視聴設定　録画時の設定を変える

録画時の設定を変えることができます。

4 ▼で「録画・視聴設定」を選び、(決定) を押す

5 ▼で設定項目を選び、◀ ▶で設定する

録画・視聴設定			
録画ボタン設定	6時間録画	番組終了まで	①
録画番組の自動消去	しない		②
自動チャプター	入	切	③

① 録画ボタンを押したときの録画時間設定

② HDDが録画データで一杯になったとき、古いデータから消去する

③ 録画中、シーンの切り換わりによりチャプター画面を作る

二重音声設定　二重音声の設定を変える

4 ▼で「二重音声設定」を選び、◀ ▶で設定する

録画・視聴設定		
選局対象	すべて	
二重音声設定	主	
タイトル表示	する	しない
前面パネル輝度	明	暗
HDオプティマイザー	オン	オフ

- 主：音声が日本語
- 副：音声が外国語
- 主＋副：日本語と外国語を同時に出力

お知らせ

- 電源「切」「入」したときに放送が二重音声の場合、上記で設定した音声になります。
- 放送によっては「主」が外国語で「副」が日本語の場合があります。

タイトル表示　番組タイトルなどの表示を消す

4 ▼で「タイトル表示」を選び、▶で「しない」に設定する

選局対象	すべて	
二重音声設定	主	
タイトル表示	する	しない
前面パネル輝度	明	暗
HDオプティマイザー	オン	オフ
選局入力方式	プリセット	3桁入力

- 「しない」に設定すると、チャンネルを切り換えても右上に番組タイトル情報などを表示しません。（チャンネルは表示します。）再度、表示させる場合は設定を「する」に戻してください。
- 「しない」に設定しても、画面表示ボタンを押したときは、タイトル表示します。

前面パネル輝度　本体表示窓の明るさを変える

前面表示窓（蛍光表示管）の明るさを「明」と「暗」の2段階に切り換えることができます。

4 ▼で「前面パネル輝度」を選び、◀ ▶で設定する

二重音声設定	主	
タイトル表示	する	しない
前面パネル輝度	明	暗
HDオプティマイザー	オン	オフ
選局入力方式	プリセット	3桁入力

- 工場出荷時は「明」に設定されています。

HDオプティマイザー　ノイズやちらつきを低減する

映像のブロックノイズや輪郭部のちらつきを低減します。

4 ▼で「HDオプティマイザー」を選び、◀で「オン」に設定する

二重音声設定	主	
タイトル表示	する	しない
前面パネル輝度	明	暗
HDオプティマイザー	オン	オフ
選局入力方式	プリセット	3桁入力

- オン（工場出荷時）：ブロックノイズ（小さな四角形のノイズ）や輪郭部のちらつき（ノイズ）を低減する
- オフ：HDオプティマイザーの機能を無効にする

- 通常は「オン」に設定してください。

使いかたに合わせて設定を変える

選局入力方式　チャンネルの入力方式を設定する

チャンネルを選ぶとき、3桁のチャンネル番号を入力して選ぶか、数字ボタンに割り当てられたチャンネル番号で選ぶかを設定します。

54ページ手順❶～❸で「システム設定」画面を表示させてから行ってください。

❶ ▼で「選局入力方式」を選び、◀▶で設定する

タイトル表示	する	しない
前面パネル輝度	明	暗
HDオプティマイザー	オン	オフ
選局入力方式	**プリセット**	**3桁入力**

プリセット（工場出荷時）	数字ボタンを1度押すと、66ページで設定したチャンネルに切り換わる
3桁入力	数字ボタンを3度押して、3桁のチャンネル番号を入力すると、そのチャンネルに切り換わる

■「プリセット」に設定したとき

チャンネルの選びかたは、12ページをご覧ください。

■「3桁入力」に設定したとき

1あ 2か 3さ / 4た 5な 6は / 7ま 8や 9ら / 10 11 12

入力パネルの表示中は 11 一文字削除

チャンネル番号の入力のしかたは、13ページをご覧ください。

制限項目設定　有料番組や視聴年齢制限を設定する

- 年齢の下限や購入金額の上限を設定できます。
- 制限を超える番組は暗証番号の入力が必要です。
- 年齢制限を超える番組は番組表などで「・・・」と表示します。

54ページ手順❶～❸で「システム設定」画面を表示させてから行ってください。

❶ ▼で「制限項目設定」を選び、決定 を押す

❷ 画面の指示に従って 1 ～ 10 で4桁の暗証番号を入力する

- 初めて設定するときは暗証番号を2回入力して登録します。
- 暗証番号の入力がないと約10秒後に「システム設定」の画面に戻ります。

登録した暗証番号は、忘れないようにメモをしておいてください。

- 各項目の詳細は以下をご覧ください。

制限項目設定	
視聴可能年齢	無制限
一番組限度額	無制限
ブラウザ制限	しない
制限解除有効期限	選局まで
チャンネルスキップ設定	
暗証番号変更	
暗証番号削除	

（☞57ページ）　下記　（☞57ページ）

視聴できるチャンネルを制限する

① ▼で「チャンネルスキップ設定」を選び、決定 を押す

ブラウザ制限	しない
制限解除有効期限	選局まで
チャンネルスキップ設定	
暗証番号変更	

② ▲▼で制限するチャンネルを選び、決定 を押す

C500	○○○○	
C600	○○○○	スキップ
BS100	○○○○	**スキップ**
BS200	○○○○	

- スキップ設定したチャンネルは選局できなくなります。（番組表にも表示しません）
- スキップ設定したチャンネルを選び、決定を押すと、スキップ設定を解除します。
- 青 でチャンネルスキップ設定を一時解除します。（電源を「切」「入」すると制限状態に戻ります。）
- 黄 でスキップチャンネルのみの表示に切り換わります。

視聴できる年齢を制限する

① ▼で「視聴可能年齢」を選び、◀▶で年齢の下限を設定する

制限項目設定	
視聴可能年齢	**無制限**
一番組限度額	無制限

制限できる年齢
→「4才」～「19才」（1才単位）、「無制限（工場出荷時）」

有料番組のとき一番組の購入金額を制限する

① ▼で「一番組限度額」を選び、◀▶で金額の上限を設定する

制限項目設定	
視聴可能年齢	無制限
一番組限度額	**無制限**
ブラウザ制限	しない

制限できる金額
→「100円」「500円」「1,000円」「1,500円」「2,000円」「2,500円」「3,000円」「無制限（工場出荷時）」

設定した年齢や購入金額を超える番組を選ぶと

暗証番号の入力画面が表示される。

1 ～ 10 を押して、暗証番号を入力する。
（黄 を押すごとに最後の桁が取り消される）

制限を解除（視聴できる）

制限解除の期限を設定する

① ▼で「制限解除有効期限」を選び、◀▶で設定する

電源OFFまで	電源を切るまで視聴可能
選局まで	チャンネルを変えるまで視聴可能

暗証番号を変更する

① ▼で「暗証番号変更」を選び、決定 を押す

チャンネルスキップ設定
暗証番号変更
暗証番号削除

② 1 ～ 10 で、新しい4桁の暗証番号を入力する

- 入力がないと約10秒後「制限項目設定」の画面に戻ります。

③ 画面の指示に従って再度、4桁の暗証番号を入力する

変更した暗証番号は、忘れないようにメモをしておいてください。

暗証番号を削除する

① ▼で「暗証番号削除」を選び、決定 を押す

チャンネルスキップ設定
暗証番号変更
暗証番号削除

② ◀で「はい」を選び、決定 を押す

暗証番号を削除します。よろしいですか？

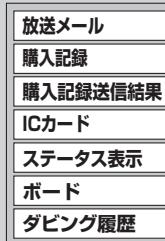
はい	いいえ

いろいろな情報を見る

操作するリモコンのボタン位置（☞11ページ）

1 を押す

2 ▲▼で「情報を見る」を選び、決定 を押す

- 放送メール
- 購入記録
- 購入記録送信結果
- ICカード
- ステータス表示
- ボード
- ダビング履歴

放送メール　放送メールを見る

ご加入のケーブルテレビ局や本機からのお知らせや情報を見ることができます。

3 ▼で「放送メール」を選び、決定 を押す

4 ▲▼で確認したいメールを選び、決定 を押す

→メールの内容が表示されます。

未読、既読を表示　最新の31通を保存

- ICカードが挿入されていないと、メールを受信できない場合があります。
- メールの内容に合わせて、ボタンが表示されることがあります。
  選んで決定すると、関連画面を表示します。
- インターネットメールではありません。
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示が異なります。
- 放送メールには、ご加入のケーブルテレビ局からのお知らせ(最大31通まで保存)や、本機の機能向上のためのダウンロード情報(最新の1通のみ保存)などがあります。

購入記録　購入した有料番組を確認する

ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示が異なります。

3 ▼で「購入記録」を選び、決定 を押す

		12月12日(水)からの累計金額	3800円
CS1 777	12月12日(水) 9:15~10:55	○○○ボランティア W杯サッカー・ボランティア	1000円
CS2 106	12月13日(木) 10:15~10:45	CGアニメーションコンテスト 関西予選	500円
BS 101	12月14日(金) 9:03~9:55	W杯モーグル大会 予選通過速報	300円
BS 155	12月15日(土) 9:15~9:55	W杯エアリアル大会 名場面・珍場面	500円

累計金額

最新の50番組を表示

- 表示される金額は参考金額です。価格改定などにより、請求金額とは異なる場合があります。

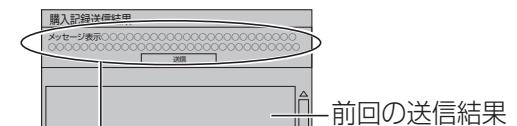
■累計金額をリセットする(0円に戻す)には

① 黄 を押して、リセット画面を表示する

② ◀で「はい」を選び、決定 を押す

- リセットされた項目は、過去の記録で表示させることができます。
  赤 で過去の記録を表示します。

購入記録送信結果　有料番組の購入記録、データ放送の送信記録などを確認する

3 ▼で「購入記録送信結果」を選び、決定 を押す

前回の送信結果

現在の送信状況

- 前回の送信結果で再送信が可能であれば、その旨表示します。このときは決定ボタンを押すと再送信されます。
- 通常は自動送信されます。

ICカード　B-CAS/C-CASカードの番号などを見る

3 ▼で「ICカード」を選び、決定 を押す

- 赤 でC-CASカードの情報を表示します。
- 緑 でCATV-IDの情報を表示します。

ステータス表示　本機に関する情報を見る

3 ▼で「ステータス表示」を選び、決定 を押す

- 青 でソフト情報を表示します。
- 赤 でルート証明書を表示します。
- テレビ放送を見ているときに「操作一覧」ボタンを5秒以上押してもステータスを表示します。

ボード　CSデジタル放送の情報を見る

ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によっては、表示されない場合があります。

3 ▼で「ボード」を選び、決定 を押す

4 ▼で「CS1ボード」または「CS2ボード」を選び、決定 を押す

5 ▼で確認したい情報を選び、決定 を押す

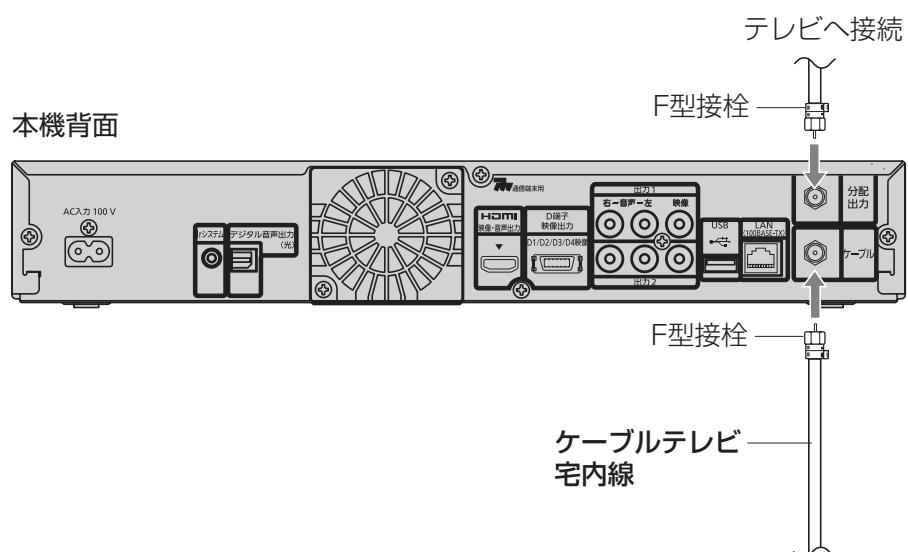
- CS放送からお客さまへの情報1
- CS放送からお客さまへの情報2
- CS放送からお客さまへの情報3

ダビング履歴　ダビングの履歴を見る

本機からネットワーク接続でダビングした履歴を見ることができます。

3 ▼で「ダビング履歴」を選び、決定 を押す

- 黄 で履歴を削除します。
- ▲▼で履歴を選び、決定を押すと履歴の詳細内容が表示されます。
- ダビングを実行した順に表示されます。
- 履歴が64件を超えると古いものから削除されます。

ケーブルテレビ宅内線の接続

お願い

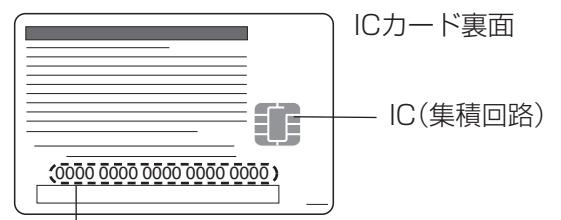
- ケーブル端子・分配出力端子にF型接栓を接続するときは、手で緩まない程度に締めつけてください。
  締めつけ過ぎると本機内部が破損する場合があります。
- ケーブル端子には、ケーブルテレビ宅内線以外のケーブルを接続しないでください。
- 分配出力端子には、BSアンテナなどへ電源供給を行っているケーブルを接続しないでください。

B-CAS／C-CASカードの挿入

BS／地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月からコピー回数を限定したコピー制御信号を加えて放送されています。（☞36ページ）
その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

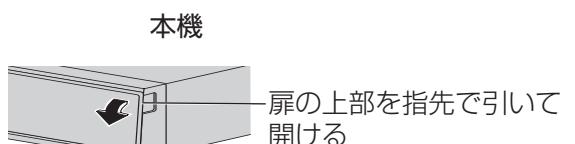
■ICカードについて

- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によりB-CASカードのみの場合があります。

ICカード番号

- 有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。

1 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認する
（電源プラグを抜いた状態）

2 前面の扉を開け、ICカードを挿入し、扉を閉める

本機

ICカード挿入口（上段：C-CAS、下段：B-CAS）

ICカード
（絵柄表示面を上に）

- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

■ICカードのテストをするとき
（☞73ページ）

■ICカードを抜くとき
① 電源プラグを電源コンセントから抜く
② ゆっくりとICカードを抜く

- ICカードには、IC（集積回路）が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。（☞103ページ）
- ICカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、ICカードテストを行ってください。（☞73ページ）

ICカードの抜き差しについては、ご加入のケーブルテレビ局にご相談いただき指示に従って操作してください。

■ICカード取り扱い上の留意点

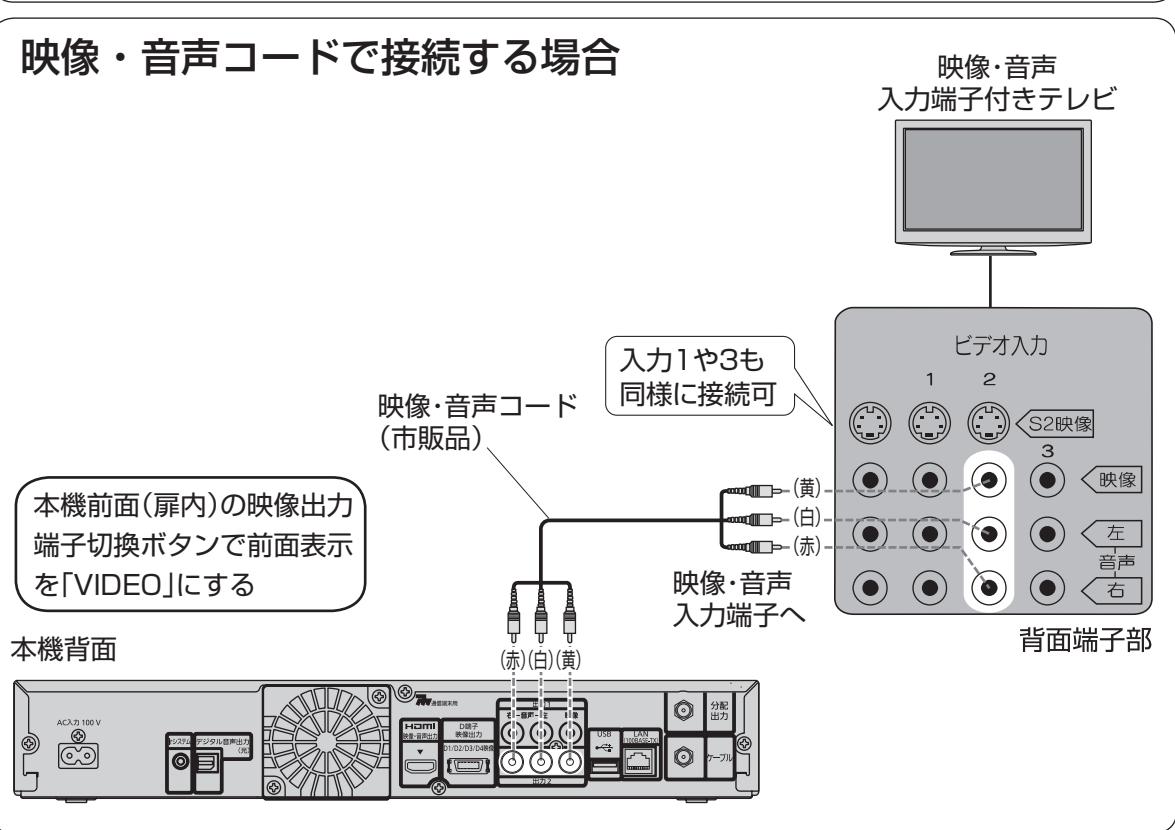
- 折り曲げたり、変形させない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- 分解加工は行わない。
- 重いものを置いたり、踏みつけたりしない。
- IC（集積回路）部には手をふれない。

お願い

- 本機専用のICカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うとICカードは機能しません。

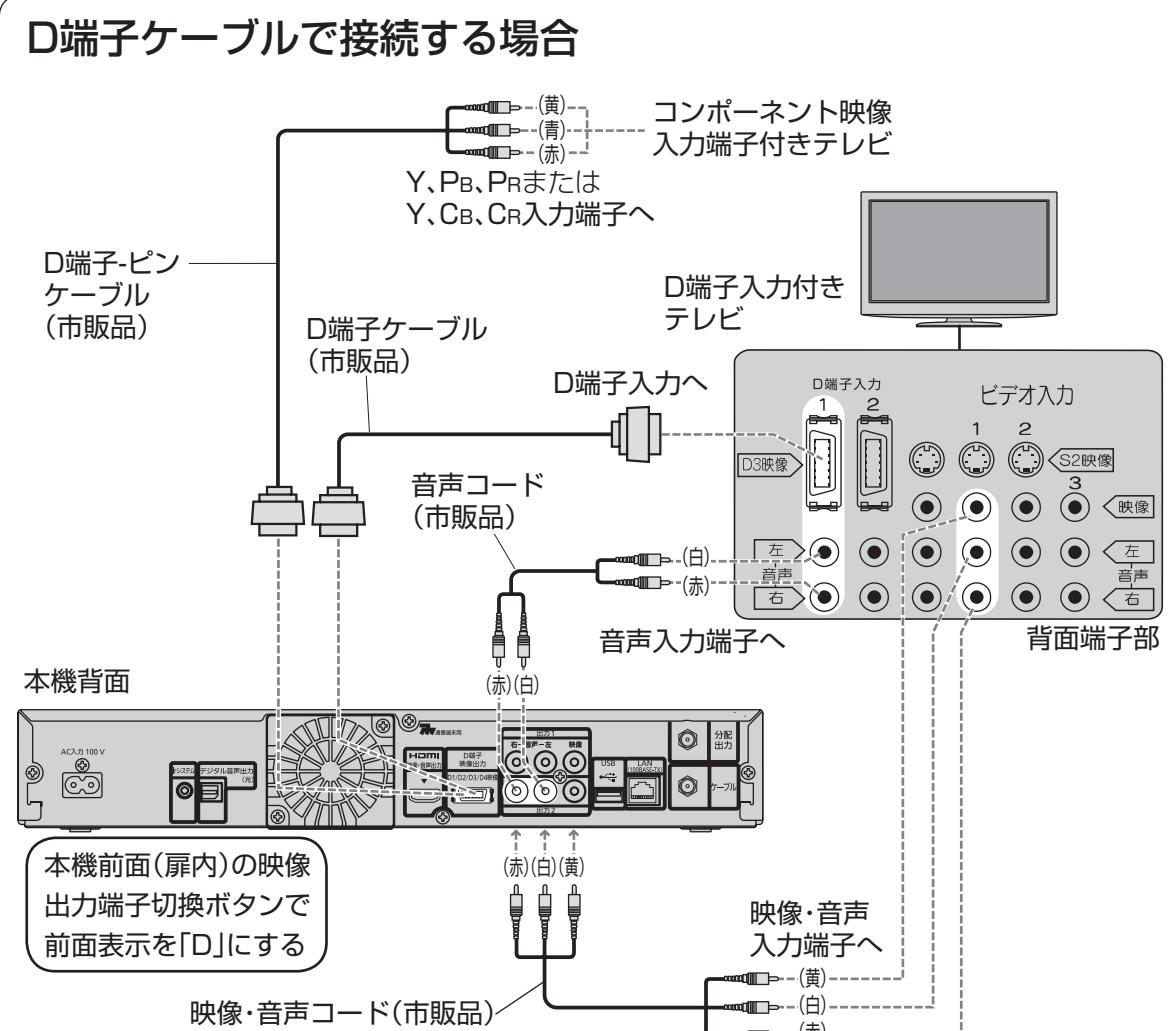
テレビの接続

接続は本機および各機器の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で行ってください。
接続後、テレビに合わせて「接続テレビ設定」を行ってください。(☞70ページ)

HDMIケーブルで接続する場合

お願い

- ●HDMI規格に準拠したHDMIロゴのついたケーブルをご使用ください。
- ●3D映像番組をご覧いただくためには、本機と3D対応テレビはHDMIケーブルでの接続が必要です。

映像・音声コードで接続する場合

D端子ケーブルで接続する場合

お願い

- ●接続するテレビのD端子入力に合わせて「D端子出力解像度」の設定をしてください。(☞70ページ)
- ●接続するテレビのコンポーネント映像入力端子が対応している信号方式に合わせて「D端子出力解像度」の設定をしてください。(☞70ページ)
- ●テレビがD1またはD2映像入力端子やテレビが480i信号のみに対応している場合は、上図の映像・音声コードを一時的に接続し、映像出力端子切換で「VIDEO」に設定してから、ビデオ入力画面で設定してください。

コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴したり、一部のビデオ内蔵型テレビで視聴すると正常に受像できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とテレビを接続してください。

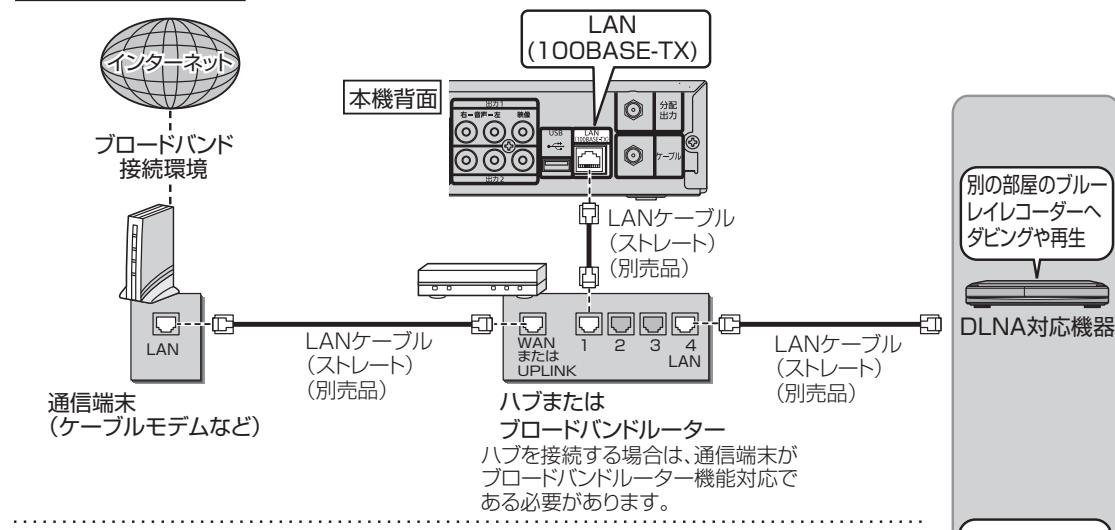
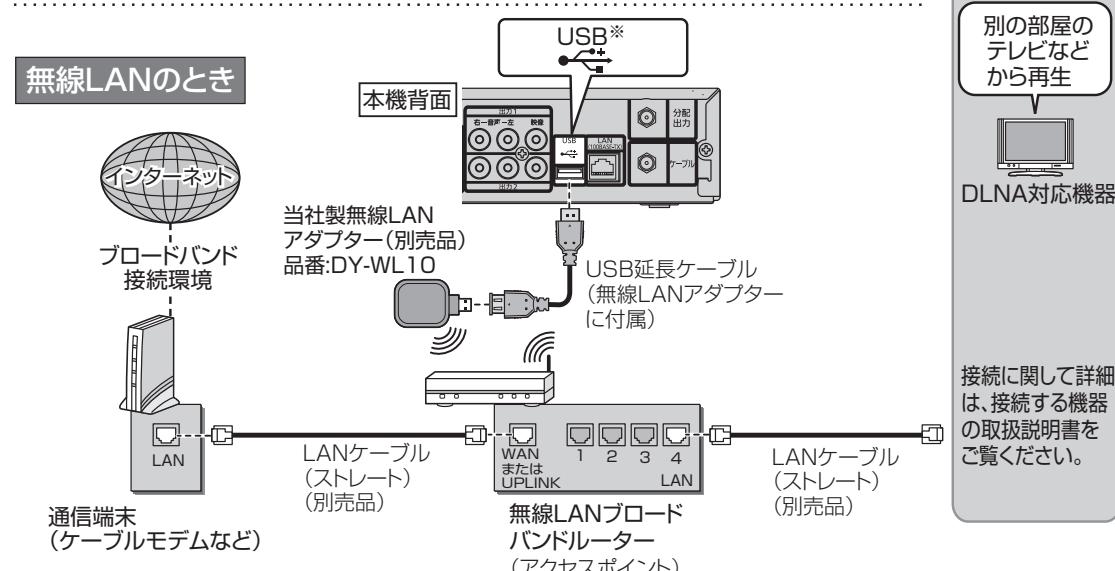
ネットワークへの接続

お部屋ジャンプリンク、ホームサーバー機能やネットワークを経由したダビングをご利用いただくためにネットワーク接続が必要です。

●TZ-HDW600Pは、ケーブルモデムを内蔵していないため、ブラウザをご利用いただくためには、LAN(100BASE-TX)端子にブロードバンド環境への接続が必要です。

■ブロードバンド環境により必要な機器と接続方法が異なります。

●ケーブルモデムと接続するためには、ご加入のケーブルテレビ局と新たにご契約が必要になる場合があります。ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

●ご使用の環境によりケーブルモデムなどブロードバンド機器がご使用になれない場合があります。ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のプロバイダーにご相談ください。

■接続後は、必ずネットワーク関連設定（☞ 74～80ページ）を行ってください。

※USB端子について

●本機に対応した機器については、下記のサポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html（2010年3月現在）

●USB端子に機器を接続したり、USB端子から機器を外すときは、本機の電源を「切」にしてから行ってください。

お願い

●ブロードバンドルーターやケーブルモデムはLAN端子が10BASE-T/100BASE-Tでもご使用いただけます。

●100BASE-TX用の機器を接続する場合は「カテゴリ5」以上のLANケーブルをご使用ください。

お知らせ

●光ファイバー (FTTH)、CATV などのブロードバンド環境が必要です。プロバイダーや回線業者と別途ご契約 (有料) していただく場合があります。

●プロバイダーや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。

●電話用のモジュラーケーブルを、LAN 端子に接続しないでください。故障の原因になります。

●ポータルサイトの動画コンテンツを視聴するときは、光ファイバー (FTTH) でのブロードバンド環境が必要です。
- 100BASE-TX 対応のハブまたはブロードバンドルーターをご使用ください。
- PLC※1 を使わずに LAN ケーブルまたは別売の無線 LAN アダプターでのご使用をおすすめします。

●本機ではインターネット (LAN) 接続機器などの設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。

●本機に接続した DHCP※2 での IP アドレス自動取得が使えるブロードバンドルーターの電源を一度切ると、各機器に割り当てられる IP アドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。本機をご使用中は、ハブまたはブロードバンドルーターの電源を切らないでください。

●本機に DHCP での IP アドレス自動取得が使えないハブを経由して、各機器を接続しているとき、本機の電源を「入」にした直後は、各機器との通信に失敗することがあります。時間をおいて (約 3 分間) 再度試してください。

● SD メモリーカード挿入口に、無線 LAN 対応カードを接続しても使えません。

●本機の MAC アドレスの確認は（☞75 ページ）

■無線 LAN について

●本機との接続に対応した無線LANアダプターとアクセスポイントが別途必要です。

●アクセスポイントはAOSS™かWPS※3対応であることをご確認ください。（AOSS™、WPSに対応していない場合は、設定の際にアクセスポイントの暗号キーが必要になります。）
詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

●無線LANアダプターとアクセスポイント間の無線方式は、11n(5 GHz)を推奨します。
11a、11b、11g、11n(2.4 GHz)でも通信できますが、通信速度が遅くなることがあります。

●アクセスポイントの無線方式を切り換えた場合は、無線 LAN で接続できていた機器（パソコンなど）が接続できなくなることがあります。

●無線LANアダプターはUSB延長ケーブルでの接続を推奨します。

●無線LANアダプターは良好な電波状態が確保できる場所に設置してください。

●通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、適切なセキュリティ設定（暗号化設定）を行ってください。詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

●無線 LAN のセキュリティ設定 (暗号化設定) を行っていない場合、本機の内蔵ハードディスクから無線 LAN を経由してダビングできません。

●電波を使う機器から離してください。
電波の干渉による悪影響を防止するため、次の機器からできるだけ離してください。
- 電子レンジ ●他の無線LAN機器 ●Bluetooth® 対応機器
- その他2.4 GHz、5 GHzの電波を使用する機器（デジタルコードレス電話、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など）

※1 家庭内の電力線を使って、電源コンセントからネットワークに接続して情報を送受信する仕組みです。
※2 サーバーやブロードバンドルーターなどが、IPアドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みです。
※3 「WPS」は「Wi-Fi Protected Setup™」の略です。

設置設定

各機器を接続後、以下の設置設定を行ってください。

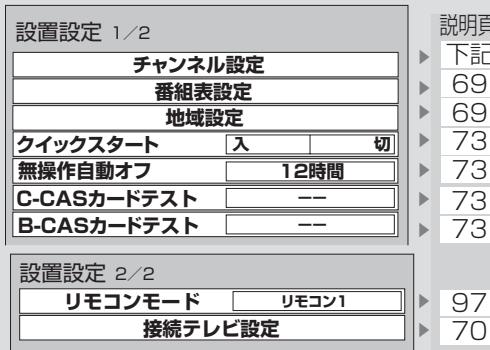
● 設定中、戻る で1つ前の画面に戻ります。
● 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

操作するリモコンのボタン位置(☞11ページ)

1 操作一覧 を押す

2 ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

3 ▼で「設置設定」を選び、決定 を押す

設置設定 1/2		説明頁
チャンネル設定		下記
番組表設定		69
地域設定		69
クイックスタート	入　切	73
無操作自動オフ	12時間	73
C-CASカードテスト	−−	73
B-CASカードテスト	−−	73
設置設定 2/2		
リモコンモード	リモコン1	97
接続テレビ設定		70

● 設定が有効でない項目は、灰色表示になります。

チャンネル設定

BSは工場出荷時、いくつかのチャンネルが設定されていますが、お好みに合わせて変更することもできます。

● 普段よくご覧になるチャンネルは、リモコンの数字ボタンや、お好み選局に登録すると便利です。

4 ▼で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

BS、CATVのとき

5 ▼で設定する放送を選び、決定 を押す

チャンネル設定
- 地上デジタル
- BS
- CATV

①▲▼で修正したい行(リモコン番号)を選び、決定を押す

チャンネル設定

リモコン	CH	放送局名	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS2	テレビ
3	103	NHK h	テレビ
4	141	BS日テレ	テレビ
5	151	BS朝日1	テレビ

● 受信されている放送のみ表示されます。ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示が異なります。

②◀▶でCHを変更する

リモコン番号設定

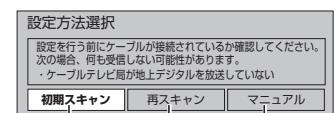
CH	101
チャンネル名	NHK BS1
種類	テレビ

③ 戻る を押す

● リモコンの13〜36に設定したチャンネルは、お好み選局表に登録され、その表から選局できます。

● 選局対象(☞54ページ)を「設定チャンネル」にすると、上記の手順で設定したチャンネルでの順送り選局ができます。

地上デジタルのとき

5 ▼で「地上デジタル」を選び、決定 を押す

設定方法選択

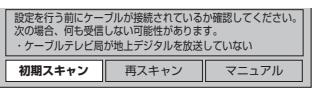
設定を行う前にケーブルが接続されているか確認してください。
次の場合、何も受信しない可能性があります。
・ケーブルテレビ局が地上デジタルを放送していない

初期スキャン　再スキャン　マニュアル

初期スキャン

①◀で「初期スキャン」を選び、決定 を押す

設定を行う前にケーブルが接続されているか確認してください。
次の場合、何も受信しない可能性があります。
・ケーブルテレビ局が地上デジタルを放送していない

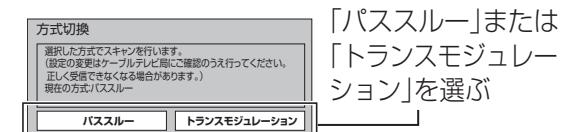
初期スキャン　再スキャン　マニュアル

② 青 を押し、方式切換の画面が表示されたら◀▶でチャンネルスキャン方式を選び、決定 を押す

● TZ-HDW600Mの場合、この画面は表示されません。手順③へお進みください。

方式切換

選択した方式でスキャンを行います。
(設定の変更はケーブルテレビ局にご確認のうえ行ってください。正しく受信できなくなる場合があります。)
現在の方式:パススルー

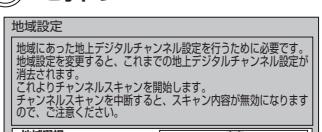
パススルー　トランスモジュレーション

「パススルー」または「トランスモジュレーション」を選ぶ

設定の変更はご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。

③◀▶でお住まいの地域を選び、決定 を押す

地域設定

地域にあった地上デジタルチャンネル設定を行うために必要です。
地域設定を変更すると、これまでの地上デジタルチャンネル設定が消去されます。
これよりチャンネルスキャンを開始します。
チャンネルスキャンを中断すると、スキャン内容が無効になりますので、ご注意ください。

地域選択　東京

● チャンネルスキャン画面を表示します。受信できるチャンネルを調べて新しく一覧表示します。
(今までの設定は全てリセットされます。)

● スキャン中は映像と音声は出ません。
終わるまでに、10分程度、かかる場合があります。

④正しく設定されていることを画面で確認し、戻る を押す

■修正したいとき

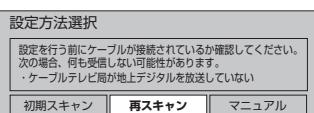
→☞68ページ「マニュアル」の手順②へ

再スキャン

①◀▶で「再スキャン」を選び、決定 を押す

設定方法選択

設定を行う前にケーブルが接続されているか確認してください。
次の場合、何も受信しない可能性があります。
・ケーブルテレビ局が地上デジタルを放送していない

初期スキャン　再スキャン　マニュアル

● 10分程度、時間がかかる場合があります。

● 新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。

② 正しく設定されていることを画面で確認し、戻る を押す

■修正したいとき

→☞68ページ「マニュアル」の手順②へ

次ページにつづく ▶▶▶

● 設定中、戻る ◯ で1つ前の画面に戻ります。
● 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

マニュアル

①▶で「マニュアル」を選び、決定 を押す

②▲▼で修正したい行(リモコン番号)を選び、決定を押す

チャンネル設定

リモコン	CH	放送局名	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS2	テレビ
3	103	NHK h	テレビ
4	141	BS日テレ	テレビ
5	151	BS 朝日1	テレビ

③◀▶でCHを変更する

リモコン番号設定

CH	101
チャンネル名	NHK BS1
種類	テレビ

④ 戻る ◯ を押す

■設定した項目(「放送局名」や「CH」など)を他のリモコン番号と入れ替えたいとき

① 緑 を押す

② ▲▼で、入れ替えたい番号を選び、決定 を押す

③ ▲▼で、入れ替え先の番号を選び、決定 を押す

④ 戻る ◯ を2回押す

お好み選局ボタンでチャンネル設定する

1 番組を見ているときに お好み選局 を押す

2 ▲▼◀▶で登録したいボタンを選び、緑 を押す

<お好み設定画面>

3 ▲▼で登録したいチャンネルを選び、決定を押す

■設定したチャンネルを削除するとき

→▲▼◀▶で選び、黄 を押し、

◀で「はい」を選び、決定を押す

チャンネル設定について

チャンネル設定のリモコン1～12に登録したチャンネルはリモコンの数字ボタン1～12で選局できます。またお好み選局の1ページ目に表示します。
(同様にリモコン13～24はお好み選局の2ページ目、リモコン25～36は3ページ目に表示します。)

以下は、66ページ手順❶～❸で「設置設定」画面を表示させてから行ってください。

番組表設定

地域に合わせた番組表を表示させるための設定です。

1 ▼で「番組表設定」を選び、決定 を押す

2 ▲▼で「Gガイド地域設定」を選び、◀▶でお住まいの地域を選ぶ

● 設定を変更すると、番組情報が表示されなくなることがあります。
表示されなくなった場合は、設置設定を最初からやり直してください。

■番組表が受信できるか確認する

上記手順❷で「Gガイド受信確認」を選び、決定 を押す

● 受信可能であればスケジュールを表示します。
● 結果の表示に最大6分かかります。

地域設定

1 ▼で「地域設定」を選び、決定 を押す

2 ▼で「県域設定」を選び、◀▶でお住まいの地域を選ぶ

● 伊豆、小笠原諸島地域は→「東京都島部」
● 南西諸島鹿児島県地域は→「鹿児島県島部」

3 ▼で「郵便番号」を選び、決定 を押す

4 1 ～ 10(ゼロ) で郵便番号を入力し、決定 を押す

■入力を間違えたとき

→ 黄 を押す

5 確認画面で◀を押して「はい」を選び、決定 を押す

■地域設定を工場出荷時に戻すには

①▼で「地域設定削除」を選び、決定を押す

②◀で「はい」を選び、決定を押す

設置設定

以下は、66ページ手順❶～❸で「設置設定」画面を表示させてから行ってください。

● 設定中、戻る◯で1つ前の画面に戻ります。
● 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

接続テレビの設定

接続するテレビに合わせて映像信号の出力方式を切り換えます。

❶ ▼で「接続テレビ設定」を選び、決定を押す

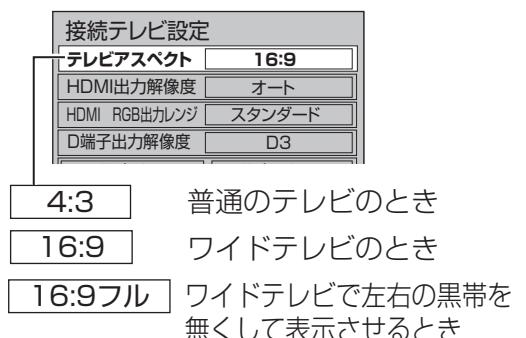
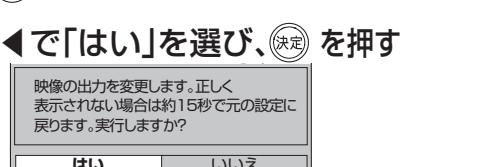
設置設定 2/2
リモコンモード　リモコン1
接続テレビ設定

▼を押していくとページが変わります。

（設置設定2ページ目）

❷ ▼で「テレビアスペクト」を選び、◀▶で設定する

接続テレビ設定
テレビアスペクト　16:9
HDMI出力解像度　オート
HDMI RGB出力レンジ　スタンダード
D端子出力解像度　D3

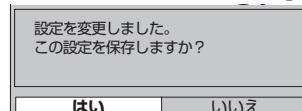
4:3	普通のテレビのとき
16:9	ワイドテレビのとき
16:9フル	ワイドテレビで左右の黒帯を無くして表示させるとき

● ワイドテレビにD端子がなく、別の入力端子で接続している場合は、テレビ側も画面モード切り換えで、送られてくる信号に合わせて正常な映像の横縦比になるモードを選んでください。

❸ ▼で「設定する」を選び、決定を押す

❹ ◀で「はい」を選び、決定を押す

映像の出力を変更します。正しく表示されない場合は約15秒で元の設定に戻ります。実行しますか？
はい　いいえ

● 「はい」を選ぶと、設定した映像信号が15秒間出力されます。
● 設定しない場合は、「いいえ」を選べば、「接続テレビ設定」画面に戻ります。

❺ 映像が正しく映れば
◀で「はい」を選び、決定を押す

設定を変更しました。この設定を保存しますか？
はい　いいえ

D端子に接続したとき

D端子で接続したときのみ設定を行ってください。

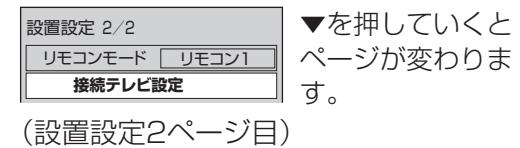
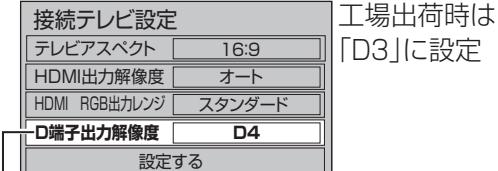
❶ ▼で「接続テレビ設定」を選び、決定を押す

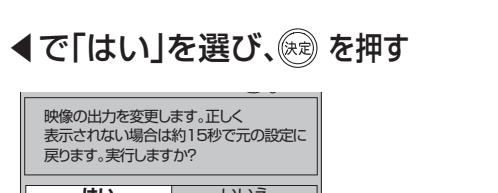
▼を押していくとページが変わります。

（設置設定2ページ目）

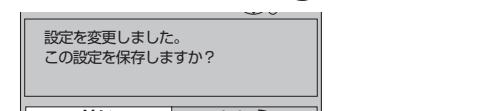
❷ ▼で「D端子出力解像度」を選び、◀▶で設定する

接続テレビ設定
テレビアスペクト　16:9
HDMI出力解像度　オート
HDMI RGB出力レンジ　スタンダード
D端子出力解像度　D4
設定する

工場出荷時は「D3」に設定

「D1」「D2」「D3」「D4」から選ぶ（詳細は右記の表をご覧ください。）

❸ ▼で「設定する」を選び、決定を押す

❹ ◀で「はい」を選び、決定を押す

● 「はい」を選ぶと、設定した映像信号が15秒間出力されます。
● 設定しない場合は、「いいえ」を選べば、「接続テレビ設定」画面に戻ります。

❺ 映像が正しく映れば
◀で「はい」を選び、決定を押す

■接続するテレビの入力端子の形状

テレビのD映像入力端子	テレビのコンポーネント映像入力端子（Y、PB／CB、PR／CR）
D1映像	480i(525i)の信号に対応
本機の設定	「D1」
D2映像	480i(525i)、480p(525p)の信号に対応
本機の設定	「D2」
D3映像	1080i(1125i)、480i(525i)、480p(525p)の信号に対応
本機の設定	「D3」
D4映像	1080i(1125i)、720p(750p)、480i(525i)、480p(525p)の信号に対応
本機の設定	「D4」

● 「テレビアスペクト」設定が「4:3」の場合は、「D1」・「D2」・「D3」が選択できます。

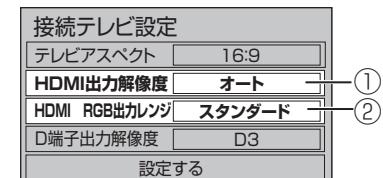
HDMI端子に接続したとき

HDMI端子で接続したときのみ設定を行ってください。

❶ ▼で「接続テレビ設定」を選び、決定を押す

▼を押していくとページが変わります。

（設置設定2ページ目）

❷ ▼で「HDMI出力解像度」または「HDMI RGB出力レンジ」を選び、◀▶で設定する

①ＨＤＭＩ出力解像度
「オート」(工場出荷時)「480p」「1080i」「720p」から選ぶ
● 「オート」は、720p、1080i、480pの順で接続機器に適した解像度を自動で選択します。

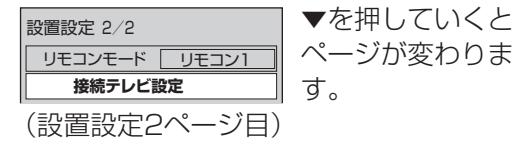
②ＨＤＭＩ ＲＧＢ出力レンジ
「スタンダード」または、「エンハンス」を選ぶ
● 映像の黒白が鮮明でないときは、「エンハンス」に設定してください。

❸ ▼で「設定する」を選び、決定を押す

❹ ◀で「はい」を選び、決定を押す

● 「はい」を選ぶと、設定した映像信号が15秒間出力されます。
● 設定しない場合は、「いいえ」を選べば、「接続テレビ設定」画面に戻ります。

❺ 映像が正しく映れば
◀で「はい」を選び、決定を押す

次ページにつづく▶▶▶

設置設定

本機のHDMI出力端子または、D端子から出力される映像信号について

70 ~ 71 ページの HDMI/D 端子出力解像度の設定により、放送局から送信された信号方式［1080i、720p、480i、480p］を本機は下表のような信号方式で出力します。

<table>
<tr><td rowspan="3">出力解像度設定</td><td colspan="2"></td><td colspan="4">「HDMIおよびD端子出力解像度の設定」により本機から出力される信号方式</td></tr>
<tr><td colspan="2">D端子出力解像度</td><td>D1</td><td>D2</td><td>D3</td><td>D4</td></tr>
<tr><td colspan="2">HDMI出力解像度</td><td>−−</td><td>480p</td><td>1080i</td><td>720p</td></tr>
<tr><td rowspan="4">放送局から送信される信号方式</td><td rowspan="2">HD</td><td>1080iの放送</td><td rowspan="2">480iに変換して出力</td><td rowspan="3">480pに変換して出力</td><td>1080iをそのまま出力</td><td>1080iをそのまま出力</td></tr>
<tr><td>720pの放送</td><td rowspan="3">1080iに変換して出力</td><td>720pをそのまま出力</td></tr>
<tr><td rowspan="2">SD</td><td>480iの放送</td><td>480iをそのまま出力</td><td rowspan="2">1080iに変換して出力</td></tr>
<tr><td>480pの放送</td><td>480iに変換して出力</td><td>480pをそのまま出力</td></tr>
</table>

※ 480i、480p は 1080i に変換されますが、画質は 480i、480p と同等になります。

お知らせ

● HDMI出力端子または、D端子映像出力端子から出力する映像信号は、放送局から送られてくる信号と HDMI出力解像度やD端子出力解像度の設定により異なります。正しく設定できていない場合は、映像が映らなかったり映像が映っても、接続されるテレビの持っている本来の画質にならないことがあります。

走査線について

1080i
デジタルハイビジョン放送（HD）の1つで、1/60秒ごとに1125本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125本もあるため、細部まできれいに表現され臨場感豊かな映像になります。

480i
デジタル標準テレビ放送（SD）の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。現行のテレビ放送やBS放送と同等の解像度です。

480p
デジタル標準テレビ放送（SD）の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、チラツキが少なくなります。

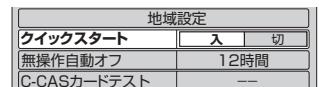
720p
デジタルハイビジョン放送（HD）の1つで、1/60秒ごとに750本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、チラツキが少なくなります。

以下は、66ページ手順❶～❸で「設置設定」画面を表示させてから行ってください。

クイックスタート

映像を早く映したいときに設定します。

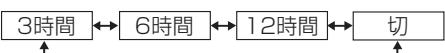
▼で「クイックスタート」を選び、◀で「入」を選ぶ

地域設定	
クイックスタート	入　切
無操作自動オフ	12時間
C-CASカードテスト	−−

● クイックスタートが「入」のとき リモコンで電源オフ時、本体電源表示は橙色が点灯します。

無操作自動オフ

長時間操作されない時に自動で電源をオフにします。

▼で「無操作自動オフ」を選び、◀▶で時間を設定する

クイックスタート	入　切
無操作自動オフ	12時間
C-CASカードテスト	−−
B-CASカードテスト	−−

■「無操作自動オフ」がはたらくと

● 電源が切れる3分前になると3、2、1と数字が点滅します。

● 戻る、元の画面などのボタン操作で解除されます。

C-CAS/B-CASカードテスト

● カードを挿入して3秒以上経ってから行ってください。
● ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により、B-CASカードのみの場合があります。

1 ▼で「C-CASカードテスト」を選び、決定を押す

「NG」が出たら、C-CASカードの挿入を確認してください。（☞61ページ）

2 ▼で「B-CASカードテスト」を選び、決定を押す

「NG」が出たら、B-CASカードの挿入を確認してください。（☞61ページ）

ネットワーク関連設定

本機をネットワーク接続するための設定です。
- 接続設定につきましては、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
- ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のプロバイダーにご相談ください。

1 操作一覧を押す

2 ▼で「設定する」を選び、決定を押す

3 ▼で「ネットワーク関連設定」を選び、決定を押す

ネットワーク関連設定	説明頁
LAN通信設定	下記
ケーブルモデム設定	78
プロキシサーバー設定	80

- 設定が有効でない項目は、灰色表示になります。

LAN通信設定

4 ▼で「ＬＡＮ通信設定」を選び、決定を押す

有線/無線LANの設定

5 ▼で「ＬＡＮ接続形態」を選び、決定を押す

6 ◀▶で「有線」か「無線」を選ぶ

アクセスポイント接続設定

LAN接続形態で「無線」と設定した場合に必要です。

5 ▼で「アクセスポイント接続設定」を選び、決定を押す

6 接続設定の画面が表示されたら決定を押す

7 ▲▼で「AOSS方式」を選び、決定を押す

8 アクセスポイント(無線LAN親機)の「AOSS」ボタンを対応ランプが点滅するまで押す

AOSS対応ランプが点滅したら、決定を押す

↓

設定がはじまります。

9 「アクセスポイントへの接続が完了しました。」と表示されたら、決定を押す

IPアドレス/DNS設定

5 ▼で「IPアドレス/DNS設定」を選び、決定を押す

LAN通信設定	
LAN接続形態	有線(LANケーブル)
アクセスポイント接続設定	―
IPアドレス／DNS設定	
お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定	
ホームサーバー機能(DLNA)設定	

6 DHCPでのIPアドレス自動取得が使えるとき

①▼で「IPアドレス自動取得」を選び、決定を押す

IPアドレス/DNS設定	
接続テスト	―――
IPアドレス自動取得	する
IPアドレス	--- --- --- ---
サブネットマスク	--- --- --- ---
ゲートウェイアドレス	--- --- --- ---

②確認画面が表示され、◀で「自動取得する」を選び、決定を押す

ブロードバンドルーターやルーター機能付きADSLモデムをお使いの場合は、通常DHCPでのIP自動取得が使えます。それぞれの機器の説明書をご覧ください。

IPアドレスを手動で入力するとき

①▼で「IPアドレス自動取得」を選び、決定を押す

IPアドレス/DNS設定	
接続テスト	―――
IPアドレス自動取得	しない
IPアドレス	--- --- --- ---
サブネットマスク	--- --- --- ---
ゲートウェイアドレス	--- --- --- ---

②確認画面が表示され、◀▶で「自動取得しない」を選び、決定を押す

③▼で「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」をそれぞれ選び、決定を押す

④ブロードバンドルーターの仕様を確認し、IPアドレスを画面の指示に従ってそれぞれ入力する

<入力画面例(IPアドレス)>

IPアドレスを修正するときは (1文字削除)で消去後に入力してください。

IPアドレスが0～255の範囲外の場合は、エラーメッセージが表示されます。

- 設定は、「接続テスト」を行うと有効になります。

7 DHCPでのDNSアドレス自動取得が使えるとき

①▼で「DNS-IP自動取得」を選び、決定を押す

DNS-IP自動取得	する しない
プライマリDNS	--- --- --- ---
セカンダリDNS	--- --- --- ---
MACアドレス	00-00-00-00-00-00

②確認画面が表示され、◀で「自動取得する」を選び、決定を押す

DNSアドレスを手動で入力するとき

①▼で「DNS-IP自動取得」を選び、決定を押す

DNS-IP自動取得	する しない
プライマリDNS	--- --- --- ---
セカンダリDNS	--- --- --- ---
MACアドレス	00-00-00-00-00-00

②確認画面が表示され、◀▶で「自動取得しない」を選び、決定を押す

③▼でプライマリDNS、セカンダリDNSをそれぞれ選び、決定を押す

次ページにつづく▶▶▶

④ご加入のケーブルテレビ局または、ご加入のプロバイダーから指示された、IPアドレスを画面の指示に従ってそれぞれ入力する

<入力画面例(プライマリDNS)>

プライマリDNS設定
①~⑩ ボタンを使って、DND-IP(プライマリ)を入力し、「決定」ボタンを押してください。何も入力しないで「決定」ボタンを押すと、設定を削除することができます。
255.255.255.128
青 赤 緑 黄 1文字削除

IPアドレスを修正するときは 黄 (1文字削除)で消去後に入力してください。

プライマリDNS設定
設定したDNS-IP(プライマリ)を登録しますか?
DNS-IP(プライマリ)
255.255.255.128
はい　いいえ

IPアドレスが0~255の範囲外の場合は、エラーメッセージが表示されます。

● 設定は、以下の「接続テスト」を行うと有効になります。

接続テスト

75ページ手順❻のとき「接続テスト」を選び、決定 を押す

IPアドレス／DNS設定	
接続テスト	―――
IPアドレス自動取得	しない
IPアドレス	--- --- --- ---
サブネットマスク	--- --- --- ---
ゲートウェイアドレス	--- --- --- ---

OK　接続が完了

NG　ブロードバンド環境の接続と設定の確認を行い、74ページからの設定を確認して再度テストしてください。(☞64ページ)

テスト中　テスト中

ゲートウェイアドレスとは
インターネットへのアクセスで経由すべき機器のIPアドレスです。通常はブロードバンドルーターのIPアドレスを言います。(例:192.168.0.1)

ケーブルモデムとは
CATVの回線を使ってインターネットに接続するための装置です。電話回線におけるモデムの役割を果たすため、ケーブルモデムと言います。

サブネットマスクとは
ネットワークを効率的に使うために、ブロードバンドルーターにつなぐ機器のIPアドレスを絞り込むための数字です。(例:255.255.255.0)

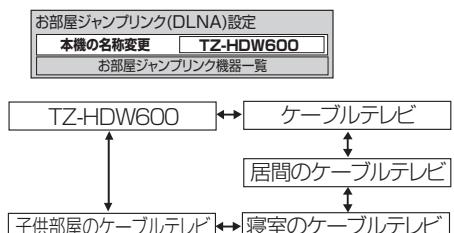
お部屋ジャンプリンク(DLNA)を設定する

ネットワーク接続された録画機器の録画番組を見るための設定をします。

❺ 74ページ手順❺のとき
▼で「お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定」を選び、決定 を押す

本機の名称

本機の機器名を変えることができます。

❻ ▼▲で「本機の名前変更」を選び、◀▶で機器名を選ぶ

お部屋ジャンプリンク機器を選ぶ

お部屋ジャンプリンク機器一覧画面から使用する機器を選びます。

❻ ▼▲で「お部屋ジャンプリンク機器一覧」を選び、決定 を押す

❼ ▼▲で使用する録画機器を選び、決定 を押す

❽ ◀で「する」を選ぶ

機器1の設定	
メーカー	Panasonic
表示名	居間のケーブルテレビ
メニュー登録	する　しない

ホームサーバー機能(DLNA)を設定する

ホームサーバー機能と視聴機器(DLNA対応)を設定します。

❺ 74ページ手順❺のとき
▼で「ホームサーバー機能(DLNA)設定」を選び、決定 を押す

ホームサーバー機能を「入」にする

❻ ▲▼で「ホームサーバー機能」を選び、◀▶で「入」を選ぶ

● ホームサーバー機能設定を「入」にすると、クイックスタート「入」時と同じように動作し、待機時消費電力は最小になりません。

視聴機器の許可を設定する

❻ ▲▼で「接続許可方法」を選び、◀▶で「自動許可」「手動許可」を選ぶ

自動許可　視聴機器が接続されたらすべて「許可」されます。

手動許可　①▲▼で「視聴機器一覧」を選び、決定 を押す
②▲▼で「許可」したい視聴機器を選び、決定 を押す

接続が「許可」されます。

● **設定中、** 戻る で1つ前の画面に戻ります。
● **設定後は、** 元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

ネットワーク関連設定

TZ-HDW600Pは、ケーブルモデムを内蔵していないため
ケーブルモデム関連の各項目は表示されません。

以下は、74ページ手順❶～❸で「ネットワーク関連設定」画面を表示させてから行ってください。

ケーブルモデム設定

74ページ手順❸のとき

4 ▼で「ケーブルモデム設定」を選び、(決定) を押す

IPアドレス/DNS設定

5 ▼で「IPアドレス/DNS設定」を選び、(決定) を押す

6 **DHCPでのIPアドレス自動取得が使えるとき**

① ▼で「IPアドレス自動取得」を選び、(決定) を押す

IPアドレス/DNS設定	
接続テスト	–––
IPアドレス自動取得	する
IPアドレス	--- --- --- ---
サブネットマスク	--- --- --- ---
ゲートウェイアドレス	--- --- --- ---

② 確認画面が表示され、◀で「自動取得する」を選び、(決定) を押す

ブロードバンドルーターやルーター機能付きADSLモデムをお使いの場合は、通常DHCPでのIP自動取得が使えます。それぞれの機器の説明書をご覧ください。

IPアドレスを手動で入力するとき

① ▼で「IPアドレス自動取得」を選び、(決定) を押す

IPアドレス/DNS設定	
接続テスト	–––
IPアドレス自動取得	しない
IPアドレス	--- --- --- ---
サブネットマスク	--- --- --- ---
ゲートウェイアドレス	--- --- --- ---

② 確認画面が表示され、◀▶で「自動取得しない」を選び、(決定) を押す

③ ▼で「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」をそれぞれ選び、(決定) を押す

④ ブロードバンドルーターの仕様を確認し、IPアドレスを画面の指示に従ってそれぞれ入力する

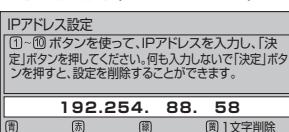
<入力画面例(IPアドレス)>

IPアドレス設定
①～⑩ ボタンを使って、IPアドレスを入力し、「決定」ボタンを押してください。何も入力しないで「決定」ボタンを押すと、設定を削除することができます。
192.254. 88. 58
(青) (赤) (緑) (黄) 1文字削除

IPアドレスを修正するときは (黄) (1文字削除)で消去後に入力してください。

IPアドレス設定
設定したIPアドレスを登録しますか？
IPアドレス
192.254. 88. 58
はい　いいえ

IPアドレスが0～255の範囲外の場合は、エラーメッセージが表示されます。

- 設定は、「接続テスト」を行うと有効になります。

7 **DHCPでのDNSアドレス自動取得が使えるとき**

① ▼で「DNS-IP自動取得」を選び、(決定) を押す

DNS-IP自動取得	する　しない
プライマリDNS	--- --- --- ---
セカンダリDNS	--- --- --- ---
MACアドレス	00-00-00-00-00-00

② 確認画面が表示され、◀で「自動取得する」を選び、(決定) を押す

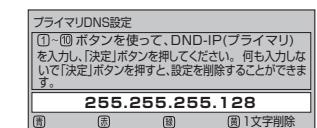
DNSアドレスを手動で入力するとき

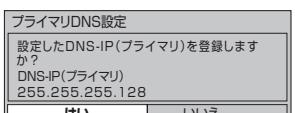
① ▼で「DNS-IP自動取得」を選び、(決定) を押す

DNS-IP自動取得	する　しない
プライマリDNS	--- --- --- ---
セカンダリDNS	--- --- --- ---
MACアドレス	00-00-00-00-00-00

② 確認画面が表示され、◀▶で「自動取得しない」を選び、(決定) を押す

③ ▼でプライマリDNS、セカンダリDNSをそれぞれ選び、(決定)を押す

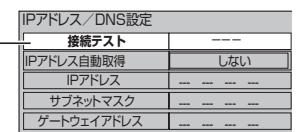
④ ご加入のケーブルテレビ局または、ご加入のプロバイダーから指示された、IPアドレスを画面の指示に従ってそれぞれ入力する

<入力画面例(プライマリDNS)>

IPアドレスを修正するときは (黄) (1文字削除)で消去後に入力してください。

IPアドレスが0～255の範囲外の場合は、エラーメッセージが表示されます。

- 設定は、以下の「接続テスト」を行うと有効になります。

接続テスト

左記手順❻のとき、▲▼で「接続テスト」を選び、(決定)を押す

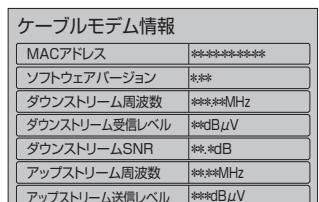
IPアドレス／DNS設定	
接続テスト	–––
IPアドレス自動取得	しない
IPアドレス	--- --- --- ---
サブネットマスク	--- --- --- ---
ゲートウェイアドレス	--- --- --- ---

OK	接続が完了
NG	ブロードバンド環境の接続と設定の確認を行い、左記設定を確認して再度テストしてください。(☞64ページ)
テスト中	テスト中

ケーブルモデムの情報を確認する

内蔵のケーブルモデム情報を確認することができます。

5 ▼で「ケーブルモデム情報」を選び、(決定) を押す

6 ケーブルモデム情報を確認する

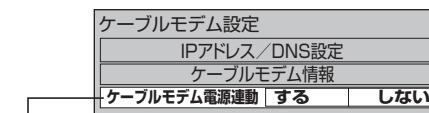
ケーブルモデム情報	
MACアドレス	**********
ソフトウェアバージョン	*.**
ダウンストリーム周波数	***.**MHz
ダウンストリーム受信レベル	**dBμV
ダウンストリームSNR	**.*dB
アップストリーム周波数	**.**MHz
アップストリーム送信レベル	***dBμV

- ケーブルモデムを使用しない設定の場合、「ケーブルモデム情報」は表示しません。

ケーブルモデムの電源を連動する

本機と内蔵ケーブルモデムの電源「入」「切」を連動させるかどうかの設定を行います。

5 ▼で「ケーブルモデム電源連動」を選ぶ

6 ◀▶で「する」「しない」を選び、(決定) を押す

ケーブルモデム設定		
IPアドレス／DNS設定		
ケーブルモデム情報		
ケーブルモデム電源連動	する	しない

する	本機の電源「切」時、内蔵のケーブルモデムも電源「切」
しない	本機の電源「切」時、内蔵のケーブルモデムは電源「入」

お知らせ

- ケーブルモデム電源連動設定は、変更できない場合があります。
  変更される場合はご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
- クイックスタート(☞73ページ)を「入」に設定すると、ケーブルモデムの電源設定にかかわらず、ケーブルモデムの電源は、常時「する」になります。
- ケーブルモデム電源連動を「しない」に設定すると消費電力は増えますが、電源「入」時にブラウザの起動が早くなります。

ネットワーク関連設定

以下は、74ページ手順❶～❸で「ネットワーク関連設定」画面を表示させてから行ってください。

プロキシサーバー設定

本機のブラウザ機能でホームページを正しく表示させるための設定です。

- ●プロキシアドレス
  ブラウザの代わりに目的のサーバーに接続し、ブラウザにデータを送る中継サーバーのアドレス。
  ご加入のケーブルテレビ局からの指定があるときのみ、設定が必要です。
  (例:proxy.○○○.ne.jp)
- ●プロキシポート番号
  プロキシアドレスと共に、ご加入のケーブルテレビ局から指定される番号です。
  (例:8000)

74ページ手順❸のとき

4 ▼で「プロキシサーバー設定」を選び、決定 を押す

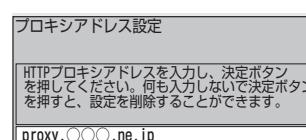
5 ▼で「プロキシアドレス」を選び、決定 を押す

プロキシサーバー設定	
プロキシアドレス	
プロキシポート番号	
ホームアドレス	https//t-navi.tv
接続テスト	ーーー

6 プロキシアドレスを入力し、決定 を押す

プロキシアドレス設定

HTTPプロキシアドレスを入力し、決定ボタンを押してください。何も入力しないで決定ボタンを押すと、設定を削除することができます。

proxy.○○○.ne.jp

●文字の入力方法(☞52、53ページ)

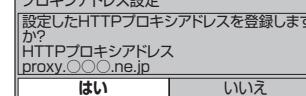
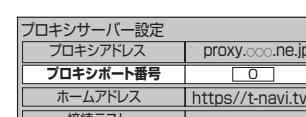
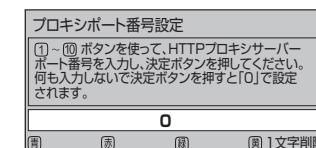
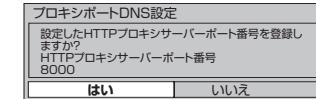
7 ◀で「はい」を選び、決定 を押す

プロキシアドレス設定

設定したHTTPプロキシアドレスを登録しますか?
HTTPプロキシアドレス
proxy.○○○.ne.jp

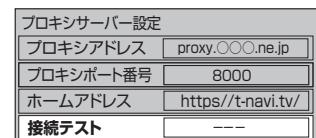
はい　いいえ

8 ▼で「プロキシポート番号」を選び、決定 を押す

プロキシサーバー設定	
プロキシアドレス	proxy.○○○.ne.jp
プロキシポート番号	0
ホームアドレス	https//t-navi.tv
接続テスト	ーー

9 1～10(0) でポート番号を入力し、決定 を押す

10 ◀で「はい」を選び、決定 を押す

接続テスト

ポータルサイトに接続できるか確認します。

左記手順❺のとき、▲▼で「接続テスト」を選び、決定を押す

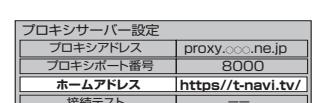
プロキシサーバー設定	
プロキシアドレス	proxy.○○○.ne.jp
プロキシポート番号	8000
ホームアドレス	https//t-navi.tv/
接続テスト	ーーー

■接続テスト用サイトにつながり正常に接続されると「OK」が表示されたとき
→正しく設定ができています。

■正しく接続されなかったとき
→画面上にメッセージが表示されます。接続と設定をご確認ください。(☞64、74～80、105ページ)

ホームのアドレスを確認する

「ネット操作」パネル(☞48ページ)で「ホーム」を選んだときに表示されるページのアドレス(URL)を確認できます。

左記手順❹の画面のとき、▼で「ホームアドレス」を選び、決定を押す

プロキシサーバー設定	
プロキシアドレス	proxy.○○○.ne.jp
プロキシポート番号	8000
ホームアドレス	https//t-navi.tv/
接続テスト	ーー

新しい情報のダウンロード方法を選ぶ

ご加入のケーブルテレビ局から送られる新しい情報のダウンロード方法を選ぶことができます。

ダウンロードについて
ご加入のケーブルテレビ局からの情報を本機に取り込むことにより、本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。

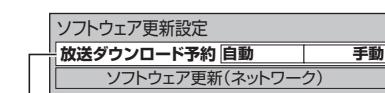
ダウンロード予約する

1 操作一覧 を押す

2 ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

3 ▼で「ソフトウェア更新設定」を選び、決定 を押す

4 ▼で「放送ダウンロード予約」を選び、◀▶で「自動」か「手動」を選ぶ

ソフトウェア更新設定		
放送ダウンロード予約	自動	手動
ソフトウェア更新(ネットワーク)		

自動　通常は「自動」をおすすめします。リモコンで電源「切」時に情報が届いた場合は、自動的にダウンロードを実行します。

手動　情報が届いた場合は、メールでお知らせします。メールを確認し、「ダウンロード予約」の「する」か「しない」を選びます。(☞58ページ「放送メール」)

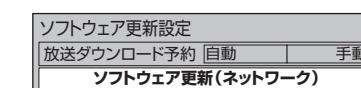
ネットワークを利用してソフトウェアを更新する

1 を押す

2 ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

3 ▼で「ソフトウェア更新設定」を選び、決定 を押す

4 ▼で「ソフトウェア更新」を選び、決定 を押す

ソフトウェア更新設定		
放送ダウンロード予約	自動	手動
ソフトウェア更新(ネットワーク)		

●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により、ご利用できない場合があります。

● 設定中、戻る で1つ前の画面に戻ります。
● 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

設定をリセットする

本機(内蔵ハードディスク)に保存したすべての内容を消去します。

個人情報をリセットする

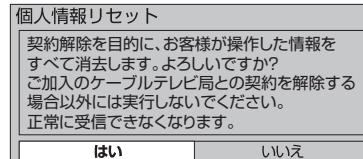
操作するリモコンのボタン位置 (☞11ページ)

1 を押す

2 ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

3 ▼で「設定リセット」を選び、決定 を押す

4 ▼で「個人情報リセット」を選び、決定 を3秒以上押す

5 ◀で「はい」を選び、決定 を押す

「受信機内部の初期化が終了しました。電源プラグを抜いてください。」のメッセージが表示されます。

本機の電源プラグを抜いてください。

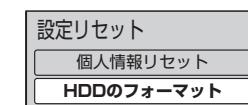
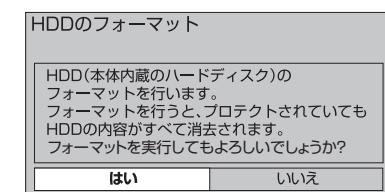
お知らせ

- 本機に記録されているお客様に関する個人情報(メールや購入記録、データ放送のポイントなど)が、すべて削除されます。また、HDDはフォーマット(初期化)されます。
- 双方向データ放送やブラウザでのサービスをご利用の場合、本機からの操作により、ケーブルテレビ局や放送局、インターネットのホームページに登録された情報は、この操作では削除されませんので、ご注意ください。それぞれのサービスで情報の削除操作(退会手続きなど)を行ってください。

内蔵ハードディスクを全消去する(HDDフォーマット)

本機をケーブルテレビ局へ返却するときに登録した個人情報を消去します。

ケーブルテレビ局への返却などで本機のご使用を中止される場合以外には、実行しないでください。

1 左記手順❶〜❸の操作のあと
▼で「HDDのフォーマット」を選び、決定 を3秒以上押す

2 ◀で「はい」を選び、決定 を押す

お知らせ

- HDDフォーマット実行中は、電源「切」「入」など本機の操作は行わないでください。
故障の原因となります。
- 内容の消去に3分程度かかります。画面表示に従い操作してください。

●**設定中、** 戻る で1つ前の画面に戻ります。 ●**設定後は、** 元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

録画機器と接続する

接続は本機および各機器の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で行ってください。

背面端子部 (映像・音声出力端子)

Ir システム端子

- Irシステムは、ビデオデッキやブルーレイ/DVDレコーダーなどのリモコンの赤外線信号(Infrared)を利用して、本機からビデオデッキなどの電源「入」「切」や録画の開始など、一部の操作ができる機能です。
- 市販の Ir システムケーブルを接続します。

出力 1/2 端子

- ビデオデッキなどの「映像」と「音声」の入力端子に接続します。
- 本機で受信したテレビ放送の信号を出力します。
(本機前面[扉内]の映像出力端子切換で「HDMI」「D(D端子)」に設定しているとき、チャンネルなどの画面表示は出力しません)

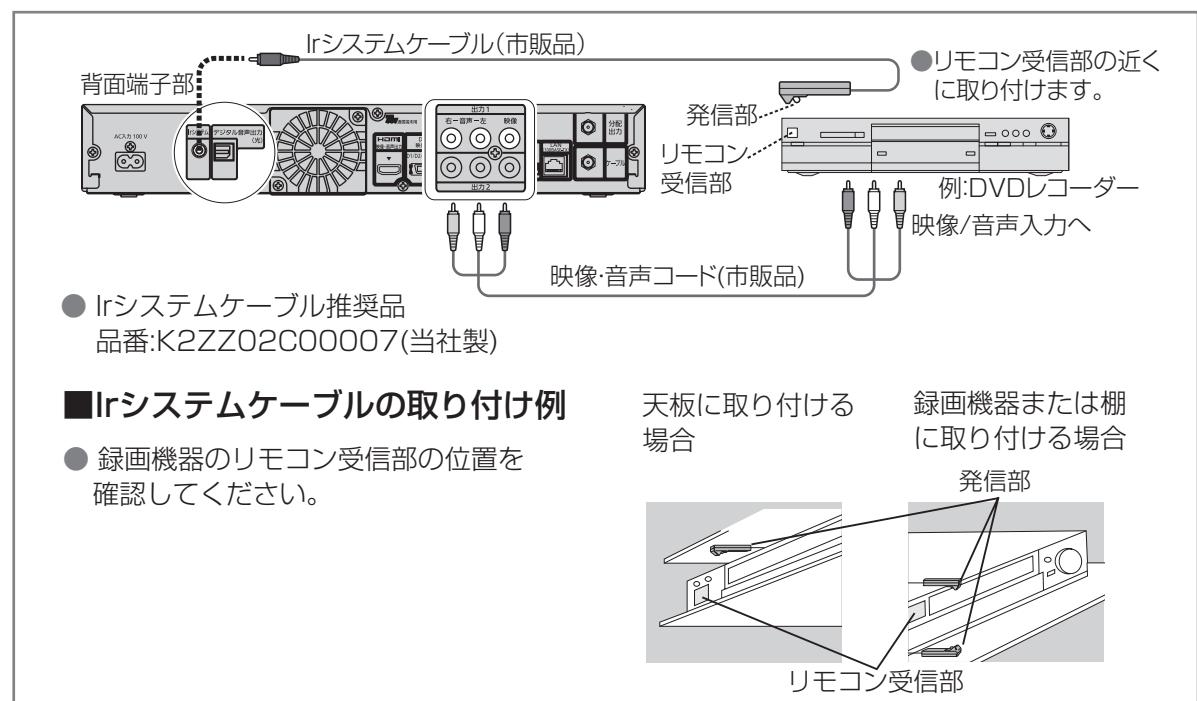
Irシステム対応機器の接続と設定

Irシステム対応機器との接続

● Irシステムケーブル推奨品
品番:K2ZZ02C00007(当社製)

■Irシステムケーブルの取り付け例

● 録画機器のリモコン受信部の位置を確認してください。

設定

1. (操作一覧) を押す
2. ▼で「設定する」を選び、(決定) を押す
3. ▼で「接続機器関連設定」を選び、(決定) を押す
4. ▼で「Irシステム設定」を選び、(決定) を押す

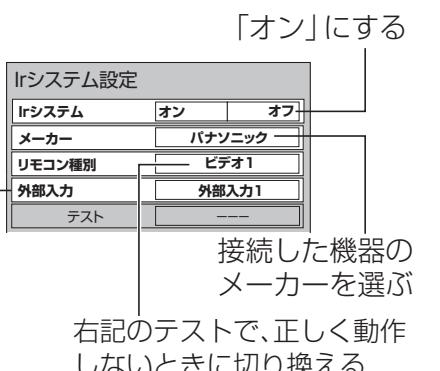
5. ▼で各項目を選び、◀▶で設定する

Irシステム設定

Irシステム	オン	オフ
メーカー	パナソニック	
リモコン種別	ビデオ1	
外部入力	外部入力1	
テスト	–––	

「オン」にする

接続した機器のメーカーを選ぶ

右記のテストで、正しく動作しないときに切り換える

当社製のビデオデッキまたはブルーレイ / DVD レコーダーで「タイマー予約」をするときのみ設定してください。
→本機に接続した、ビデオデッキやブルーレイ/DVDレコーダー側の外部入力端子の番号(1、2、3)に合わせる。(他メーカーの機器では設定できません)

●**本機で設定できる録画機器は以下の通りです。**
パナソニック、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NECのビデオデッキおよびパナソニック、パイオニア、三菱のDVDレコーダー、パナソニックのブルーレイレコーダー
※一部、使用できない商品もあります。

●**「リモコン種別」について**
- メーカーによってはリモコン種別が複数あります。右記のテストを実行しても機器が動作しない場合は、他のリモコン種別に切り換えてください。
- 「DVD レコーダー 1 ～ 3」に設定した場合、当社製ブルーレイ /DVD レコーダーでは録画予約を行うと録画予約情報の他に番組タイトルの情報が送られます。(番組表で番組タイトルが取得できていない場合は送られません。また、一部対応していない機種があります。)送られる番組タイトルは 1 分を超える予約番組の最初の番組タイトル 1 つだけです。
番組タイトルに 天、二、N などの外字が含まれているとブルーレイ /DVD レコーダーでは表示されません。また、時間指定予約で「毎日」などのくり返しのタイマー予約をされた場合には、予約設定時に初回の番組タイトルを送ります。(くり返しの 2 回目以後の番組タイトルは送りません。)

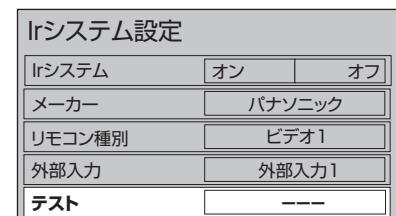
■終わったら、右記のテストを行ってください。

テスト

Irシステムで接続した機器が正しく動作するか確認します。

1. 84ページ手順❺の画面で
▼で「テスト」を選び、(決定) を押す

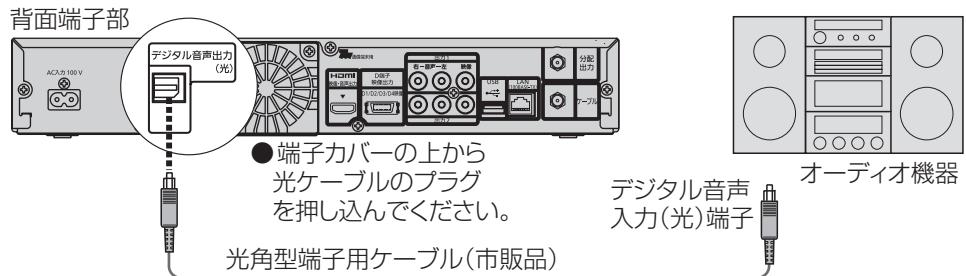
Irシステム設定

Irシステム	オン	オフ
メーカー	パナソニック	
リモコン種別	ビデオ1	
外部入力	外部入力1	
テスト	–––	

2. **録画機器の電源が「入」「切」するか、確認する**
●「送信中」が表示され、電源「入」「切」のリモコン信号がくり返し送信されます。
3. (決定) を押す
→くり返し送信が終了します。

■録画機器の電源が「入」「切」しないときは

●Irシステムケーブルの接続、取り付けを確認してください。(☞84ページ)
●リモコン種別を変更してください。(☞84ページ　手順❺)

オーディオ機器の接続と設定

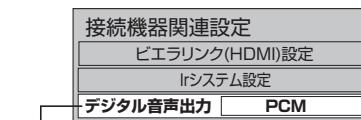
AACやドルビーデジタル対応のオーディオ機器を接続したときは、以下の設定を行ってください。

■接続できるオーディオ機器

●デジタル音声入力（光）端子を持ち、PCMまたはAAC※1、ドルビーデジタル※2対応のアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のオーディオ機器に対応しています。
●オーディオ機器の取扱説明書も、よくお読みください。

1 操作一覧 を押す

2 ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

3 ▼で「接続機器関連設定」を選び、決定 を押す

4 ▼で「デジタル音声出力」を選び、◀▶で設定する

PCM	オーディオ機器が「AAC」や「ドルビーデジタル」に対応していないとき（工場出荷時）
Bitstream	AACの番組のときは、「AAC」出力、ドルビーデジタルの番組のときは、「ドルビーデジタル」出力それ以外は、「PCM」出力
自動	サラウンド・ステレオ(5.1ch)番組のときのみ自動的に「AAC」や「ドルビーデジタル」出力に切り換える

お知らせ

●「Bitstream」にすると、字幕放送やデータ放送の効果音が、デジタル音声出力（光）端子から出力されません。「PCM」にするか、ビデオ出力の音声端子をご使用ください。
●「AAC」や「ドルビーデジタル」対応のオーディオ機器を接続する場合、「PCM」と「AAC」の入力に対し自動切換機能のあるものをおすすめします。
●HDMI接続機器が「AAC」や「ドルビーデジタル」対応の場合は、HDMI音声出力はデジタル音声出力で設定した音声方式で出力されます。HDMI接続機器が「AAC」や「ドルビーデジタル」非対応の場合は、HDMI音声出力は「PCM」で出力されます。

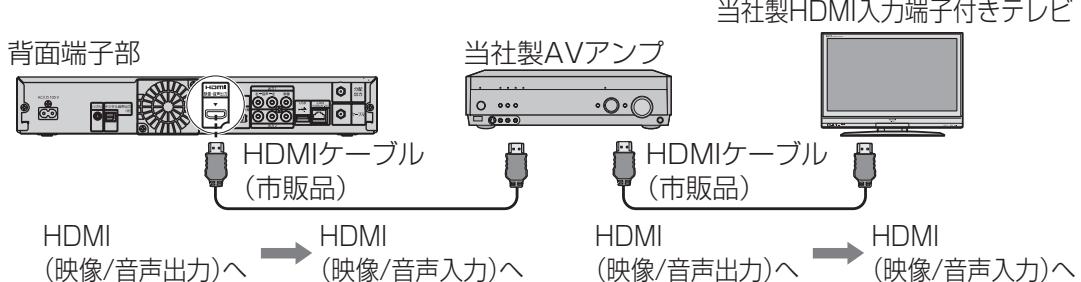
※1 AACとは、音声符号化の規格の一つです。AACは、CD（コンパクトディスク）並みの音質データを約1/12にまで圧縮できます。また、5.1チャンネルのサラウンド音声や多言語再生を行うこともできます。

※2 ドルビーデジタルとは、映画やコンサート会場の臨場感をご家庭でお楽しみいただけるデジタル音声規格のひとつです。

● 設定中、戻る で1つ前の画面に戻ります。
● 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

音声の出力先を切り換える（ビエラリンク制御）

ビエラリンク制御機能がある当社製テレビまたはAVアンプをHDMI経由で接続すると、テレビの音声出力先を切り換えることができます。

ビエラリンク制御機能がある当社製AVアンプをHDMI経由で接続してください。
●テレビ側、AVアンプ側でもHDMIの設定が必要です。

1 操作一覧 を押す

2 ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

3 ▼で「接続機器関連設定」を選び、決定 を押す

4 ▼で「ビエラリンク(HDMI)設定」を選び、決定 を押す

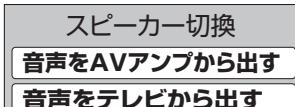
5 ▼で「ビエラリンク(HDMI)制御」を選び、◀で「入」を選ぶ

入	●本機の電源を「入」にするとテレビの電源も「入」になり本機の入力に切り換わる ●テレビの電源を「切」にすると本機の電源も「切」になる
切	ビエラリンク(HDMI)制御を無効にする

6 サブメニュー を押す

7 ▲▼で「スピーカー切換」を選び、決定 を押す

8 ▼で音声出力先を選び、決定 を押す

スピーカー切換
音声をAVアンプから出す
音声をテレビから出す

お知らせ

●AVアンプは必ず本機とテレビの間に接続してください。
●ビエラリンク制御を行うには、接続したテレビ側、AVアンプ側の設定も必要です。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
●HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
●本機からAVアンプへ番組に応じた最適な音声モードに切り換えることができます。（☞86ページ）

ビエラリンク(HDMI)を使う

● 設定中、戻る で1つ前の画面に戻ります。
● 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

ビエラリンク(HDMI)Ver.3以降に対応した当社製テレビ「ビエラ」、またはAVアンプをHDMI経由で接続すると以下の操作ができます。

本機能は、接続した各機器のビエラリンク(HDMI)がVer.3から使用できます。
テレビのビエラリンクのバージョンは、テレビの取扱説明書でご確認ください。
本機はビエラリンク(HDMI)Ver.4に対応しています。

テレビ(ビエラ)のリモコンで本機を操作することができます。

番組に適したAVアンプの音声モードを自動で切り換えることができます。(オートサウンド連携)

本機との接続は87ページをご覧ください。

オートサウンド連携を使うには

本機側の設定を行う(☞89ページ)

AVアンプ側の設定を行う

AVアンプ側の設定操作については、AVアンプの取扱説明書を参照ください。

●当社製HDMIケーブルを推奨します。
●HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
●ビエラリンク(HDMI)は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社が独自機能を追加したものです。

■HDMIケーブル(当社製)について
・品番:RP-CDHS10(1 m)
・品番:RP-CDHS15(1.5 m)
・品番:RP-CDHS20(2 m)
・品番:RP-CDHS30(3 m)

テレビ(ビエラ)のリモコンで本機を操作するための設定

テレビのリモコンで操作するための設定を行います。
本機のリモコンで以下の設定を行ってください。

1. 操作一覧 を押す
2. ▼で「設定する」を選び、決定 を押す
3. ▼で「接続機器関連設定」を選び、決定 を押す
4. ▼で「ビエラリンク(HDMI)設定」を選び、決定 を押す
5. ▼で「ビエラリンク(HDMI)制御」を選び、◀で「入」を選ぶ
6. ▼で「ビエラリモコンで操作」を選び、◀で「入」を選ぶ

ビエラリンク(HDMI)設定

項目		
ビエラリンク(HDMI)制御	入	切
電源オフ連動	入	切
ビエラリモコンで操作	入	切
オートサウンド連携	入	切
ECOスタンバイ	入	切
バージョン	[ビエラリンク Ver.4]	

ケーブルテレビを見るための各操作(☞90～93ページ)

オートサウンド連携を使うための設定

AVアンプの音声モードを自動で切り換えるための設定を行います。

1. 操作一覧 を押す
2. ▼で「設定する」を選び、決定 を押す
3. ▼で「接続機器関連設定」を選び、決定 を押す
4. ▼で「ビエラリンク(HDMI)設定」を選び、決定 を押す
5. ▼で「ビエラリンク(HDMI)制御」を選び、◀で「入」を選ぶ
6. ▼で「オートサウンド連携」を選び、◀で「入」を選ぶ

ビエラリンク(HDMI)設定

項目		
ビエラリンク(HDMI)制御	入	切
電源オフ連動	入	切
ビエラリモコンで操作	入	切
オートサウンド連携	入	切
ECOスタンバイ	入	切
バージョン	[ビエラリンク Ver.4]	

ビエラのリモコンで本機を操作する

本機の操作をするための準備

テレビ(ビエラ)のリモコンで本機を操作するには、あらかじめテレビの操作から本機の操作に切り換えるための切り換え操作が必要です。
切り換え操作の詳細はテレビの取扱説明書をご覧ください。

本機を操作できるビエラのリモコンボタン

ケーブルテレビの番組を見ているとき

サブメニュー(S)を押すとサブメニューが表示され、以下の操作ができます。

- 青：番組内容を表示する
- 赤：録画一覧画面を表示する
- 緑：放送を切り換える
- 黄：操作一覧を表示する

ブラウザを使う

データ放送を見る

ケーブルテレビの「操作一覧」を表示する

番組表を見る

ケーブルテレビ側の番組表であることをお知らせします。

サブメニューを表示する

●**録画再生中は**
・操作パネルを表示
・操作パネルを表示中に押すとサブメニューを表示

1つ前の画面に戻る

放送を選ぶ

ボタンの名称は本機リモコンと異なります。
●「デジタル」→地上デジタル放送
●「BS」→BSデジタル放送
●「CS」→CATVデジタル放送

● 選局入力方式が「3桁入力」のときは、放送を選ぶ必要はありません。

チャンネルを選ぶ

視聴中に音声や字幕表示の切換などができます。

ケーブルテレビ放送の画面に戻る

<ビエラのリモコン(例:TH-L32X2)>

ビエラの機種によっては、ボタンの配置と使用できるボタンが異なる場合があります。詳しくは、ビエラの電子説明書(VIERA操作ガイド)をご覧ください。

テレビ(ビエラ)リモコンの詳細はテレビの取扱説明書をご覧ください。

ブラウザを利用する

インターネットを利用した生活情報やテレビ向けの双方向情報提供サービスを見ることができます。

1 アクトビラ を押す

<画面例>

● ブラウザの詳細操作は、48ページを参照ください。

データ放送を見る

お住まいの地域の天気予報やテレビ放送やラジオ放送に連動した情報を閲覧したり、視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向(インタラクティブ)サービスを利用することができます。

1 データ を押す

<画面イメージ>

2 ▼▲で見たい項目を選び、(決定) を押す

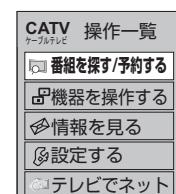
● 以降の操作は、23ページを参照ください。

各種の設定を行う

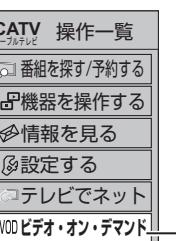
1 を押す

2 ▼で「ケーブルテレビの操作」を選び、(決定) を押す

→本機の「操作一覧」が表示されます。

以降の操作は、本取扱説明書の各設定に対応したページをご覧ください。

ビエラの機種によっては(ビエラリンク)がない場合があります。
その場合は、サブメニュー(S)を押し、サブメニュー画面を表示させてから黄を押すと上記の「操作一覧」が表示されます。

VODをご利用のとき

1 上記の操作一覧画面のとき
▼で「ビデオ・オン・デマンド」を選び、(決定) を押す

VODを使用できないときは、表示されません。

ビエラのリモコンで本機を操作する

テレビ（ビエラ）リモコンの詳細はテレビの取扱説明書をご覧ください。

＜ビエラのリモコン（例：TH-L32X2）＞

録画・再生

録画予約する

1 番組表 を押す

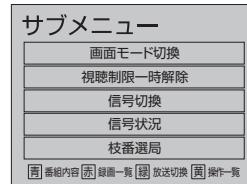
2 番組表から▼▲◀▶で録画したい番組を選び、決定 を押す

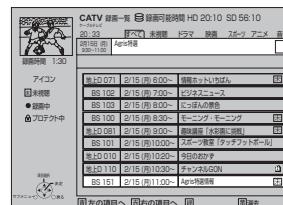
例：選んでいる番組が黄色になる

●予約録画についての詳細（☞25ページ）

再生する

1 サブメニュー を押す

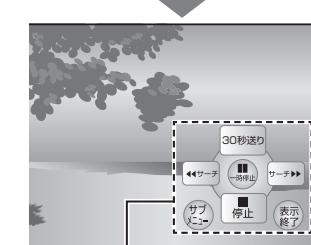
→サブメニューが表示されます。

2 赤 を押す

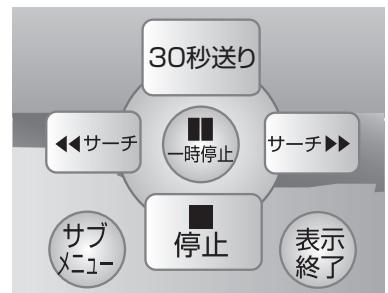
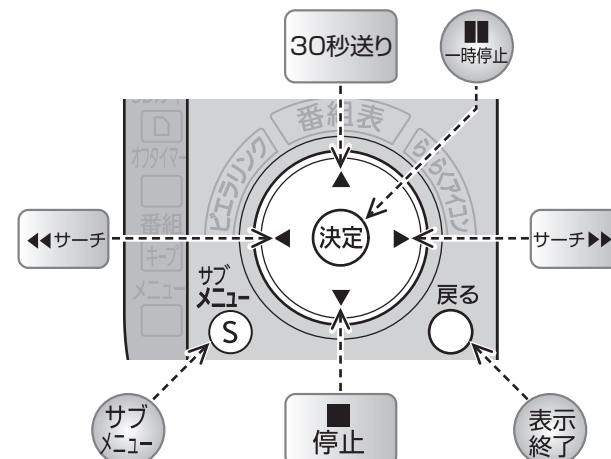
→録画一覧画面が表示されます。（☞32ページ）

3 ▼▲で番組を選び、決定 を押す

→選んだ番組の再生が始まります。
●再生中の操作は（☞下記）
●録画番組の消去やプロテクト設定変更について（☞34ページ）

再生中の操作（一時停止やサーチなど）

再生中に、サブメニュー を押す

→操作パネルが表示されます。

操作パネル
（しばらくすると表示は消えます。）

操作パネルを表示中に、操作パネルに応じたリモコンのボタンを押してください。（操作内容の詳細は下記の表を参照ください。）

操作パネルのボタンは、リモコンのボタン位置に対応しています。

一時停止やサーチなどのボタンを押すと操作パネルの表示が変ります。

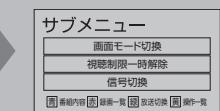
操作パネルが消えたときは、再度、サブメニュー を押してください。

操作内容	操作ボタン	
通常の再生に戻す	決定 または ▲	一時停止中、早送り中、早戻し中、スロー再生中から通常の再生画面に戻します。
一時停止	決定	番組の再生を一時停止します。
停止	▼	番組の再生を停止します。
早送り（サーチ▶▶）	▶	押すごとに、速度が速くなります。（5段階）
早戻し（◀◀サーチ）	◀	押すごとに、速度が速くなります。（5段階）
スロー再生	一時停止中に ◀ ▶	押すとスロー再生になります。
30秒先へスキップ再生	▲	1回押すごとに、約30秒飛び越して再生します。
15秒逆へスキップ再生	長押し ▲	約15秒戻って再生します。

■操作パネルを消す

戻る を押す

■サブメニューを表示する

サブメニュー を押す

サブメニュー表示中にできるカラーボタンの操作

カラーボタン（再生中にサブメニュー表示のとき）	内蔵HDD
青	番組内容を表示する
赤	録画一覧を表示する

本機とテレビの電源を連動させる

テレビの電源と連動する

HDMI電源連動機能のある当社製テレビをHDMI経由で接続すると、本機とテレビの電源操作を連動させることができます。
テレビ側でもHDMIの設定を行ってください。

1 **を押す**

2 **▼で「設定する」を選び、㊒ を押す**

3 **▼で「接続機器関連設定」を選び、㊒ を押す**

4 **▼で「ビエラリンク(HDMI)設定」を選び、㊒ を押す**

5 **▼で「電源オフ連動」を選び、◀で「入」を選ぶ**

ビエラリンク(HDMI)設定		
ビエラリンク(HDMI)制御	入	切
電源オフ連動	**入**	**切**
ビエラリモコンで操作	入	切
オートサウンド連携	入	切
ECOスタンバイ	入	切
バージョン	[ビエラリンク Ver.4]	

「ビエラリンク制御」の項目を「入」に設定している場合に設定できます。

入	本機の電源を「切」にするとテレビの電源も「切」になる
切	電源オフ連動を無効にする

お知らせ

- HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

ECOスタンバイ

当社製テレビの電源「入」「切」に連動して、本機の電源「切」の状態を設定します。

- テレビの電源「切」時には消費電力を少なくし、電源「入」時には本機がすぐに起動できる状態にします。

1 **を押す**

2 **▼で「設定する」を選び、㊒ を押す**

3 **▼で「接続機器関連設定」を選び、㊒ を押す**

4 **▼で「ビエラリンク(HDMI)設定」を選び、㊒ を押す**

5 **▼で「ECOスタンバイ」を選び、◀で「入」を選ぶ**

ビエラリンク(HDMI)設定		
ビエラリンク(HDMI)制御	入	切
電源オフ連動	入	切
ビエラリモコンで操作	入	切
オートサウンド連携	入	切
ECOスタンバイ	**入**	**切**
バージョン	[ビエラリンク Ver.4]	

「ビエラリンク制御」の項目を「入」に設定している場合に設定できます。

入	すぐに起動できる状態になる
切	消費電力を少なくする

お知らせ

- ビエラリンク(HDMI)Ver.4.0以降対応している当社製テレビとの接続が必要です。
- 「入」にすると、内部の制御部が通電状態になるので待機時電力量が最小になりません。

● **設定中、**戻る で1つ前の画面に戻ります。 ● **設定後は、**元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

操作一覧(メニュー)

操作一覧	設定項目	ページ
番組を探す/予約する	番組表で	18
	注目番組一覧	22
	今放送中から	20
	ジャンル別に	20
	キーワードで	21
	人名で	21
	時間指定予約で	27
	予約一覧	31
機器を操作する	HDD	32
	SDカード	44
	お部屋ジャンプリンク	35
情報を見る	放送メール	58
	購入記録	58
	購入記録送信結果	58
	ICカード	59
	ステータス表示	59
	ボード	59
	ダビング履歴	59

操作一覧	設定項目	詳細設定項目	ページ
設定する	システム設定	字幕の設定	54
		制限項目設定	56
		文字入力設定	55
		録画・視聴設定	55
		選局対象	54
		二重音声設定	55
		タイトル表示	55
		前面パネル輝度	55
		HDオプティマイザー	55
		選局入力方式	56
		チャンネルアップダウン	54
	設置設定	チャンネル設定	66
		番組表設定	69
		地域設定	69
		クイックスタート	73
		無操作自動オフ	73
		C-CASカードテスト	73
		B-CASカードテスト	73
		リモコンモード	97
		接続テレビ設定	70
	ネットワーク関連設定	LAN通信設定	74
		ケーブルモデム設定	78
		プロキシサーバー設定	80
	接続機器関連設定	ビエラリンク(HDMI)設定	88
		Irシステム設定	84
		デジタル音声出力	86
	ソフトウェア更新設定	放送ダウンロード予約	81
		ソフトウェア更新	81
	設定リセット	個人情報リセット	82
		HDDのフォーマット	82
テレビでネット※	—	—	—
ビデオ・オン・デマンド※	—	—	—

※テレビでネット、ビデオ・オン・デマンドが使用できるときに表示されます。

お知らせ

- 詳細については該当のページをご覧ください。
- メニュー操作で設定画面を表示させたとき、設定が有効でない項目は、灰色表示になります。

リモコンについて

テレビのメーカー設定

本機のリモコンでお手持ちのテレビの基本的な操作をすることができます。
（電源の入切、テレビ／ビデオの切り換え、チャンネル選局、音量調整）

■設定方法

テレビー電源 ボタンを押したまま、 → 下表より お手持ちのテレビのメーカーに対応するボタンを選び、順番に押す。（工場出荷時はパナソニック（新1）に設定）

テレビメーカー	ボタンを順番に押す	テレビメーカー	ボタンを順番に押す	テレビメーカー	ボタンを順番に押す
パナソニック（新1）	1と1	SONY（1）	3と5	富士通ゼネラル（2）	5と6
パナソニック（新2）	1と2	SONY（2）	3と6	三洋（1）	6と1
パナソニック（旧）	1と3	パイオニア	4と1	三洋（2）	6と2
パナソニック（地上D1）	1と4	シャープ（1）	4と5	三洋（3）	6と3
パナソニック（地上D2）	1と5	シャープ（2）	4と6	三洋（4）	6と4
ビクター	2と1	シャープ（3）	4と7	NEC（1）	6と5
東芝	2と5	三菱（1）	5と1	NEC（2）	6と6
日立（1）	3と1	三菱（2）	5と2	AIWA	7と1
日立（2）	3と2	三菱（3）	5と3	FUNAI	7と2
日立（3）	3と3	三菱（4）	5と4	―――	
日立（4）	3と4	富士通ゼネラル（1）	5と5	―――	

お知らせ
●同一メーカーで設定が2種類以上ある場合は、動作するほうに設定してください。
●接続したテレビにリモコン機能がない場合は、本機のリモコンでも動作しません。
●電池の交換などで設定が「パナソニック（新1）」に戻った場合は、再設定してください。
●一部動作しない機種もあります。動作しない場合は、テレビに付属のリモコンをご使用ください。

リモコンモードの設定

本機を複数台使用される場合、他のリモコンからの動作を防ぐためにリモコン発信器のモードを変えることができます。

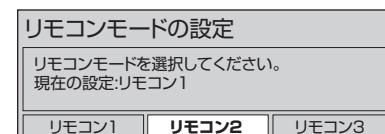
本機側の設定

1 操作一覧 を押す

2 ▲▼で「設定する」を選び、(決定)を押す

3 ▼で「設置設定」を選び、(決定)を押す

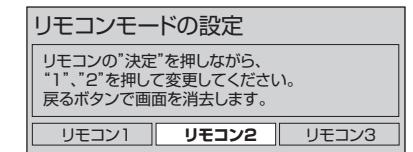
4 ▲▼で「リモコンモード」を選び、(決定)を押す

5 ◀▶でモードを選ぶ
(例)リモコン2を選んだとき

リモコンモードの設定
リモコンモードを選択してください。
現在の設定:リモコン1
リモコン1 | **リモコン2** | リモコン3

リモコン側の設定

6 (決定)を押しながら、1、2を順番に押し、戻る を押す

(例)リモコン2を選んだとき

リモコンモードの設定
リモコンの"決定"を押しながら、
"1"、"2"を押して変更してください。
戻るボタンで画面を消去します。
リモコン1 | **リモコン2** | リモコン3

●「リモコン1」を選んだときは1、1
「リモコン3」を選んだときは1、3
を順番に押します。

リモコンボタンでの入力文字一覧表

ボタン＼入力モード	かな	カナ	英数	数字
1	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ 1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ 1	@ . / : ˜ _ 1	1
2	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c A B C 2	2
3	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f D E F 3	3
4	た ち つ て と っ 4	タ チ ツ テ ト ッ 4	g h i G H I 4	4
5	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l J K L 5	5
6	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o M N O 6	6
7	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s P Q R S 7	7
8	や ゆ よ ゃ ゅ ょ 8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ 8	t u v T U V 8	8
9	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z W X Y Z 9	9
10	、 。 ? ! ・ ( ) 0	、 。 ? ! ・ ( ) 0	― , ; ' " ? ! ( ) & ¥ 0	0
11	わ を ん ゎ ー スペース	ワ ヲ ン ヮ ー スペース	スペース	*
12	改行	改行	改行	#

●ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例：「い」を入力するときは 1 を2回押す）
未確定の文字があるときに 12 を押すと、表の逆順で文字が変わります。
●「英数」と「数字」は半角で入力されます。（▼を押すと全角に変換されるものもあります）
●濁点や半濁点を入力するときは→文字に続けて 10 を押す

アイコン一覧

●本機はアイコン(機能表示のシンボルマーク)によって、表示画面の情報をお知らせします。
●放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

番組内容画面

アイコン	説明	アイコン	説明
テレビ	テレビ放送(映像+音声)の番組。	ラジオ	ラジオ放送の番組。
データ	データ放送の番組。	d テレビ	番組とは別のデータ放送を行っている番組。
+d テレビ	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組。	d ラジオ	ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組。
+d ラジオ	ラジオ放送番組で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組。	16:9 1080i	番組の映像信号情報。上:画面の横縦比(16:9、4:3) 下:信号方式(1080i、720p、480p、480i)
●●● 信号	映像や音声、データのいずれかを信号切り換えができる番組。	主+副	二重音声信号で、「主+副」音声の番組。
モノラル	モノラル音声の番組。	サラウンド	5.1chなどのサラウンド放送の番組。
ステレオ	ステレオ放送の番組。	有料	有料のデータを含む番組。(ペイ・パー・ビュー番組) CATV放送では表示されません。
デジタル XCOPY	デジタルコピーガードが、かかっている番組。(デジタルで録画できません)	マルチ ビュー	マルチビュー放送の番組。CATV放送では表示されません。
アナログ XCOPY	アナログコピーガードが、かかっている番組。(アナログで録画できません)	字幕	番組の中に字幕(日本語/英語)の情報が含まれている番組。
制限 COPY	「ダビング10」または「1回だけ録画可能」のコピー制限のある番組。	20 才〜	視聴年齢制限がある番組。(表示される年齢は4〜20才まであります)
デジタル 1COPY	「1回だけ録画可能」のコピー制限のある番組。	アナログ X出力	アナログ(ビデオ出力、D端子映像出力)出力していない番組。)

お知らせ

●「デジタル1COPY」のアイコンが出ない番組でも、録画機器によってはダビングができない場合があります。

予約一覧画面

アイコン	説明	アイコン	説明
見るだけ	見るだけ予約した番組。	変更	放送開始時間を変更して予約される番組。
録画 Ir / 録画 -- / 録画 HDD / 録画 Ir+HDD / 録画 --+HDD	録画予約した番組。(下:録画機器、方式)		
探して毎回★	探して毎回予約で予約した番組。	検索中	時間変更追従を実行中。(時間確認中)
次回未定	探して毎回予約で次回の放送がまだ見つかっていないとき。	済 取消	お客様の操作や録画機器の状態により録画が取り消されたときに表示。
月~土 / 月~金 / 毎日 / 毎週	毎週、毎日、曜日指定での予約。	済 おしらせ	予約実行の途中中断、時間の変更、指定の信号で録画できない、録画機器が正しく動作していない場合。
重複	予約時間が重なっている予約。	PPV	有料のデータを含む番組。(ペイ・パー・ビュー番組)
済	予約時間が終了した予約。		
実行中	現在、実行中の予約。		

番組ジャンル

●番組をジャンル別に検索するときに選ぶ。(☞20ページ)

映画	音楽	ニュース/報道	劇場/公演
ドラマ	バラエティ	アニメ/漫画	趣味/教育
スポーツ	情報/ワイドショー	ドキュメンタリー/教養	福祉

●別に、ジャンル名をイラスト化して表示しているアイコンがあります。

その他の画面

メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール。(未読メール)

メール一覧画面で、お客様が既に読まれたメール。(既読メール)

番組表で予約された番組
(青色:見るだけ予約
赤色:録画予約)

探して毎回予約

故障かな!?

症状	原因と処置	ページ
リモコンで操作できない	●電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？ ●リモコン受信部に向けて操作していますか？ ●電池の交換により、リモコン設定が変わる場合があります。 ●リモコンモードの設定は違っていませんか？ ●受信異常により、本機の操作ができなくなる場合があります。 →本体前面（扉内）にあるリセットボタンを押していただくか電源プラグを一度抜き、しばらくした後、再度電源プラグを差し込み動作を確認してください。	11 8 96 97 6
ダウンロードを行ったら、受信できなくなった	●ダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。	–
チャンネル番号が画面から消えない	●画面表示ボタンで、画面表示が出る状態にしていませんか？ →再度、画面表示ボタンを押してください。	14
横長映像や縦長映像になる	●「接続テレビ設定」が、接続されているテレビに合っていますか？ ●ワイドテレビの場合、映像に合った画面モードに設定されていますか？	70 –
電源が入らなくなった(電源表示ランプが消灯状態)	●電源プラグを一度抜き、1分間程度おいてから再度電源プラグを差込み、電源を入れてください。 →症状が改善しない場合は、ケーブルテレビ局にご相談ください。	8
電源を入れても映像がすぐに出ない	●本機は電源を入れても、ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合があります。 ●クイックスタート「入」に設定すると、出画時間を早くすることができます。	– 73
電源「切」時に「D」表示が点灯する	●自動的に放送情報を受信するため、「D」(データ)表示が一時的に点灯する場合があります。 （通常、深夜から早朝）	8
映像も音も出ない	●テレビ側の入力切換え（テレビ／ビデオ）は間違っていませんか？ ●本体前面（扉内）にある映像出力端子切換は接続する端子にあっていますか？ → HDMI 端子に接続する場合は「HDMI」へ切り換えてください。	– 8
音は出るが映像は出ない	●本体前面（扉内）にある映像出力端子切換は接続する端子にあっていますか？ → D 端子に接続する場合は「D」へ切り換えてください。	8

症状	原因と処置	ページ
乱れた映像になる または 特定のチャンネルで映像が乱れる	●本機のD端子映像出力端子をご使用の場合、D端子出力解像度設定が間違っていないか確認してください。	70
画質や音質が少し悪くなった	●降雨対応放送になっていませんか？ →雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、ケーブルテレビ局で電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り替える場合があります。降雨対応放送は画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質や音質に戻ります。	103
字幕や文字スーパーが出ない	●メニュー画面などが表示されていませんか？ →元の画面ボタンを押して、メニューや操作説明画面などを消してください。 ●「字幕の設定」の「字幕」や「文字スーパー」が「オフ」に設定されていませんか？ →「オン」にしてください。 ●「字幕の設定」の「字幕言語」や「文字スーパー言語」の設定が放送の言語と一致していますか？ →放送の言語に設定を合わせてください。 ●字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか？ →字幕は、「字幕」のアイコンが表示されている番組で表示されます。	– 54 54 98
有料放送の視聴ができない	●ICカードが正しく挿入されていますか？ ●有料放送を視聴するための手続きはされていますか？ →視聴契約手続きをしてください。 ●ネットワークの接続は正しくされていますか？ →「ネットワーク接続テスト」が「OK」か確認してください。	61 – 64 75
画面に「購入できませんでした。」などが表示され、購入または予約ができない状態が続く	● IC カードは正しく挿入されていますか？ ●ネットワークの接続は正しくされていますか？ → 「ネットワーク接続テスト」が「OK」か確認してください。	61 64 75

故障かな！？

症　状	原　因　と　処　置	ページ
Irシステムで録画機器の録画予約ができない	●Irシステムケーブルは正しく接続されていますか？ ●「Ir システム設定」は正しいですか？ ●録画機器は正しく準備できていますか？ →録画機器の電源や、ビデオテープなどは必ず確認してください。	84 84 38
Irシステム設定が変更できない	●予約されている番組を全て削除して再設定してみてください。 →Irを使用する録画予約が設定されていると、Irのメーカー、種類などは変更できません。	−
見るだけ予約が実行されない	●見るだけ予約をして、電源が「切」になっていませんか？ →見るだけ予約した場合、電源を「切」にしていると予約が実行されません。	28
時間指定予約で英語の音声が録画できない	●英語が第一音声で放送されていますか？ →デジタル放送では、第一音声と第二音声の2つの音声がある番組や、主音声と副音声がある二重音声の番組があります。これらの番組を本機(HDD)に録画する場合はすべての音声が録画されますが、本機に接続した録画機器では、あらかじめ設定した音声しか録画しません。 →番組表からの録画・視聴予約では、音声信号が複数ある場合や、二重音声で放送される場合、状況に応じて音声信号を予約設定（信号設定）することができます。	14 30
天面に触れると熱い	●本機は放熱のため天面の一部で温度が高くなります。品質・性能には異常ありません。（風通しの良い所に設置してください。）	6

メッセージ表示一覧

本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて「メッセージ」が表示されます。
主なメッセージとその内容は下記の通りです。

メッセージ	内容
購入できません。本機の接続・設定を確認のうえ、ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	購入記録が送信できず、ICカードの記録容量を超えている場合などに表示されます。ネットワークの接続・設定をご確認ください。（☞ 64、74ページ）
現在、受信できません。	受信するための送信データが異常の場合に表示されます。
視聴できません。 視聴するには、「決定」ボタンを押してください。	有料番組の購入をしなかった場合などに表示されます。決定ボタンで、再度選局操作が行えます。
気象条件などにより、信号品質が低下しています。	雨等の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、ケーブルテレビ局で引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り替えると表示されます。画質、音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合もあります。
緊急警報放送が開始されました。「決定」ボタンで選局、「戻る」ボタンで本メッセージを非表示にします。	緊急警報放送が始まると表示されます。必ず放送内容を確認するようにしてください。
C-CASカードを正しく挿入してください。	ICカードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されると表示されます。本機専用のICカードを正しく挿入してください。（☞ 61ページ） ICカードが挿入されていない場合にも表示されます。
B-CASカードを正しく挿入してください。	
C-CASカード（またはB-CASカード）の交換が必要です。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	ICカードの交換が必要なときに表示されます。 ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
このC-CASカード（またはB-CASカード）は使用できません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	
信号が受信できません。ケーブルの接続を確認してください。接続に問題がない場合は、ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	●ケーブル宅内線の接続不良などでケーブル入力信号が正しく入力されていないと表示されます。ケーブル宅内線の接続などを確認してください。 ●天候の影響などでケーブルテレビ局において受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局していると表示される場合があります。
チャンネル制限が設定されている為選局できません。	視聴制限のチャンネルスキップ設定でスキップ設定したチャンネルを選局しています。（☞ 56ページ）

メッセージ表示一覧

<table>
<tr><th>メッセージ</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>このチャンネルはご覧いただけません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。</td><td rowspan="3">視聴するために契約が必要な番組を選局すると表示されます。ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>視聴条件によりご覧いただけません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。</td></tr>
<tr><td>このチャンネルは契約されていません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。</td></tr>
<tr><td>ご契約の確認をしております。
しばらくお待ちください。</td><td>視聴するために契約が必要な番組を選局すると表示されます。しばらく待って選局されない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>番組がワイド放送の場合、両端を切り取った映像に変換して出力します。
（データ放送時を除く）</td><td>ワイド（16：9）放送の番組を予約するときに、予約設定の「その他の設定」画面で、「サイドカット」を「する」に設定すると表示します。
両端に黒帯がある映像の場合、黒帯部分を切り取った映像で録画できますが、黒帯の無い映像の場合に設定すると、映像の両端が切り取られた映像になりますので、ご注意ください。
（☞ 17ページ）</td></tr>
<tr><td>HDDに正しくアクセスできません。録画または再生を停止します。リセットボタンを押して再起動してください。</td><td>ハードディスクの異常により、録画・再生・タイムキープができません。リセットボタンを押して再起動してください。（☞ 8ページ）</td></tr>
<tr><td>HDDが満杯のため、録画できません。</td><td>ハードディスクが満杯状態で空き容量が不足しているため、録画ができません。不要な録画番組を消去してください。（☞ 35ページ）</td></tr>
<tr><td>表示できる画像データがありません。</td><td>本機は、SDメモリーカードにJPEG形式で記録された静止画ファイルを表示することができます。SDメモリーカード内に表示可能な静止画ファイルがありません。</td></tr>
</table>

ブラウザ関連のメッセージ表示

ネットワーク設定の接続テスト時やブラウザ使用時の主なエラーメッセージと内容は、下記の通りです。

<table>
<tr><th>メッセージ</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>IPアドレスが設定されていません。
本機の「ネットワーク関連設定」をご確認ください。（C201）</td><td rowspan="4">ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>IPアドレスが取得できませんでした。
接続や設定をご確認ください。（C203）</td></tr>
<tr><td>接続テストに失敗しました。
ゲートウェイが応答しません。
接続や設定をご確認ください。（C207）</td></tr>
<tr><td>IPアドレスの重複を検出しました。
設定をご確認ください。（C204）</td></tr>
<tr><td>接続テストを実行できませんでした。
（C205）</td><td rowspan="2">一度、本機の電源プラグをコンセントから抜いて入れなおして、再度実行してください。それでも症状が改善しない場合、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>アドレスが正しく設定できませんでした。
（C206）</td></tr>
<tr><td>接続先サイトの証明書の検証で問題がありました。接続先の安全性が確認できませんが接続しますか？サイト名：○○○○</td><td>接続先サイトが安全かどうかの確認ができませんでした。このまま接続することもできますが、接続しないことをお勧めします。しばらく待って再度実行すると、接続先の安全性が確認できる場合もあります。</td></tr>
</table>

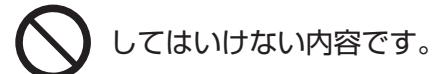
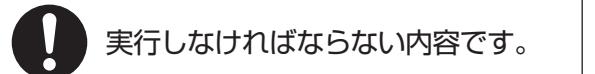
安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

警告

異常・故障について

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

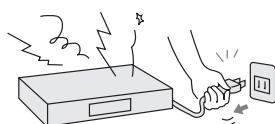
電源プラグを抜く

■異常があったときは電源プラグを抜いてください

・煙が出たり、異常な臭いや音がする
・映像や音声が出ないことがある
・内部に水などの液体や異物が入った
・本機に変形や破損した部分がある

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

●すぐに電源プラグをコンセントから抜いてケーブルテレビ局に修理をご相談ください。

●お客様による修理は危険ですから、おやめください。

水ぬれについて

水ぬれ禁止

■上に花びん、コップなどを置かないでください

火災・感電の原因になります。

誤飲防止について

■メモリーカード類は、乳幼児の手の届く所に置かないでください

誤って飲み込むおそれがあります。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

雷について

接触禁止

■雷が鳴りだしたときは、アンテナ線や本機には触れないでください

感電の原因になります。

異物について

■内部に金属類・燃えやすいものなどの異物を入れないでください

火災・感電の原因になります。

●特にお子様にはご注意ください。

警告

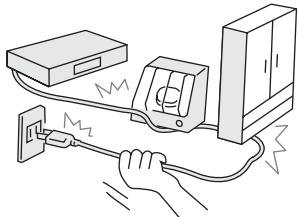
電源コード・電源プラグについて

■破損するようなことはしないでください

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

火災・感電・ショートなどの原因になります。

●修理は、ケーブルテレビ局にご相談ください。

■傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください

火災・感電・ショートなどの原因になります。

●修理は、ケーブルテレビ局にご相談ください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因になります。

■交流 100 V以外で使用しないでください

■コンセント・配線器具の定格を超えて使わないでください

■たこ足配線などをしないでください

発熱による火災の原因になります。

■電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください

ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

ぬれ手禁止

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください

感電の原因になります。

■電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください

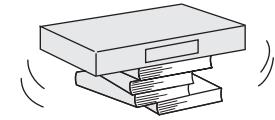
火災や感電の原因になります。

設置について

■不安定な場所に置かないでください

倒れたり、落ちたりしてけがの原因になります。

分解禁止について

分解禁止

■カバーを外したり、本機を改造しないでください

火災・感電の原因になります。

●内部の点検・調整・修理はケーブルテレビ局にご相談ください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

⚠ 注意

本機の取り扱いについて

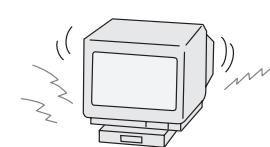
■乗らないでください

倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

■上に物を置かないでください

落下してけがの原因になることがあります。

■接続ケーブルを無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったりしないでください

火災・感電の原因になることがあります。

■接続ケーブルを壁面に挟んだり、足をひっかけたりしないように処理を行ってください

火災・感電・けがの原因になることがあります。

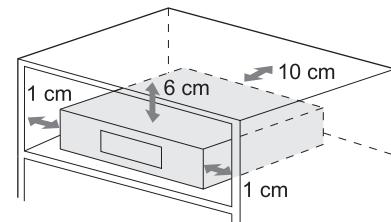
設置について

■通風孔をふさがないでください

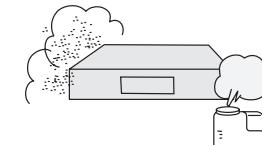
■風通しの悪い狭い所で使用しないでください

■あお向けや、横倒し、逆さまにして使用しないでください

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

●テレビ台などに設置した場合、上側が6 cm以上、左右が1 cm以上、後側が10 cm以上の間隔をあけて据えつけてください。

■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所(調理台や加湿器のそばなど)に置かないでください

火災・感電の原因になることがあります。

⚠ 注意

電源プラグについて

電源プラグを抜く

■長期間使用しないときはコンセントから抜いてください

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因になることがあります。

■電源プラグを持って抜いてください

電源コードを引っぱると破損し、火災・感電・ショートの原因になることがあります。

電池の取り扱いについて

■新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。

■極性(プラス⊕とマイナス⊖)を逆に入れないでください

間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。

挿入指示通り正しく入れてください。(11ページ参照)

移動について

■移動させる前に接続線などをはずしてください
(電源プラグ、アンテナ線、機器間の接続線)

電源コードや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。

お手入れについて

電源プラグを抜く

■お手入れの前に、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください

感電の原因になることがあります。

お手入れについて

キャビネットをいためないために次の点にお気をつけください。

●殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

●ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。跡がつくことがあります。

●汚れは柔らかい布でふきとってください。汚れがひどいときは、水で薄めた台所用洗剤(中性)に浸した布をかたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

仕様

<table>
<tr><td>品名</td><td colspan="3">CATV デジタルセットトップボックス</td></tr>
<tr><td>品番</td><td>TZ-HDW600M</td><td>TZ-HDW600F</td><td>TZ-HDW600P</td></tr>
<tr><td>使用電源</td><td colspan="3">AC100 V　50 Hz ／ 60 Hz 両用</td></tr>
<tr><td>消費電力</td><td>電源オン 23 W
電源オフ 0.1 W
機能待機時 8 W</td><td>電源オン 23 W
電源オフ 0.1 W
機能待機時 8 W</td><td>電源オン 18 W
電源オフ 0.1 W
機能待機時 8 W</td></tr>
<tr><td rowspan="2">デジタル放送</td><td colspan="3">●受信変調方式：64QAM（Annex.C)、
受信周波数帯域：90 MHz ～ 770 MHz、
入力レベル：49 ～ 81 dB μ V（平均値）</td></tr>
<tr><td>——</td><td colspan="2">●受信変調方式：OFDM
受信周波数帯域：90 MHz ～ 770 MHz、
入力レベル：47 ～ 81 dB μ V（平均値）</td></tr>
<tr><td>ケーブル
モデム</td><td colspan="2">●受信変調方式:64QAM/256QAM (Annex.B)、
受信周波数帯域：90 MHz ～ 770 MHz、
入力レベル：49 ～ 79 dB μ V（平均値）
●送信変調方式：QPSK/16/32/64/128QAM、
送信周波数帯域：10 MHz ～ 55 MHz、
出力レベル：68 ～ 118 dB μ V</td><td>——</td></tr>
<tr><td>ハードディスク容量</td><td colspan="3">250 GB</td></tr>
<tr><td>接続端子</td><td colspan="3">●ケーブル端子：F 型接栓、75 Ω
●分配出力端子：F 型接栓、75 Ω
●D 端子映像：D1 ／ D2 ／ D3 ／ D4 映像
出力端子　（Y）1.0 V[p-p]、75 Ω（PB、PR）0.7 V[p-p]、75 Ω
●出力 1 ／ 2：
映像 (1.0 V[p-p]、75 Ω)、音声 (250 mV[rms](標準)、2.2 kΩ以下)
●光デジタル音声出力端子　：－ 18 dBm 660 nm
●Ir システム端子：Ir システムケーブル (市販品) 用
●HDMI 映像・音声出力端子
●SD メモリーカード挿入口 (SDXC メモリーカード対応)
●USB 端子：(DC5 V　MAX500 mA)
●LAN(100BASE-TX) 端子</td></tr>
<tr><td>外形寸法</td><td colspan="3">幅 36 cm・高さ 6 cm（脚含む）・奥行き 26 cm（冷却ファンのカバー含む）</td></tr>
<tr><td>質量</td><td colspan="3">約 2 kg</td></tr>
<tr><td>環境条件</td><td colspan="3">使用周囲温度範囲 5 ℃～ 40 ℃　許容相対湿度範囲 10 %～ 80 %(結露のないこと)</td></tr>
</table>

リモコン

使用電源	DC3 V（単 3 形乾電池 2 個使用）
操作距離・範囲	約 7 m 以内（本体正面距離）、左右各約 30° 以内、上下各約 15° 以内
質量	約 160 g（乾電池含む）

● 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

※ 本機を使用できるのは、日本国内のご加入されているケーブルテレビ局サービスエリア内のみで外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

* This device can only be used inside Japan in areas that are covered by subscription cable TV services. Because of differences in broadcast formats and power supply voltages, it cannot be used in overseas countries.

ブラウザ仕様

記述言語	HTML4.0準拠
スタイルシート規格	CSS1/CSS2(Subset)
動作記述言語	JavaScript 1.5/ECMAScript(ECMA-262)
セキュア通信	SSL2.0/SSL3.0/TLS1.0
Cookie	バージョン0
モノメディア(静止画)	JPEG、PNG、GIF
プラグイン	なし
文字入力	画面キーボード方式、リモコン(携帯電話)方式
画面解像度	800×450
カラーモデル	フルカラー

● 商標などについて

- ●SDXCロゴは3D-3C、LLCの商標です。　●CP8 PATENT　●HDAVI Control™は商標です。
- ●HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- ●DLNA®，the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- ●"AVCHD"および"AVCHD"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ●ドルビーラボラトリーズから実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。
- ●本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - ・AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
  - ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
  - ・ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合

  詳細については米国法人MPEG LA, LLC(http://www.mpegla.com)を参照ください。
- ●Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関連会社の日本国内における登録商標です。
- ●Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
- ●米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ●電子番組表の表示機能にGガイドを採用していますが、当社がGガイド電子番組表サービスを保証するものではありません。
- ●天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ●日本語変換はオムロンソフトウエア(株)のモバイルWnnを使用しています。
  "Mobile Wnn" ©OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved.

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

●この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、操作一覧ボタンを押し、「情報を見る」→「ステータス表示」→「ソフト情報表示」をご参照ください。

さくいん

「安全上のご注意」を必ずお読みください
（☞ 106～109ページ）